

厚生労働科学研究費補助金（循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策総合研究事業）  
分担研究報告書

国内の人間ドックの実態調査と主に東南アジアにおける職域健診の実態調査

研究分担者 立道昌幸 東海大学医学部基盤診療学系衛生学公衆衛生学 教授  
研究協力者 木ノ上高章 東海大学医学部基盤診療学系衛生学公衆衛生学 准教授  
研究協力者 深井航太 東海大学医学部基盤診療学系衛生学公衆衛生学 講師  
研究協力者 古屋佑子 東海大学医学部基盤診療学系衛生学公衆衛生学 助教

要旨

日本の健診・検診制度として、法令で定める健康診査(健診)とがん検診があるが、法定外検診は任意型として様々なタイプがある。また、日本には人間ドックというユニークな健診・検診機関・あるいはシステムがある。今回は、人間ドックに関する実態調査を日本人間ドック学会に加盟している約 1700 の検診機関に対して郵送式の実態調査を行った、また、東南アジアの職域健診については日本に準じている国もあり、東南アジアの職域健診に関する調査も合わせて実施した。

人間ドック機関の調査項目は、施設概要、人間ドックのコースと検査項目、料金、請求に関する事項、精度管理判定に関する事項、結果報告、データ管理に関する事項、事後の保健指導と受診勧奨についてである。東南アジアの健診の調査に関しては、これまでの文献調査と直接各国の保健省に関連する部局の在籍者あるいは過去に在籍した者にメールで問い合わせた。

日本の人間ドック施設アンケートは、1718 件発送し、341 件（19.8%）が回収された。独立行政法人等の公的、済生会や公益法人など準公的、その他からはそれぞれ、10.9、26.1、61.9%であった。57.8%が病院に併設されている人間ドック施設からの回答であった。日本人間ドック学会の機能評価認定の取得状況は、取得済が 35.5%、取得していないが 51.0%（他は取得予定）であった。1 日ドックの実施率は 79.8%、受診者 1 人あたりの面接の平均は 9.9 分であった。費用としては、1 日ドックでは、最頻値は 35000-45000 円、2 日ドックでは 60000-70000 円であった。精度管理においては、血液検査等の精度管理体制は 43.4%、画像読影では、専門医が実施しているのは 60.4%であるが、二重読影をしているのは、89.7%であった。がん検診の精度管理については要精査率、がん発見率を把握しているのは 66.6%、62.5%であった。受診日から結果報告まで 90%以上の施設で 21 日目以降であった。判定は人間ドック学会の判定基準を採用しているのが 65.7%であった。特定保健指導を実施している施設は 71.8%、専門的禁煙指導をしている施設は 12.6%、精査勧奨を全員に行っているのは 49.3%、一部に行っているのは 33.1%であった。

東南アジアにおける職域における定期健診については、各国での事情は異なり、特に国で項目を設定して実施しているところは少なく、ほとんどが所属医師と医療機関との間にて裁量で決められていた。一方で、有害物質に関する健診については、各国では日本の安衛法の特殊健康診断に類する施策がとられていた。

## A. 研究目的

我が国の成人を対象とする健康診査には法令に基づく特定健診（高齢者確保法）・職域健診（安衛法）・がん検診（健康増進法）と、法令に基づかない人間ドック等がある。人間ドックとは何かの定義は難しく、現在日本人間ドック学会が、実施すべき検査を基本検査項目として定めている。基本は、法定健診項目+がん検診+αである。2019年のOECDレポートでは、人間ドック等は対象範囲や頻度に関する規制などの質保証の仕組みがないとの指摘を受けた。検査項目数を多くすることで、より異常を発見しうることを理由に、提供検査数は肥大化している。しかし、その実態や有効性は不明である。厚生科学審議会地域保健健康増進栄養部会健康診査等専門委員会報告書（令和元年8月）において、健診と検診の考え方が報告された。これを踏まえると、人間ドックは、リスクファクターを同定する健診と、がん検診の検査項目を行う検診の両方の包括し、加えて当日結果説明や保健指導も1日で実施するユニークなスクリーニング手法である。日本人間ドック学会、日本総合健診医学会、健康保険連組合、全日本病院協会、日本病院会の5つの団体により、法令の特定健康診査と職域健康診断の検査項目を含めて全46種類の検査項目、ならびに医師面接、医師視察、結果説明、保健指導を「必須項目」とし、また男女別の6つのオプション検査項目からなる「基本検査項目」を設定している。人間ドック機関では、この基本検査項目とは別に、独自に数々のオプション検査を提供している。

日本人間ドック学会としては、検診よりも健診と位置づけており、健診当日の結果説明、保健指導、受診勧奨を対面指導で行うことにより、健診の意義である受診者の行動変容に寄与しやすいと考えられている。しかし、これらが実際に実施されているかは不明である。

これまで法令に基づく健康診査についての項目や有効性の検討はされてきたが、法令に基づかない人間ドック等について有効性を評価した報告は限られる。そこで、本年度は、分担研究として、日本国内の人間ドックの実態調査を実施した。

また、東南アジアにおいては、日本の健診制度を模範とする国もあり、どのような広がりがあるのかについても調査することを目的とした。

## B. 研究方法

### 1) 国内の人間ドックの実態調査

参考資料1に示す、アンケート調査を日本人間ドック学会加盟機関全数1718件に郵送法にて送付した。内容については、A. 施設に関する事

項、B. 人間ドックコースと項目、C. 料金・請求に関する事項、D. 精度管理、判定に関する事項、E. 結果報告・データ管理に関する事項、F. 事後の保健指導と受診勧奨に関する事項、G. その他である。

### 2) 東南アジアの健診実態調査

東南アジア諸国連合（Association of South-East Asian Nations、以下ASEAN）のうち、主要6カ国（シンガポール、マレーシア、タイ、インドネシア、フィリピン、ベトナム）および、台湾、韓国、インド、スリランカを調査対象国とし、職域における健康診断について、文献レビュー、インターネット調査を実施した。（参照論文：深井七恵ら、タイ王国の労働衛生に関する制度および専門職育成の現状-日本企業が海外拠点において適切な労働衛生管理を実施するために、産業医科大学雑誌 2018. 40(1):33-44、平岡晃ら、インドネシア共和国の労働衛生に関する制度および専門職育成の現状-日本企業が海外拠点において適切な労働衛生管理を実施するために、産業衛生学雑誌 2017 59(6): 229-238、深井航太ら、フィリピン共和国の労働衛生に関する制度および専門職育成の現状-日系企業が海外拠点において適切な労働衛生管理を実施するために、産業衛生学雑誌 2020. 62(4): 154-164等）。

さらに、以下の各国の保健省に該当する担当者にメール送信し、調査依頼を行った。

- |   |                  |         |
|---|------------------|---------|
| ① | Viet Nam         | 国立公衆衛生院 |
| ② | Phillippine<br>s | 元保健省    |
| ③ | Thailand         | 大学講師    |
| ④ | Thailand         | 在外公館関係者 |
| ⑤ | PNG              | 保健省技官   |
| ⑥ | Bangladesh       | 元保健省    |
| ⑦ | Bangladesh       | 元保健省    |
| ⑧ | Nepal            | 保健省関係者  |
| ⑨ | Sri Lanka        | 地方保健局   |
| ⑩ | India            | 前鉄道省    |
| ⑪ | India            | 元局長     |

## C. 結果

### 1) 国内の人間ドックの実態調査

今回のアンケート調査は、11月16日に発送し、12月11日までとしたが、回収率が低かったため、再度ハガキにてリマインドをし、1月16日まで延長したが、有効回答は341施設で回答率は19.8%であった。

#### A) 施設に関する事項

回答においては、公的機関、準公的機関、私的機関からの回答はそれぞれ、10.9%、26.1%、61.9%であった。また、施設とすると、病院併設機関が57.8%と最も多かった。人間ドック機能評価認定施設は35.5%、総合健診学会優良認定施設は12.6%であった。

苦情に関する問い合わせに関しては、窓口は74.8%、施設長と共有できる仕組みについては95%が作られていた。一方で、安全実施基準については56%であった。

#### B) 人間ドックコースと項目

人間ドックの改善、改良点については、現状で十分という回答は49.6%、改善の余地があるとの回答は45.2%と半々の意見であった。今回回答を得られた施設では、1日ドックが主流であり79.8%が実施され、平均年間4474名と比較的大規模な人間ドック機関が回答していた。一方で、受診者一人あたりの面接（結果説明）時間は平均10分程度であった。

日本人間ドック学会が定めているオプション項目については、事前に資料を用意し内容の説明をしている機関は、76.2-78.6%と多かった。また、検査の利益、不利益を説明している機関は、60.1%であった。独自のオプションの追加項目についても、ほぼ同等の実施率であった。

現在の人間ドックのコースに追加が望まれる項目としては、NT-Pro BNP、肝炎ウイルス検査、TPHA、腫瘍マーカー含むPSA、CK、ピロリ菌、ロコモ検査、肝線維化マーカー、胸部CT、甲状腺機能検査、視野検査等が挙げられた。一方で、除いた方が望ましい検査では、「学会の基本検査項目から除いた方が望ましい検査では、血液型、眼圧、総ビリルビン、乳房診察、肺「呼吸」機能検査などであった。なお実施が望ましくない施設独自のオプション検査は、ASO、腫瘍マーカー、リウマチ因子などであった。

オプション項目	上部消化管内視鏡			
	乳房診察+マンモグラフィ			
	乳房診察+乳腺超音波			
	婦人科診察+子宮頸部細胞診			
	P	S	A	
H	C	V	抗	体

(日本人間ドック学会が定めているオプション項目)

#### C) 料金について

1日ドックの場合は、30000-50000円と幅があり、最頻値は、35000-40000円であり、2日ドックについては、最頻値は、65000-70000円であった。

コースにて受診した場合、検査項目を受診しない場合に減額しないと回答したのは57-75%であった。また、直前にてキャンセルした場合に、キャンセル料をとっていないのは、93.3%であった。

内視鏡する場合にセデーションをしている率は38.4%であり、その53.4%は無料で実施している。有料の場合の平均は約4000円であった。オプション項目の追加料金については、保険点数とほぼ同額にしている施設が59.2%で、高く設定している17.3%、低く設定しているのが、13.5%であった。

日本人間ドック学会が定めているオプション項目として、60%以上の施設で実施しているのが、PSA、独自の施設でのオプション項目としてMRI、頸動脈超音波、喀痰細胞診、ピロリ菌検査、PSA、CEA、AFP、CA19-9、甲状腺機能検査であり、特にCEA、CA19-9は80%を超えている。40-60%で実施しているのは、胸部CT、BNP、NT-proBNP、baPWV/ABI、ABC検査、ペプシノーゲン検査、アミラーゼ、CT（内臓脂肪面積）、体脂肪率、骨密度（DXAまたはQCT）、医師による視触診、経膈超音波、HPVであった。10%未満の低頻度であるのは、視野検査（FDT）、OCT（3次元眼底検査）、終夜睡眠ポリグラフ（PSG）検査、トレッドミル・エゴメータ、心臓MRA、FMD、24時間血圧計、大腸CT、カプセル内視鏡、腹部MRI、ファイブロスキャン検査、Fib-4 Index、膵臓MRCP、膵型アミラーゼ、注腸検査、内臓脂肪インピーダンス法、頸椎MRI、腰椎MRI、乳腺MRI、3Dマンモグラフィ、抗p53抗体、尿細胞、男性更年期、女性更年期、AIDS検査、基礎代謝検査、遺伝子検査であった。

実施している施設で、年間で平均1000件を

超える検査は、視野検査（FDT）、OCT（3次元眼底検査）、上部消化管内視鏡（経口）、上部消化管内視鏡（経鼻）、インスリン抵抗性、HOMA-IR、内臓脂肪インピーダンス法、ロコモ関係検査、医師による視触診、経膈超音波、PSA検査、CEA、CA19-9、尿アルブミン、尿細胞診であった。各オプション項目の費用はかなりばらつきがあった。

#### D) 精度管理・判定に関する事項について

人間ドック学会の判定基準を使用している施設は65.7%、一部採用を含めると90.6%、職域に対応した判定情報の提供ができるのは66.0%、画像の二重造影は89.7%、比較読影は94.7%で実施していた。専門医が読影しているのは60.4%、検査にて内部、外部精度管理しているのは、52.2%、64.5%であった。がん検診については、職域におけるがん検診マニュアルを参考にしている施設は72.7%、要精険率を把握しているのは66.6%。プロセス指標と比較しているのは45.5%であった。また、紹介状を発行しているのは78.9%、その結果について把握しているのは、問い合わせして把握しているのは18.5%、がん発見まで把握しているのは62.5%であった。

#### E) 結果報告・データ管理に関する事項

人間ドックの当日に結果説明できるのは70.7%、受け取り側に応じて、電子データで提供できるのは45.7%であった。結果報告までにかかる日数としては、14日後が最も多く、21日以内で90%以上が結構報告できていた。英語での対応を用意しているのは10.3%であった。

#### F) 事後の保健指導と受診勧奨について

受診当日の保健指導の実施ができるのは60.7%、実施している施設は、46.3%、保健指導の記録については、75.7%が保管していた。特定保健指導の実施は71.8%で実施しており、動機付け支援の金額の平均は9727円、積極的支援は25696円であった。禁煙指導を専門的に行っている施設は、12.6%、受診勧奨を全員に実施しているのは49.3%。結果を実施依頼元に通知しているのは、29.9%であった。

#### G) その他

予防接種を実施しているのは、風疹、麻疹、インフルエンザで、それぞれ39.9%、30.2%、63.0%

であった。外国人の受診に関しては、通訳がついていれば可とする施設が65.4%、障害者の制限を設けているのは、視覚障害、聴力障害で12.0%、10.3%、車椅子で、14.1%であった。性同一性障害者用の更衣室を設置しているのは8.8%、トイレは、7.3%であった。新型コロナウイルスの学会ガイドラインを遵守しているのは95.6%であった。

## 2) 東南アジアの健診実態調査

### ①シンガポール

シンガポールでは、2011年に改正された職場安全衛生法（Workplace Safety and Health Act, WSH法）に、事業者に対する従業員への健康診断の実施義務が規定されている。WSH法は、2005年1月に最初に公表され、2006年3月1日に工場に適用されることになり、2008年3月1日に他の6業種に適用が拡大されたが、2011年にすべての事業場に適用されることとなった。この拡大に併せ、職務と責務の明確化、職業性疾病の定義の拡大、特に騒音規則の強化が行われた。なお、日本における一般定期健康診断に相当する項目はなく、有害作業に従事する職種に対する特殊健康診断の実施義務である。同法における有害作業とは、以下の職場で雇用されているすべての労働者を指す。

(1) ヒ素、カドミウム、鉛、マンガン、水銀、またはそれらの化合物の煙、粉塵、ミスト、ガスまたは蒸気の使用または取り扱い、またはそれらへの曝露

(2) ベンゼン、パークロロエチレン、トリクロロエチレン、有機リン酸塩または塩化ビニルモノマーの液体、煙霧または蒸気の使用または取り扱いまたは曝露

(3) タール、ピッチ、ピチューメン、またはクレオソートの使用または取り扱い、またはそれらへの曝露

(4) アスベスト、原綿またはシリカの粉塵の使用または取り扱いまたは粉塵への曝露

(5) 過度の騒音への曝露

(6) 圧縮空気環境での作業

それぞれの健康診断の項目と実施時期については、WSH法に記載されている（参考資料1）。健康診断の結果については、事業者は一定の条件を満たした医師（Designated workplace doctor）から受けなければならない。医師は、健康診断結果に基づいて、業務停止証明書を発行することが可能であり、事業者はこれを守らなければ

ならない。

## ②マレーシア

マレーシアでは、1994年に制定された労働安全衛生法（Occupational Safety and Health Act, OSH法）に基づき、健康診断（medical surveillance）のガイドラインを2001年に制定した。同法では、有害化学物質に関して、産業医（Occupational Health Doctor, OHD）が実施する健康診断の項目と実施時期が定められている。マレーシアにおいても、日本における一般定期健康診断に相当する項目はなく、有害作業に従事する職種に対する特殊健康診断の実施義務である。事業者は、従業員が同法のリストに記載されている健康に有害な化学物質のいずれかにさらされている、またはさらされる可能性がある場合、12ヶ月以内の間隔でOHDまたは労働安全衛生担当者によって、健康診断（医学的監視）を実施しなければならないとされている。同法における健康に有害な化学物質とは、以下の35項目を指す。

- (1) 4-アミノジフェニル
- (2) 砒素およびその化合物
- (3) アスベスト(クロシドライトを除く)
- (4) オーラミン、マゼンタ
- (5) ベンジジン
- (6) ベリリウム
- (7) カドミウムおよびその化合物
- (8) 二硫化炭素
- (9) 二硫化モリブデン
- (10) ベンゼン(ベンゾールを含む)
- (11) 四塩化炭素
- (12) トリクロロエチレン
- (13) n-ヘキサン
- (14) ビス（クロロメチル）エーテル
- (15) クロム酸
- (16) クロム、金属および無機化合物
- (17) 遊離結晶性シリカ
- (18) イソシアネート
- (19) 鉛(有機鉛化合物を含む)
- (20) マンガン
- (21) 水銀
- (22) パラフィンを含む鉱物油
- (23) b-ナフチルアミン
- (24) 1-ナフチルアミンおよびその塩類
- (25) オルソトリジン及びその塩類
- (26) ジアニシジン及びその塩類
- (27) ジクロロベンジジン及びその塩類

(28) 4-ニトロジフェニル

(29) フェノールおよびベンゼンまたはその同族体のニトロまたはアミノ誘導体

(30) 亜酸化窒素の煙、カリウム、アンモニウムナトリウム、亜鉛のクロム酸塩または重クロム酸塩

(31) 殺虫剤（有機リン酸塩）

(32) ピッチ

(33) タール、ピチューメン、クレオソート

(34) 塩化ビニルモノマー

(35) ニッケルとしての硫化ニッケルの焙焼、ヒューム、ダスト

## ③タイ

タイでは、2011年に改正された労働安全衛生環境法（Occupational safety, health and environment act, OSH法）に基づき、職域の健康診断を義務付けている。実施にあたっては、「労働者の健康診断の標準及び方法並びにその結果を労働監督官に伝達することを規定する省令」が定められており、

(1)有害化学物質の保管・取り扱いを行う環境、(2)ウイルス、細菌、真菌などの保管・取り扱いを行う環境、(3)放射性物質の保管・取り扱いを行う環境、(4)高温、低温、振動、気圧、光、音などが危険な環境、の下で働いている従業員に対して、特殊健康診断の実施が事業者に義務付けられている。これらの有害業務に従事する労働者の健康診断の実施時期は、雇入時3日以内、定期（作業状況やリスクの程度に応じて事業者が健診頻度を定め、少なくとも年1回）、配置替え時30日以内、に産業医学分野の免許を有する医師（産業衛生専門医）によって実施しなければならない。

日本における一般健康診断当たる健康診断の実施義務はないが、一般健康診断相当を福利厚生の一環と位置づけて実施している企業はいくつか存在している。それらの企業では、心電図、脂質、尿酸値、血糖値、肝機能など日本と同様の検査を実施している企業が多い。特殊健康診断の項目は、問診と身体検査以外の項目は詳細に規定されていない。「リスクのある職場で働く労働者の健康診断手帳の様式と治療中や予防中の疾病をもった労働者の報告書の様式に関する労働保護福祉局の告示（2008年）」では、問診項目として有害業務歴、病歴、現在の治療、喫煙・飲酒・薬物使用などの生活歴、身体検査として身長・体重・BMI、血圧などが

推奨されている。有害業務に応じた健診項目には、産業医と契約がある企業の場合、産業医と相談して項目を決定することが多い。しかし、産業医との契約がない企業では、安全衛生実務者（Safety Officer）が医療機関の医師と相談しながら健診項目を決定する。

35才未満と、35歳以上で異なり、35才未満では、BMI、視力、既往歴、家族歴、胸部 X-P、CBC、35才以上では、糖尿病と脂質異常の検査が加わる。さらに一部の企業では、40才以上で、緑内障の検査、腎機能、肝機能、肝炎ウイルス検査、がん検診がある。

#### ④インドネシア

インドネシアでは、1970年に制定された労働安全衛生に関する法律（Act No.1 on Safety）を基盤として、「インドネシア安全衛生法令、労働安全衛生の推進における労働者健康診断に関する1980年労働大臣規則第2号」が制定されている。この規則では、事業者に対して、全ての労働者に一般健康診断を受けさせるとともに、特定の有害業務に従事している労働者に対して業務に応じた特殊健康診断を実施することを義務付けている。しかし、インドネシアにおいても、具体的な健診項目を定めていない。実際には、自社で雇用している医師や契約している医療機関の医師と相談して実施する項目を選定している。

特定有害業務には、(1)危険なあるいは事故、火災、あるいは爆発を生じる可能性のある機械、機器、道具、器具、装置、あるいは設備を製造し、試験し、使用し、あるいは利用する作業場所、(2)爆発性、易燃性、刺激性、毒性、感染性、あるいは高温の材料あるいは物を製造し、試験し、使用し、利用し、売買し、運搬し、あるいは貯蔵する作業場所、(3)農業、プランテーション、森林開発、林業、木材加工、畜産、漁業等の事業を行う作業場所、など18ヶ所が規定されている。健診の具体的な項目については明確に定めていないため、安全衛生実務者が医療機関の医師と相談しながら健診項目を決定する。

#### ⑤フィリピン

フィリピンでは、1974年に制定された労働法（Labor code of the Philippines）が労働安全衛生の基盤となっている。1989年に改正された同基準の中で健康診断については、健康管理に関する

規定の中の、Rule1967に示されており、従業員に対して、入社前の健康診断を実施すること、適切な健康状態の検査と労働者の適切な人員配置のために定期的に健康診断を実施すること、配置転換後や業務上疾病発症後に健康診断を実施することとされている。健康診断の実施費用は事業者負担である。健康診断の項目については、雇用前と定期健康診断では、胸部レントゲンの実施は示されているが、その他の項目（尿、血液検査など）に関して、具体的に記されているものはない。また、同基準にはすべての労働者は、年齢や性別に関係なく、雇用前、転勤または離職時、定期、配置転換後や業務上疾病発症時などに身体検査を受けなければならないとされている。特殊健康診断についても、明確な項目が定められているわけではない。典型的な項目とすると、以下になる

パネル薬物検査。

（前提条件ではない場合もあり、雇用の過程でランダムに取得される）

視力（このテストは仕事に関連しているが、特に品質検査官や同様の役割の場合）

- 1.身体計測
  - 2.心理検査
  - 3.光学テストと視力
  - 4.歯科検診
  - 5.尿検査
  - 6.胸部 X 線
  - 7.便検査
  - 8.全血球計算（CBC）
  - 9.血液型検査
  - 10.色覚
  - 11.聴力検査
  - 12.心電図（ECG）
  - 13.空腹時血糖
  - 14.B 型肝炎抗原
  - 15.VDRL
  - 16.呼吸機能検査（PFT）
  - 17.赤血球沈降速度（ESR）
  - 18.血液化学  
SGOT（AST）/SGPT（ALT）/アルカリホスファターゼ/ビリルビン/総タンパク質 BUN /クレアチニンコレステロール/トリグリセリド/尿酸 /
- （追加テスト）
- 19.HIV
  - 20.マラリア検査

## 21.薬物およびアルコールテスト

## 22.便培養

### ⑥ベトナム

ベトナムでは、2016年に施行された労働安全衛生法（84/2015/QH13）が基盤となっている。同法において、日本と同様に労働者に対する定期健診が義務化された。第152条では「雇用者は毎年、被雇用者と職業訓練生に対し、定期健康診断を実施しなければならない。女性の被雇用者には産婦人科の検診を実施しなければならない。重労働や有害な業務に従事する被雇用者、障害者・未成年・高齢の被雇用者に対しては、少なくとも6カ月に1回健康診断を実施しなければならない。」と記されている。毎年の被雇用者に対する定期健康診断が雇用者の義務項目は以下の通りある。

- 問診
- 病歴
- 身長・体重（BMI）
- NGAL好中球ゼラチナーゼ結合性リポカリン
- 空腹時血糖
- クレアチニン
- 尿検査
- 肝機能検査（AST,ALT,GGT）
- 胸部X線
- 腹部超音波

2012年に承認された新労働法では、職業訓練生に対する毎年の定期健康診断が義務化され、重労働や有害な業務に従事する労働者、18歳以下の従業員（未成年労働者）、60歳以上の男性労働者／55歳以上の女性労働者（高齢労働者）に対しては半年毎の定期健診が義務付けられるなど、定期健診に関わる法制度は充実しつつある。このように、雇用者は被雇用者に対して年に一回の定期健診を受診させる義務を負っており、多くの会社で最低限必要となる法定健診サービスに関しては健診費用を全額負担している。なお、有害業務従事者等に対する特殊健康診断に相当する項目の詳細な情報は得られなかった。

任意型検診としては、がん検診、高血圧、糖尿病検診が適宜実施されている。

### ⑦台湾

台湾では、1974年に労働安全衛生法が施行され、1991年に改正後、2014年に職業安全衛生法

（Occupational Safety and Health Act、OSHA）と改名し施行された。労働安全衛生法の中で、(1)一般健康診断（従業員に対して、適切な保健指導や適正な業務配置などの健康管理措置を講じるために、健康状態の異常を発見することを目的として、事業主が年齢に応じて定期的にまたは業務変更時に実施する健康診断）、(2)特殊健康診断（特殊な健康障害を伴う作業に従事する労働者に対して、適切な保健指導、適切な作業の割り当て、リスク管理などの健康管理措置を講じるために、作業の危険性に応じて定期的に、または健康異常の発見を目的として作業変更時に実施する健康診断）(3)特定対象労働者に対する特定項目の健康診断（職業性疾患のリスクが高い労働者、または職業性疾患の疑いや地域の疫学調査の必要性から、中央主管庁が指定・公表した特定項目の臨時検査を行い、特定の対象労働者に対して実施するよう雇用者に要請すること）の3つが記されているが、各々詳細な項目に関する情報は得られなかった。(1)の定期健康診断の年齢と実施間隔は、①65歳以上の従業員は1年に1回、②40歳以上65歳未満の従業員は3年に1回、③40歳未満の従業員は5年に1回以下、とされている。

### ⑧韓国

韓国では、1953年に労働基準法（Labor Standards Act）が制定され、1963年には労働災害補償保険法（Industrial Accident Compensation Insurance Act）、1981年に労働安全保健法（Occupational Safety and Health Act）が労働基準法から独立して制定され、労働安全衛生に関する基盤になっている。労働安全保健法第43条には、健康診断に関する法令が定められており、「事業者は、労働者の健康を保護・維持するための労働大臣が指定する機関や国民健康保険法に基づく健康診断をする機関による労働者の健康診断を行わなければならない」とされている。一般健康診断は、1年あるいは2年ごとに1回実施されるが、主に脳血管疾患の予防を目的に行われている。健診項目は、問診（既往歴、作業経歴、自覚症状、他覚症状）、身体所見（視診、触診、聴診、体重）、血圧、尿検査（尿糖、尿蛋白）、血液検査（貧血、血糖、GOT、GPT、 $\gamma$ GTP、コレステロール）、視力、聴力、胸部X線検査であり、日本の労働安全衛生法の項目と同様であった。日本の労働安全衛生法にある自発的健康診断に相当する制度の記載もあった。健康診断

は、就業適正判定を目的としており、事業主の負担で実施される。配置転換や勤務時間短縮等の就業上の配慮についても規定されている。国家資格である産業医学専門医のみが特殊健康診断を行うことができ、ほとんどの場合、企業外の特健康診断機関や作業環境測定機関によって健診が実施されている。

#### ⑨バングラデシュ

a) 公務員は、年齢に関係なく、年次機密報告書（パフォーマンス測定プロセス）の期間中、毎年末に健康診断を行うことが義務付けられている。公務員が割り当てられた職務を遂行するための適性を測定するために、健康診断が行われます。胸部 X 線、ECG、定期的な血液と尿の検査などの簡単な検査が行われる。検査を行う医師が提案した場合、通常、さらなる検査が実施される。

b) 一般の人々に対する健康診断の法的拘束力はない。

c) 2006 年バングラデシュ労働法および 2018 年バングラデシュ労働（改正）法は、業界/工場/その他の組織の非政府労働者の健康診断に関するいくつかの指示を出しているが、具体的な項目には言及していない。

他の検診として、酢酸による子宮頸部の目視検査による子宮頸がんのスクリーニング（VIA）が行われる。

#### ⑩ネパール

公務員は、CV を出す前に診断書を提出する必要がある。資格のある医師が証明書を発行し、公務員には定期的な健康診断や報告書の提出は義務づけられていない。

産業では、労働法は健康診断を行う必要があると述べており、労働者は定期的な目、耳（聴力検査）および肺（呼吸機能検査）のスクリーニングを受ける必要がある。

#### ⑪スリランカ

特になし。

#### ⑫インド

中央政府であれ州政府であれ、40 歳を超える公共部門のすべての従業員は、40 歳に達した後、年次健康診断を受けることが義務化されている。年次健康診断レポート（AHCR）がないと、年次評価は従業員の上司によって書かれない。

AHCR では、すべての従業員が一般的な身体検査、全血球計算、肝機能検査、腎機能検査、脂質プロファイル、ECG、尿検査を受ける必要がある。女性従業員の場合はパパニコロウ塗抹標本も実施される。

民間部門の場合、工場法にて、医療専門家の雇用と緊急医療および基本的医療の提供を義務付けている。

#### ⑬パパニューギニア

特になし

#### D. 考察および結論

##### 1) 国内の人間ドック調査

今回の調査は、年末、さらにはコロナ禍での調査であったので、回収率が悪く、一度リマインドにて再依頼を行ったが、回収率を上げることが出来なかった。今回返答があった機関は、病院に併設されている人間ドック機関が 60%であったこと、実施者数から考えると大規模な人間ドック機関からの回答であると考えられる。そもそも、人間ドックで実施する検査項目は、日本人間ドック学会、日本総合健診医学会、健康保険連合組合、日本病院会、全日本病院協会の 5 つの団体により、必須項目と男女別の 6 つのオプション検査項目からなる基本検査項目として設定している。人間ドック機関では、この基本検査項目とは別に、独自に数々のオプション検査を提供している。この学会の提示するコースを実施しているのは、79.8%であるが、独自のコースを設定している施設も 42.2%であった。判定基準については、学会が定めた判定基準を使用している施設は、65.7%であった。現在の人間ドックで良いと考えている施設と、一部改良が必要と考えている施設は概ね半々であった。現在の人間ドックのコースに追加が望まれる項目としては、NT-Pro BNP、肝炎ウイルス検査、TPHA、腫瘍マーカー含む PSA、CK、ピロリ菌、ロコモ検査、肝線維化マーカー、胸部 CT、甲状腺機能検査、視野検査等が挙げられた。一方で、除いた方が望ましい検査では、血液型、ASO、腫瘍マーカー、リウマチ因子、眼圧、血沈、総ビリルビン、乳房触診、肺機能検査などであった。これらの項目には再度の検証が必要であろう。

多くの施設にて、オプションとして加えているのが、MRI、頸動脈超音波、喀痰細胞診、ピロリ菌検査、PSA、CEA、AFP、CA19-9、甲状腺機能



検査であり、特にCEA,CA19-9は80%を超えていることから腫瘍マーカーについては議論が必要である。一方で、興味深いのは、実施している施設は少ないものの、件数が多いのが、FDT検査やOCTなどの眼科的検査である。これは大規模施設で取り入れられていることを意味すると考える。

人間ドックにおける精度管理については、本調査に回答した施設は意識が高いことが認められた。一方で、人間ドック学会の認定取得している割合は、35.5%であることから、この点で課題があるのかもしれない。今回の調査では回収率が低く、全体を代表していないため、この点については、ランダムサンプリングの上でのヒアリング調査が適切と考えられた。

課題として考えられたのは、結果説明とその報告書、データ提供についてである。結果説明等は、平均で10分以内、画像等の結果がでそろうのが90%施設で21日後であった。結果が出そろうところに、来訪されて説明をされているのかについての実態までは調査できなかった。面談の時間が10分という時間が適切なのかについては議論が必要である。また、オプション検査については、事前に検査の説明資料が作られて説明されている施設が70%以上とのことであり、検査の利益、不利益についても60%の施設は説明されているとの回答であった。この点は、オプション検査を実施する上で重要な事項と思われた。

また、がん検診において、ほとんどの施設で紹介状を発行して、その精密検査結果についての返信をチェックしていることから、人間ドック施設を起点として、がん検診の要精検からがん発見にいたるプロセスを完結することにより精度管理が可能になるのではないかと考えた。課題としては、結果について電子媒体等での委託元への提供等についてはシステム的な問題と思われるが、改善が必要と思われた。もし、がん検診の判定が自治体のがん検診事業での判定が用いられれば、地域一職域が連携できがん検診についての精度管理がよりスムーズに出来る可能性が考えられた。

## 2) 東南アジアにおける職域健診

東南アジアの多くの国において、日本の労働安全衛生法に相当するような、職域健診に関する法令上の記述がなされていることが確認された。ただし、日本における一般定期健康診断の

項目まで定められている国はほとんどなく、医療職や労働衛生を担う企業内の人材が、医療機関と協議の上、必要項目を検討し、実施していることが一般的であった。実施している場合の項目としては、日本の定期健康診断と類するものが選択されている。また、積極的に子宮がん検診に言及している国も見られた。また、有害作業への規制についても、日本における特殊健康診断と同様に詳細な項目が定められていた。

今回の調査対象国では、日本人間ドック学会が指定するような基本項目の設定はなかった。東南アジア諸国では、人間ドックの項目選定には、特に富裕層の健診や検診への関心等が影響する可能性があり、今後さらなる調査が必要である。また、東南アジア諸国の人口構成が日本に対して比較的若いいため、必ずしも日本で選定される項目がニーズに当てはまらない可能性が考えられた。

## <まとめ>

本調査では、全体の回収率が低く、代表性は得られなかったが、大規模な病院併設の人間ドック機関からの情報を得ることができた。人間ドック機関の全体像を把握するには、今後ランダムサンプリングの上にヒアリング調査が適切な手法と考えた。東南アジアの国との比較では、ほぼ項目としては、安衛法上の健診項目に類するものであった。

## E. 健康危険情報

なし

## F. 研究発表

### 1. 論文発表

### 2. 学会発表

なし

## G. 知的財産権の出願・登録状況（予定を含む）

### 1. 特許取得

なし

### 2. 実用新案登録

なし

### 3. その他

なし

# 参考資料1 国内アンケート調査

## 人間ドックに関するアンケート調査

回答にあたってのお願い

- 当てはまる選択肢の番号に○印をつけてください。
- 選択肢に( )がついているものを選んで場合は( )内に内容を記載してください。
- アンケートは2020年12月11日(金)までに同封の返信用封筒にてご返送ください。

1. 人間ドックを実施している 2. 人間ドックを実施していない

### A 施設に関する事項について

1. 都道府県をご記入ください。

2. 開設者について、開設者分類表(アンケート冊終ページに添付の別表1参照)の分類A~Cの中から当てはまるものを選択してください。

1. A 2. B 3. C

3. 併設施設の有無について当てはまるものを選択してください。

1. 併設施設なし(単独) 2. 病院併設 3. 診療所/クリニック併設

4. 人間ドック業務の従事者数について以下の表にご記入ください。

資格者等 (2020年3月末現在)	人間ドック学会 施設長等 実施調査票一部対応	
	常勤(人) ※1	非常勤(人) ※2
医師	人間ドック・健診施設 (専任または兼務) ※3	病歴・診療所兼務 ※3
保健師 ※4		
看護師・准看護師		
診療放射線技師		
臨床検査技師・検体調練士		
管理栄養士		
事務職員(情報系職員を除く)		
情報系職員		
その他専門職( )		

※1 常勤(人)：雇用形態正社員・派遣社員・アルバイト等に問わずフルタイムで働くことを指す。  
 ※2 非常勤(人)：人間ドック・健診に係る従事者  
 ※3 医師・診療所 兼務：病歴・診療所併設の場合、主に併設された人間ドックに専事しているとは判断しないとする。  
 ※4 保健師：保健師資格を有する従事者は、保健師としてカウントする。

5. 施設認定について

(1) 日本人間ドック学会の機能評価認定を取得していますか。

1. 取得済 2. 取得していない 3. 取得に向けて準備中

(2) 日本総合健診医学会の優良認定施設を取得していますか。

1. 取得済 2. 取得していない 3. 取得に向けて準備中

6. 予約や結果データに関する問合せや苦情窓口を設置していますか。

1. 設置している 2. 設置していない

7. 問題となる苦情は管理者や施設長と共有できるしくみになっていますか。

1. はい 2. いいえ

8. 本アンケートのご回答者様の書信を教えてください。

1. 施設長(理事長等) 2. 事務長 3. 責任医師  
4. その他( )

9. 問題点があれば改善策(PDCAサイクル)を実施していますか。

1. はい 2. いいえ

10. 人間ドック(健康診断)のリスク対策として安全実施基準は策定していますか。

1. 文書で策定している 2. 策定していない

### B 人間ドックコースと項目について

1. 現在実施されている日本人間ドック学会の人間ドックは、健康管理や疾病(がんを含む)の早期発見、健康維持・増進に対して、改善、改良の必要性はあると思われませんか。

1. 現在のままで十分機能している 2. 多少の改善の余地はある  
3. 大いに改善すべきと思う

2. 健診分類別の2019年度受診者数(2019.4.1~2020.3.31の受診者数)について、以下の表にご記入ください。なお、実施区分には、実施している場合は○を、実施していない場合は×を記載し、○と回答した場合は受診者数もご記入ください。

健診分類	実施区分 (○・×)	実施している場合の受診者数
1 人間ドック学会で定める基本項目での実施	一日ドック	
2 基本項目に追加の検査項目を多数追加している場合はここに記入	二日ドック 二日以上	
3 人間ドックは独自のコースで実施している		
4 全国健康保険組合(協会けんぽ)の生活習慣病予防健診		
5 特定健康診断		
6 職場健診(法定:定期健康診断など)		
7 その他の健診		
8 巡回健診(上記4~7の巡回健診実施数)		

3. 人間ドック実施当日の医療面接、結果説明、保健指導等の実施状況について、受診者一人当たりの平均的な面接時間を以下の表にご記入ください。

	一人当たりの面接時間(分)
医療面接(医療種) 22項目問診含む	
結果説明(医師)(受診動機)	
結果説明(医師)(結果報告書)	
保健指導(医療種)(受診動機)	
保健指導(医療種)(結果報告書)	

4. オプション項目における検査の事前説明について

(1) 日本人間ドック学会のオプション項目※についてお聞きします。

※日本人間ドック学会のオプション検査は以下の項目です。  
(上部消化管内視鏡検査、乳癌検査、婦人科検査、PSA、HCV抗体)

① オプション項目における検査の意義、内容に関する説明はしていますか。

1. 実施している 2. 実施していない

② オプション項目における検査の意義、内容に関する説明資料は用意されていますか。

1. 用意している 2. 用意していない

③ オプション項目を選択した場合の受診者に対する利益・不利益の説明はしていますか。

1. 実施している 2. 実施していない

(2) 施設独自の追加検査項目についてお聞きします。

① 追加検査項目における検査の意義、内容に関する説明はしていますか。

1. 実施している 2. 実施していない

② 追加検査項目における検査の意義、内容に関する説明資料は用意されていますか。

1. 用意している 2. 用意していない

③ 追加検査項目を選択した場合の受診者に対する利益・不利益の説明はしていますか。

1. 実施している 2. 実施していない

5. 市町村から委託されるがん検診の検査項目ごとの受診者数、要精検数をご記入ください。また、精密検査結果を把握しているかどうかについて○・×で回答いただき、○と回答し、がんと診断された件数が分かる場合はその件数もご記入ください。

検査項目	検査受診者数	要精検の件数	精密検査結果を把握している(○・×)	がんと診断された件数(知りえた件数)
肺がん				
胃がん				
大腸がん				
前立腺がん				
子宮頸がん				
乳がん				

6. 日本人間ドック学会の1日または2日コースの検査項目について

① 追加が望まれる検査項目・理由があればご記入ください。(自由記載)

② 採いた方がよいと思われる検査項目・理由があればご記入ください。(自由記載)

③ 検査の実施頻度について、毎年の実施が必要と思われる検査に○をつけてください。(複数回答可)

1. バリウム検査 2. 尿潜血検査 3. 呼吸機能検査  
4. 上部消化管X線検査 5. 上部消化管内視鏡検査  
6. その他( )

7. 人間ドックでの受診制限(年齢)について

(1) 上部消化管X線検査での受診制限(年齢)を設けていますか。

1. 年齢上限なし 2. 年齢制限あり

(2) その他の検査で年齢上限制限している検査項目があればご記入ください。

### C 料金・請求に関する事項について

1. 人間ドック学会のコースを実施している場合、貴施設の標準料金と契約(実契約)の料金(税込)をご記入ください。

人間ドック学会	標準料金	契約(実契約)の料金
1日コース	円	円 ~ 円
2日コース	円	円 ~ 円

2. 日本人間ドック学会の基本検査項目に含まれている下記検査が実施できなかった場合の請求料金について、減額は行っていますか。行っている場合はその金額もご記入ください。

検査項目	減額の実施状況	
胸部X線	1. 減額しない	2. 減額する(約 ~ 円)
上部消化管X線	1. 減額しない	2. 減額する(約 ~ 円)
腹部超音波	1. 減額しない	2. 減額する(約 ~ 円)

3. 日本人膵ドック学会の基本検査項目に含まれている下記検査が実施できなかった場合の請求料金について、減額は行っていますか。行っている場合はその金額もご記入ください。

検査項目	減額の可否	備考
ABo・Rh	1. 減額しない 2. 減額する(約 ~ 円) 3. もともとコース料金にきめていない	本人申し出て省略可
HbS折原	1. 減額しない 2. 減額する(約 ~ 円) 3. もともとコース料金にきめていない	本人申し出て省略可
尿沈渣	1. 減額しない 2. 減額する(約 ~ 円) 3. もともとコース料金にきめていない	尿蛋白・尿潜血陰性であれば省略可

4. 直前のキャンセルについて、キャンセル料はとっていますか。

1. とっていない 2. 直前のみとっている

5. 上部消化管内視鏡検査(人間ドックオプション項目)について

- ① 内視鏡の実施に際して、十分な説明(検査による発症発生率、死亡率、抗凝薬の中止等)をし、本人からの文書同意書を取得していますか。

1. 取得している 2. 取得していない

- ② 経口内視鏡の場合、セデーション(鎮痛薬・鎮静薬の使用)は何割くらいの受診者が利用していますか。

1. 利用している(約 )% 2. 利用していない

- ③ セデーションの料金はいくらですか。(利用していない場合3~5は回答不要)

1. (約 )円 2. 無料

- ④ セデーションを行う場合、血圧、酸素分圧等のモニタリングを実施していますか。

1. 実施している 2. 実施していない

- ⑤ セデーションを行う場合、用いる薬剤をご回答ください。

1. ドロニカム 2. サイレース 3. セルシン  
4. その他( )

- ⑥ 内視鏡実施時に生検(病理組織検査)を実施する場合、料金は請求はどのようにされていますか。

1. 健康保険適用 2. 人間ドック(健康診断)費用  
3. 自費(本人負担) 4. その他( )

6. オプション項目・追加検査項目の料金の決め方について、当てはまるものに○をつけてください。(複数回答可)

1. 保険点数とほぼ同じ 2. 保険点数より高くしている  
3. 保険点数より低くしている 4. 保険点数とは無関係に定めている  
5. 他施設を参考に定めている 6. その他( )

5

7. オプション検査項目について、下記の表にご記入ください。

ア) 実施区分(A:現在実施している、B:自費以外に導入予定あり、C:導入予定なし) いずれかに○をつける  
イ) 検査料率(2019年度:2019/4/1~2020/3/31の料率(最新料率でも可))  
ウ) 検査料金(費用別の請求料金をご記入ください。欄がある場合は「/」で区切りでご記入ください。)  
エ) コースに含む(人間ドックコースに含めず実施、日本人膵ドックコース外のオプションとして実施)いずれかに○をつける  
オ) 実施区分(A:消化科の検査項目で実施している、B:実施日曜日・祭日等が設定されている) いずれかに○

検査項目	ア) 実施区分	イ) 検査料率	ウ) 検査料金(円)	エ) コースに含む	オ) 実施日
脳	MRI・MRA	A・B・C		A・B	A・B
	経頭蓋超音波	A・B・C		A・B	A・B
	経口機能検査	A・B・C		A・B	A・B
眼	視野検査(FDT)	A・B・C		A・B	A・B
	OCT(3次元経網膜検査)	A・B・C		A・B	A・B
呼吸器	胸部CT	A・B・C		A・B	A・B
	胸部CT(低線量)	A・B・C		A・B	A・B
	低線量胸部CT	A・B・C		A・B	A・B
	経気管支鏡検査	A・B・C		A・B	A・B
	経気管支鏡CT(PSG)検査	A・B・C		A・B	A・B
心臓	トレストテスト・エルクメータ	A・B・C		A・B	A・B
	心臓超音波検査	A・B・C		A・B	A・B
	心臓CT	A・B・C		A・B	A・B
	心臓MRA	A・B・C		A・B	A・B
	BNP、NT-proBNP	A・B・C		A・B	A・B
24時間ホルター心電図	A・B・C		A・B	A・B	
自律	baPWV/ABI	A・B・C		A・B	A・B
	CAVI	A・B・C		A・B	A・B
	FMD	A・B・C		A・B	A・B
	24時間血圧計	A・B・C		A・B	A・B
消化器	上部消化管内視鏡(経口)	A・B・C		A・B	A・B
	上部消化管内視鏡(経鼻)	A・B・C		A・B	A・B
	ヘリコバクター・ヒドリア菌検査	A・B・C		A・B	A・B
	ABC検査	A・B・C		A・B	A・B
	ヘパシノーゲン検査	A・B・C		A・B	A・B
	全大腸内視鏡検査	A・B・C		A・B	A・B
	S-状結腸内視鏡検査	A・B・C		A・B	A・B
	大腸CT	A・B・C		A・B	A・B
膵臓	カプセル内視鏡	A・B・C		A・B	A・B
	腹部CT(造影剤静注後断層撮影)	A・B・C		A・B	A・B
	膵臓MRI	A・B・C		A・B	A・B
	ファイブロスコピー検査	A・B・C		A・B	A・B
	Fib4 index	A・B・C		A・B	A・B
	膵臓MRCP	A・B・C		A・B	A・B
	リパーゼ	A・B・C		A・B	A・B
	アミラーゼ	A・B・C		A・B	A・B
膵型アミラーゼ	A・B・C		A・B	A・B	
インスリン抵抗性、HOMA-IR	A・B・C		A・B	A・B	

6

	検査項目	イ) 実施区分	ウ) 検査料率	ウ) 検査料金(円)	エ) コースに含む	オ) 実施日
胸部	胸部MRI	A・B・C			A・B	A・B
	注腸検査	A・B・C			A・B	A・B
	下部胸部超音波(前立腺・膀胱)	A・B・C			A・B	A・B
体脂肪	CT(造影剤静注後)	A・B・C			A・B	A・B
	内臓脂肪インピーダンス法	A・B・C			A・B	A・B
	体脂肪率	A・B・C			A・B	A・B
	骨密度(DXAまたはQCT)	A・B・C			A・B	A・B
骨・石灰	頸椎MRI	A・B・C			A・B	A・B
	腰椎MRI	A・B・C			A・B	A・B
	骨密度(DXAまたはQCT)	A・B・C			A・B	A・B
	骨密度(超音波)	A・B・C			A・B	A・B
ロコモ関係検査	A・B・C			A・B	A・B	
PET	PET, PET-CT	A・B・C			A・B	A・B
乳腺	マンモグラフィ*	A・B・C			A・B	A・B
	超音波*	A・B・C			A・B	A・B
	乳腺MRI	A・B・C			A・B	A・B
	3Dマンモグラフィ*	A・B・C			A・B	A・B
	医師による触診*	A・B・C			A・B	A・B
婦人科	経膈超音波	A・B・C			A・B	A・B
	子宮頸部細胞診*	A・B・C			A・B	A・B
	子宮体部細胞診	A・B・C			A・B	A・B
	医師による子宮内診*	A・B・C			A・B	A・B
HPV	A・B・C			A・B	A・B	
前立腺	PSA検査*	A・B・C			A・B	A・B
甲状腺	甲状腺超音波検査	A・B・C			A・B	A・B
	甲状腺機能(TSH, FT4, FT3)	A・B・C			A・B	A・B
腫瘍	CEA	A・B・C			A・B	A・B
	AFP	A・B・C			A・B	A・B
	CA19-9	A・B・C			A・B	A・B
	CA125	A・B・C			A・B	A・B
	抗tTG抗体	A・B・C			A・B	A・B
CYFRA	A・B・C			A・B	A・B	
SOC	A・B・C			A・B	A・B	
尿	尿アルブミン	A・B・C			A・B	A・B
	尿糖検査	A・B・C			A・B	A・B
他	男性健康問	A・B・C			A・B	A・B
	女性更年期	A・B・C			A・B	A・B
	アレルギー検査	A・B・C			A・B	A・B
	AIDS検査	A・B・C			A・B	A・B
	基礎代謝検査	A・B・C			A・B	A・B
予後検査	A・B・C			A・B	A・B	
遺伝子検査	A・B・C			A・B	A・B	
自由記号欄	(A~Jが不足する場合は別紙添付可)					

#### D 精度管理・判定に関する事項について

- 人間ドック学会の判定基準を使用していますか。  
1. 使用している 2. 一部使用している 3. 独自のものを使用している
- 人間ドック学会の判定基準を使用している場合、委託元の機関等と異なることについて、受診者から問合せをいただくことがありますか。  
1. とときどきある 2. まれにある 3. ない
- 人間ドックデータは、圏域(法定)健診への利用が普及しています。代用時に問題となるのは、労働基準監督署への報告で、例えば肝機能判定ではAST、ALT、γ-GTの3項目が対象で、ALPや総ビリルビン等の項目は外れています。圏域(法定)に対応した判定情報を委託元へ提供することはできますか。  
1. 提供できる 2. 提供できない
- 画像所見は二重読影をしていますか。  
1. 実施している 2. 実施していない
- 画像に異常所見があれば前回と比較読影をしていますか。  
1. 実施している 2. 実施していない
- 前回比較読影をしている場合で、精密検査の結果から判定を変更することがありますか。  
1. よく行う 2. とときどき行う 3. 変更しない
- 画像の読影はそれぞれの関連学会専門医が行っていますか。  
1. 専門医が実施している 2. 必ずしも専門医ではない
- 受診日から画像の読影が完了するまでの日数はどのくらいかかりますか。  
1. 検査当日(読影日、画像読影開始日)に実施 2. 検査後日(約( )日後)
- 精度管理体制について該当するものに○をつけてください。(複数回答可)  
1. 精度管理体制(精度管理基準を含む)を整備している  
2. 内部精度管理を行っている 3. 外部精度管理を行っている
- がん検診の精度管理について  
① 圏域におけるがん検診マニュアルが厚生省から出されていますが、参考にされていますか。  
1. 参考にしている 2. 参考にしていない 3. 知らない
- 各がん検診項目の要請検査は把握されていますか。  
1. 把握している 2. 把握していない

8

3. がん検診のプロセス指標の要精検率許容値を参考に、比較していますか。

1. はい 2. いいえ

4. 要精検者に対して紹介状は発行されていますか。

1. 発行している 2. 発行していない

5. 精密検査後の結果について把握されていますか。

1. 総合して把握している 2. 返信のみで把握している  
3. 把握していない

6. がん発見率について把握されていますか。

1. 把握している 2. 把握していない

1.1. がん検診のプロセス指標の要精検率許容値を参考にしていますか。

1. はい 2. いいえ

1.2. 要精検率を算出し検出していますか。

1. はい 2. いいえ

1.3. 年齢の有所見率について

① 心電図検査、胸部X線検査、上部消化管X線検査の年齢の有所見率を把握していますか。

1. 把握している 2. 把握していない

② 把握している場合、それぞれの割合（%）をご記入ください。

	要再検査（%）	要精検検査（%）	要治療（%）
心電図検査			
胸部X線			
上部消化管X線			

E 結果報告・データ管理に関する事項について

1. 人間ドック当日に結果説明を行うことができますか。

1. できる 2. できない

2. 企業・健保等への結果報告について、人間ドックの項目、領域の項目、自費検査の項目など、受け取り側の要請に応じて切り分けて結果報告書を作成することができますか。

1. できる 2. できない

3. 企業・健保等への電子データ提供について、人間ドックの項目、領域の項目、自費検査の項目など、受け取り側の要請に応じて切り分けて電子データの作成・提供ができますか。

1. できる 2. できない

4. 緊急対応、明確に治療対応が必要な場合を除いた、いわゆる再検、精検などの指示は下記のどちらが優先されるべきだと思いますか。

1. 人間ドック判定 2. 産業医判定 3. どちらともいえない

5. 産業医が就労判定を行う際、健診（人間ドック）データだけではなく、病歴情報等を参考にしますが、それらの情報を提供することはできますか。

1. できる 2. できない

6. 受診日から結果報告までにかかる日数はどのくらいになりますか。

約（ ）日後

7. 英語表記の結果報告書を用意していますか。

1. 用意している 2. 用意していない

F 事後の保健指導と受診勧奨について

1. 保健指導対象の選定基準はありますか（特定保健指導を含む）。

1. あり 2. なし

2. 人間ドック当日に保健指導を行うことはできますか。

1. できる 2. できない

3. 人間ドック結果返却後の保健指導を実施していますか。

1. 実施している 2. 実施していない

4. 保健指導の実施内容の記録は保存していますか。

1. 保存している 2. 実施後は廃棄している 3. その他（ ）

5. 特定保健指導は実施していますか。

1. 実施している 2. 今後実施する予定 3. 今後も実施する予定はない

6. 特定保健指導を実施している場合、年間の実施者数はそれぞれどのくらいですか。

1. 人間ドック実施対象者（約 名）  
2. 勧奨付け支援（約 名）  
3. 積極的支援（約 名）

7. 特定保健指導を実施している場合、料金はそれぞれどのくらいですか。

1. 勧奨付け支援（約 円）  
2. 積極的支援（約 円）

8. 保健指導は実施していますか。

1. 専門的に行っている 2. 簡単な行っている 3. 行っていない

9. 要精密検査・要治療と判定された方の結果報告後の受診勧奨は行っていますか。

1. 全員に行っている 2. 一部のみに行っている 3. 特に伝えていない

10. 要精密検査・要治療対象者は、委託元（健保組合など）へも伝えていきますか。

1. 伝えている 2. 一部のみ伝えている 3. 特に伝えていない

11. 要再検査の方で、自施設で再受診した方はおおよそどのくらいの割合になりますか。

約（ ）%

G その他

1. 予防接種は行っていますか。行っているものがあれば○をつけてください。（複数回答可）

1. 風疹 2. 麻疹 3. インフルエンザ 4. 肺炎球菌  
5. 水痘（成人带状疱疹予防） 6. HPV（子宮頸がん予防）

2. 貴施設の従事者の健康管理体制はどのようになっていますか。

1. 職場健診の定期健康診断項目のみ 2. 人間ドックレベル

3. 人間ドックでの受診制限（外国人）を設けていますか。

1. 外国人は不可 2. 通訳付きのみ可 3. 英語が話せる場合は可

4. 人間ドックでの受診制限（障がい者など）を設けていますか。（複数回答可）

1. 視覚障がい 2. 聴覚障がい 3. 車いす使用者

5. 性別一性別が利用の更衣室を男性・女性更衣室とは別に設置していますか。

1. 設置している 2. 設置していない

6. 性別一性別が利用のトイレを男性・女性更衣室とは別に設置していますか。

1. 設置している 2. 設置していない

7. 人間ドックでの受診制限（感染症）を設けていますか。

1. 制限している（疾患名： ）  
2. 制限していない

8. 新型コロナウイルス（covid-19）への対策として、学会が示すガイドラインを遵守していますか。

1. している 2. していない 3. ガイドラインを知らない

9. 新型コロナウイルス（covid-19）への対策として、ガイドライン以外ではどのようなことをされていますか。実施していることがあればご記入ください。

以上で終了です。ご協力ありがとうございました。  
集計結果については、東海大学医学部基礎診療学系衛生学公衆衛生学のホームページに掲載予定です。返信用封筒の裏面に施設番号をご記入いただいた場合、後日、問診用パスワードをご案内いたします。

別表1. 開設者分類表

分類	開設者
A	厚生労働省（独立行政法人国立病院機構、前国立病院・療養所）
	文部科学省（国立大学法人）
	独立行政法人労働者健康福祉機構（前労働福祉事業団）
	その他の国の独立行政法人
	都道府県
B	市町村（指定都市）
	組合（広域連合）
	日赤
	済生会
	厚生連
	北海道社会事業協会
	国民健康保険団体連合会
	独立行政法人地域医療機能推進機構（JCHO）
	健康保険組合及びその連合会
	共済組合及びその連合会
国民健康保険組合	
C	公益法人
	医療法人社団
	医療法人財団
	特定医療法人
	特別医療法人
	指定・特例医療法人
	社会医療法人
	個人
	社会福祉法人
	医療生協
会社	
その他の法人	
学校法人	

参考資料2 東南アジア諸国へのメール調査の内容

Thank you very much for your help this time.

Now we are investigating that health checkups and examinations currently conducted in Asian countries, based on research fund of the Ministry of Health, Labor and Welfare in Japan  
We are very grateful to you for giving us relevant information on the following questions,

Questions

1. Does your country has some legal medical health examinations (check-ups) for workers (public sector / private sector) or the general public (residents in the communities)?

NO /  Yes, by a national law (please specify law name by tentative translation) for public servants, etc.

2. If Yes,  
What kinds of items are included as the inspection items?

For example

In Japan, all for workers with more than 40 years-old,

BMI. Abdominal circumference, Chest x-ray, ECG, vision, hearing, blood pressure, Blood tests (ALT, AST, g-GTP, total cholesterol, HDL- cholesterol

LDL- cholesterol, blood glucose, urine protein, urine blood. Urine glucose.

And, all general public with more than 40 years-old

BMI. Abdominal circumference, ~~Chest x ray, ECG, vision, hearing,~~ blood pressure, Blood test (ALT, AST, g-GTP, total cholesterol, HDL- cholesterol

LDL- cholesterol, blood glucose, urine protein, urine blood. Urine glucose.

3. Does your country recommend arbitrary type of medical health examinations, such as ‘Ningen Dock\*’ in Japan, Cancer screening, Abdominal Echogram,

Creatine for renal function? (\*Ningen Dock: Total body screening examination, whose items are varied by service type.)

NO /  Yes, they are...

Thank you for your cooperation.

## アンケート概要

アンケート実施期間：2020年11月16日～2021年1月15日

発送数(件)	1,718
回収数(件)	341
回収率(%)	19.8
データ件数(件)	341

## 人間ドックの実施状況について

回答	施設数	割合(%)
実施している	319	93.5
実施していない	14	4.1
空欄	8	2.3
合計	341	100.0

### A 施設概要

施設に関する事項について

#### 1. 都道府県別回答施設件数

コード	都道府県名	発送数	回収施設数	回収率(%)	回収数における割合(%)	コード	都道府県名	発送数	回収施設数	回収率(%)	回収数における割合(%)
01	北海道	51	8	15.7	2.3	25	滋賀県	15	4	26.7	1.2
02	青森県	11	3	27.3	0.9	26	京都府	44	5	11.4	1.5
03	岩手県	13	2	15.4	0.6	27	大阪府	150	34	22.7	10.0
04	宮城県	26	6	23.1	1.8	28	兵庫県	63	15	23.8	4.4
05	秋田県	13	2	15.4	0.6	29	奈良県	20	4	20.0	1.2
06	山形県	10	2	20.0	0.6	30	和歌山県	9	1	11.1	0.3
07	福島県	25	5	20.0	1.5	31	鳥取県	9	1	11.1	0.3
08	茨城県	38	6	15.8	1.8	32	島根県	10	4	40.0	1.2
09	栃木県	26	6	23.1	1.8	33	岡山県	37	13	35.1	3.8
10	群馬県	37	7	18.9	2.1	34	広島県	38	10	26.3	2.9
11	埼玉県	72	13	18.1	3.8	35	山口県	21	0	0.0	0.0
12	千葉県	88	13	14.8	3.8	36	徳島県	10	3	30.0	0.9
13	東京都	230	36	15.7	10.6	37	香川県	17	1	5.9	0.3
14	神奈川県	96	14	14.6	4.1	38	愛媛県	19	8	42.1	2.3
15	新潟県	29	8	27.6	2.3	39	高知県	8	2	25.0	0.6
16	富山県	16	5	31.3	1.5	40	福岡県	73	15	20.5	4.4
17	石川県	18	4	22.2	1.2	41	佐賀県	7	0	0.0	0.0
18	福井県	11	3	27.3	0.9	42	長崎県	13	1	7.7	0.3
19	山梨県	17	5	29.4	1.5	43	熊本県	27	8	29.6	2.3
20	長野県	40	8	20.0	2.3	44	大分県	11	3	27.3	0.9
21	岐阜県	24	9	37.5	2.6	45	宮崎県	7	2	28.6	0.6
22	静岡県	53	9	17.0	2.6	46	鹿児島県	27	4	14.8	1.2
23	愛知県	92	17	18.5	5.0	47	沖縄県	23	6	26.1	1.8
24	三重県	24	6	25.0	1.8		合計	1,718	341	19.8	100.0

## 2. 開設者分類

回答	施設数	割合 (%)
分類A	37	10.9
分類B	89	26.1
分類C	211	61.9
空欄	4	1.2
合計	341	100.0

### 【参考: アンケート別表1 開設者分類表】

分類	開設者
A	厚生労働省（独立行政法人国立病院機構、前国立病院・療養所）
	文部科学省（国立大学法人）
	独立行政法人労働者健康福祉機構（前労働福祉事業団）
	その他の国の独立行政法人
	都道府県
	市町村（指定都市）
B	組合（広域連合）
	日赤
	済生会
	厚生連
	北海道社会事業協会
	国民健康保険団体連合会
	独立行政法人地域医療機能推進機構（JCHO）
	健康保険組合及びその連合会
	共済組合及びその連合会
	国民健康保険組合
公益法人	
C	医療法人社団
	医療法人財団
	特定医療法人
	特別医療法人
	特定・特別医療法人
	社会医療法人
	個人
	社会福祉法人
	医療生協
	会社
	その他の法人
	学校法人

## 3. 併設施設の有無

回答	施設数	割合 (%)
併設施設なし(単独)	62	18.2
病院併設	197	57.8
診療所 / クリニック併設	72	21.1
空欄	10	2.9
合計	341	100.0



4. 人間ドック従事者数(人)

		項目	施設数	従事者数の平均
1	医師	常勤 人間ドック・健診施設(専任または本務)	250	3.03
2		常勤 病院・診療所兼務	203	5.98
3		非常勤	256	10.42
4	保健師	常勤 人間ドック・健診施設(専任または本務)	233	3.54
5		常勤 病院・診療所兼務	92	0.79
6		非常勤	131	1.15
7	看護師・准看護師	常勤 人間ドック・健診施設(専任または本務)	233	5.85
8		常勤 病院・診療所兼務	135	5.33
9		非常勤	206	5.42
10	診療放射線技師	常勤 人間ドック・健診施設(専任または本務)	166	4.82
11		常勤 病院・診療所兼務	200	6.60
12		非常勤	134	2.81
13	臨床検査技師・視能訓練士	常勤 人間ドック・健診施設(専任または本務)	189	6.10
14		常勤 病院・診療所兼務	199	6.80
15		非常勤	164	3.59
16	管理栄養士	常勤 人間ドック・健診施設(専任または本務)	148	1.43
17		常勤 病院・診療所兼務	139	1.75
18		非常勤	100	0.81
19	事務職員(情報系職員を除く)	常勤 人間ドック・健診施設(専任または本務)	284	11.73
20		常勤 病院・診療所兼務	121	2.68
21		非常勤	177	6.14
22	情報系職員	常勤 人間ドック・健診施設(専任または本務)	128	2.25
23		常勤 病院・診療所兼務	87	1.13
24		非常勤	79	2.39
26	その他専門職	常勤 人間ドック・健診施設(専任または本務)	66	1.58
27		常勤 病院・診療所兼務	50	2.40
28		非常勤	58	1.76

25. その他専門職 資格名 自由記載内訳

	施設数
MA	1
アシスタント	1
アロマセラピスト	1
クラーク	1
ヘルスケアトレーナー	1
運転手	5
営業	1
看護助手	3
看護補助	1
眼科	1
健康運動指導士	10
細胞検査士	1
助手	2
大型車運転、健診補助	1
調理	2
内視鏡技師	1
放射線専門医	1

5. 施設認証

(1) 日本人間ドック学会の機能評価認定の取得状況

回答	施設数	割合(%)
取得済	121	35.5
取得していない	174	51.0
取得に向けて準備中	33	9.7
空欄	13	3.8
合計	341	100.0

(2) 日本総合健診医学会の優良認定施設の取得状況

回答	施設数	割合(%)
取得済	43	12.6
取得していない	275	80.6
取得に向けて準備中	10	2.9
空欄	13	3.8
合計	341	100.0

6. 問合せ・苦情窓口の設置状況

回答	施設数	割合(%)
設置している	255	74.8
設置していない	77	22.6
空欄	9	2.6
合計	341	100.0

7. 苦情は管理者や施設長と共有できるしくみになっているか

回答	施設数	割合(%)
はい	324	95.0
いいえ	9	2.6
空欄	8	2.3
合計	341	100.0

8. アンケート回答者の肩書

1. 肩書 選択肢

回答	施設数	割合(%)
施設長(理事長等)	19	5.6
事務長	53	15.5
責任医師	26	7.6
その他	226	66.3
空欄	17	5.0
合計	341	100.0

9. 問題があった際の改善策（PDCAサイクル）の実施

回答	施設数	割合（%）
はい	296	86.8
いいえ	32	9.4
空欄	13	3.8
合計	341	100.0

10. 安全実施基準の策定

回答	施設数	割合（%）
文書で策定している	191	56.0
策定していない	129	37.8
空欄	21	6.2
合計	341	100.0

設問9,10のクロス集計 ※有効回答のみ集計

	安全実施基準 を文書で策定 している	安全実施基準 を策定していな い	合計
問題があった際の改善策（PDCAサイクル）を 実施している	183	103	286
問題があった際の改善策（PDCAサイクル）を 実施していない	7	25	32
合計	190	128	318

B 人間ドックコースと項目について

1. 人間ドックの改善・改良の必要性

回答	施設数	割合 (%)
現在のままで十分機能している	169	49.6
多少の改善の余地はある	154	45.2
大幅に改善すべきと思う	1	0.3
空欄	17	5.0
合計	341	100.0

2. 健診分類毎の2019年度実施区分・受診者数

健診分類毎の2019年度実施区分

項目	実施している		実施していない		空欄		合計	
	施設数	割合 (%)	施設数	割合 (%)	施設数	割合 (%)	施設数	割合 (%)
一日ドック	272	79.8	45	13.2	24	7.0	341	100.0
二日ドック(二日以上)	122	35.8	177	51.9	42	12.3	341	100.0
人間ドック独自コース	144	42.2	136	39.9	61	17.9	341	100.0
生活習慣病予防健診	279	81.8	38	11.1	24	7.0	341	100.0
特定健康診査	286	83.9	38	11.1	17	5.0	341	100.0
職域健診	290	85.0	27	7.9	24	7.0	341	100.0
その他の健診	253	74.2	51	15.0	37	10.9	341	100.0
巡回健診	100	29.3	192	56.3	49	14.4	341	100.0

実施している場合の受診者数(人) ※有効回答のみ集計

項目	施設数	受診者数 平均
一日ドック	232	4,474
二日ドック(二日以上)	113	448
人間ドック独自コース	123	2,591
生活習慣病予防健診	245	5,300
特定健康診査	245	3,345
職域健診	248	12,726
その他の健診	206	9,564
巡回健診	90	44,728

3. 受診者一人当たりの平均的な面接時間(分) ※有効回答のみ集計

項目	施設数	面接時間 (分) 平均
医療面接(医療職)22項目問診含む	271	8.24
結果説明(医師)(受診勧奨)	241	9.91
結果説明(医師)(結果報告書)	266	11.03
保健指導(医療職)(受診勧奨)	211	11.32
保健指導(医療職)(結果報告書)	201	12.53

#### 4. オプション項目における検査の事前説明について

##### (1) 日本人間ドック学会のオプション項目について

###### ①オプション項目における検査の意義・内容に関する説明の実施

回答	施設数	割合(%)
実施している	260	76.2
実施していない	67	19.6
空欄	14	4.1
合計	341	100.0

###### ②オプション項目における検査の意義、内容に関する説明資料の用意

回答	施設数	割合(%)
用意している	268	78.6
用意していない	57	16.7
空欄	16	4.7
合計	341	100.0

###### ③オプション項目を選択した場合の受診者に対する利益・不利益の説明の実施

回答	施設数	割合(%)
実施している	205	60.1
実施していない	117	34.3
空欄	19	5.6
合計	341	100.0

##### (2) 施設独自の追加検査項目について

###### ①追加検査項目における検査の意義・内容に関する説明の実施

回答	施設数	割合(%)
実施している	247	72.4
実施していない	79	23.2
空欄	15	4.4
合計	341	100.0

###### ②追加検査項目における検査の意義・内容に関する説明資料の用意

回答	施設数	割合(%)
用意している	259	76.0
用意していない	64	18.8
空欄	18	5.3
合計	341	100.0

###### ③追加検査項目を選択した場合の受診者に対する利益・不利益の説明の実施

回答	施設数	割合(%)
実施している	193	56.6
実施していない	130	38.1
空欄	18	5.3
合計	341	100.0

5. 市町村から委託されるがん検診の検査項目ごとの受診者数、要精検数

受診者数(人) ※有効回答のみ集計

項目	施設数	受診者数 平均
肺がん	187	5,677
胃がん	205	2,751
大腸がん	217	3,746
子宮頸がん	193	2,028
乳がん	213	2,131
前立腺がん	172	902

要精検の件数(件) ※有効回答のみ集計

項目	施設数	要精検件 数平均
肺がん	133	180
胃がん	146	231
大腸がん	166	297
子宮頸がん	143	53
乳がん	165	118
前立腺がん	118	68

精密検査結果の把握状況

項目	把握している		把握していない		空欄		合計	
	施設数	割合(%)	施設数	割合(%)	施設数	割合(%)	施設数	割合(%)
肺がん	116	34.0	43	12.6	182	53.4	341	100.0
胃がん	132	38.7	45	13.2	164	48.1	341	100.0
大腸がん	138	40.5	57	16.7	146	42.8	341	100.0
子宮頸がん	118	34.6	54	15.8	169	49.6	341	100.0
乳がん	135	39.6	57	16.7	149	43.7	341	100.0
前立腺がん	91	26.7	51	15.0	199	58.4	341	100.0

がんと診断された件数(知りえた件数)(件) ※有効回答のみ集計

項目	施設数	診断された 件数平均
肺がん	87	6.1
胃がん	110	6.4
大腸がん	111	10.9
子宮頸がん	93	2.1
乳がん	113	10.4
前立腺がん	72	8.1

6. 施設認証

①追加が望まれる検査項目・理由 自由記載内訳

回答	施設数
・BUN: 人間ドックに必須項目とする共済組合・健康保険組合が多い	1
・NTproBNP: 理由: 安静時心電図のみでの心疾患早期発見には限界がある。血液検査で負担なく実施出来る。負荷心電図の代替検査として。 ・尿中マイクロアルブミン: 糖尿病性腎症の早期発見 ・心エコー ・B・C肝炎検査 ・胸部CT	1
・TPHA 患者数が近年増加傾向にあるため ・PSA・胃内視鏡検査 早期発見の有効性が認められる項目。上部消化管検査は内視鏡が主流となっている	1
・腫瘍マーカー検査 ・ピロリ菌検査	1
・女性受診者へ、女性検診 ・腫瘍マーカー(CA19-9、PSA、CA125)	1
・低線量肺CT検査: 胸部X線での肺がん検出には限界があると思われるため。 ・FIB-4index: NASHの拾い上げとしての意義があること。	1
ABC分類の追加	1
CK	1
CKおよびCK-MB: 心筋疾患の指標として有用と考える	1
CT、MRI	1
HCV抗体	1
Na、K、Cl	1
PSA	1
PSA: 早期発見に有意義	1
・S状結腸内視鏡(1回/3-5年) ・全大腸内視鏡(1回/3-5年) ・大腸CT(1回/3-5年) ・大腸画像診断を数年に1回(オプションで可)	1
アミラーゼ	3
ピロリ菌抗体検査: 除菌により胃ガンの予防になる	1
フェリチン	1
フレイルに関する検査。当施設受診者は高齢者が多く今後認知を含めたフレイルに関する検査が必要であり、指導も必要であるため	1
ヘリコバクターピロリ、ペプシノゲン: とともに胃検診の一手段として苦痛なく手軽に検査でき有用であるため	2
ロコモ検査: 運動能力評価は大切	1
簡易視野検査	1
肝線維化、アデポネクチン(関心が高くなっている)	1
胸部CT	1
経膈超音波: 卵巣・子宮内膜のチェックの為	1
現時点では特になし	1
顧客指定に従う	1
甲状腺機能検査(検査希望が多いため)	1
甲状腺検査(例えばTSH)などは早期発見につながるため入れたほうがよいと思う	1
骨密度、ピロリ菌	1
脂肪肝が多いため、フェリチン等の追加	1
視野検査	2
睡眠時無呼吸症候群に関する検査。胃癌のABC検診	1
体脂肪率、アミラーゼ、鉄、RFは基本項目に入っていていいと思います。	1
乳がん、子宮頸がん	1
尿中アルブミン: 糖尿病性腎症の早期発見に有用なため	1

回答	施設数
脳梗塞や心筋梗塞等リスク検査	1
肺ドック(CT検査):胸部X線検査だけでは、肺がんの評価はできない	1
肺機能:感染リスクあり	1
特にありませんが、外注しないとできない検査が基本に含まれると困ります。	1
特になし	35

②除いたほうがよいと思われる検査項目・理由 自由記載内訳

回答	施設数
・血液型:初回のみ実施 ・血液検査:ASOなど一意味なし	1
・腫瘍マーカー(PSA以外)は評価が難しい。 ・胃透視	1
2日コースの糖負荷検査	1
ABO、Rh	2
BUN:CreとeGFRを測定してあれば不要と考える	1
nonコレステロール値	1
PSA検査については、対象年齢を設定した方が良いと思われる。	1
TPLA:陽性時の説明、状況把握が困難	1
眼圧、肺機能検査、血液型	1
眼圧検査(削除条件として視野検査を標準検査とする)	1
・眼圧検査:正常眼圧緑内障が多い為 ・血液型:オプションで良いのでは。	1
胸写側面:得られる情報が少なすぎるため(被曝する割に)	1
胸部2枚:デジタル撮影の為	1
血液型	1
血液型(ABO Rh):必須ではなくオプションでよいと思われる。	1
血液型(ABO、Rh)、梅毒反応、呼吸機能検査	1
血液型:[本人の申出により省略可]を[初回時のみ実施(ただし初回時でも本人の申出があれば省力可)]などと表現を変更していただきたい。人間ドックを受診される方は、殆ど血液型は把握しており検査の必要がない方が多いと感じる	1
血液型は毎年受診される方に対しては不必要項目だと思います	1
血型	1
血沈	1
呼吸機能検査:健診者の理解力・技師の技量等により値に変動が大きい	1
呼吸機能検査は必須項目ではなくオプションでよいのではないか	1
上部消化管X線検査:身体的に検査精度に限界があり、又ピロリ菌の有無や除菌歴によって特異性が出ると思われる	1
心拍数はデジタル出力が難しく、脈拍の方がありがたいと思ってます。呼吸機能検査	1
総ビリルビン	1
糖負荷検査	2
特になし。呼吸機能検査の再開については、当面の間、様子を見る方針	1
乳房触診	1
尿沈査:無染色鏡検査のため、意義に欠ける	1
尿沈査:健診機関では定性の結果での判定でよいと思う。尿沈査は精密医療機関で実施すればよいと思う。	1
肺機能(スパイロ)検査	1
肺機能検査	1
梅毒	1
梅毒、虫卵、血液型:必要とされる方のみで良い(院長との話し合にて)	1
梅毒関連検査	1
梅毒反応:生物学的偽陽性が多く、対応に苦慮する為	1
肥満度(BMIがあるため不要)	1
肥満度、血液型	1
腹部触診	1
特になし	39



③ 毎年の実施が必要と思われない検査

項目	回答あり	割合 (%)	空欄	割合 (%)	施設数 合計	割合 (%)
眼圧検査	39	11.4	302	88.6	341	100.0
眼底検査	14	4.1	327	95.9	341	100.0
呼吸機能検査	66	19.4	275	80.6	341	100.0
上部消化管X線検査	28	8.2	313	91.8	341	100.0
上部消化管内視鏡検査	23	6.7	318	93.3	341	100.0
その他	20	5.9	321	94.1	341	100.0

毎年の実施が必要と思われない検査 その他 自由記載内訳

回答	施設数
4(上部消化管X線検査)、5(上部消化管内視鏡検査)は隔年でも	1
40才以上は5(上部消化管内視鏡検査)を年1回すすめますが、4(上部消化管X線検査)を毎年受ける方には5(上部消化管内視鏡検査)をすすめます	1
ピロリ菌検査	1
感染症検査(肝炎ウイルス、梅毒など)	1
血液型	5
肝炎検査	2
呼吸機能検査(新型コロナウイルス流行下の場合)	1
糖負荷	1
聴力検査	1
腹部エコー	1
特になし	7

7. 人間ドックでの受診制限(年齢)について

(1) 上部消化管X線検査での受診制限を設けているか

回答	施設数	割合 (%)
年齢上限なし	247	72.4
年齢制限あり	74	21.7
空欄	20	5.9
合計	341	100.0

## (2) その他の受診制限を設けている検査 自由記載内訳

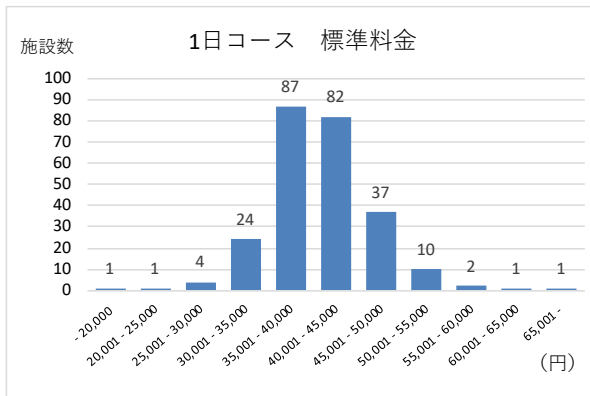
回答	施設数
(1)に関して、年齢上限はないが、医師診察時の問診やデータ確認のうえ、胃部X線、胃カメラ等はキャンセルとなる場合あり。	1
・20代には被曝のことを伝えている ・年齢制限よりは体動の制限(検査台の上でどこまで動けるか)がないか	1
・80才以上での消化器X線検査 ・何才でも消化器X線検査:アレルギーの方 ・何才でも消化器X線検査:体重125kg以上	1
・大腸内視鏡、大腸CT、冠動脈CT、膵臓MRCP:75歳以下 ・静脈麻酔下胃カメラ:65歳以下	1
65才以上の受診者については、嚥下についての問診を実施しており、検査施工可否を判断している	1
74歳以下に限る(胃部X線)	1
80才:骨密度検査(US法)	1
CS:80才制限。事前に医師が確認する。	1
マンモグラフィ	2
胃Ba造影検査は、80才以上の受検者には安全面から胃カメラ検査への受検をすすめている	1
胃X-Pは本人の体力による部分があり、手すりにつかまり続けられないならおことわりしている	1
胃バリウム検査	1
検査ではありませんが、鎮静剤は75才以上不可	1
回答	施設数
子宮体がん(70才以下)	1
上部・下部消化管の鎮静剤使用は年齢制限あり	1
上部消化管内視鏡検査、鎮静剤使用は75才までとしています	1
人間ドック受診年齢を74才(一部地域80才)までとしている。	1
制限ではないが、胃バリウム検査で高齢(概ね75才以上)は検査に問題がないか(腕の力等)口頭で確認している。	1
全身麻酔による胃内視鏡検査及び胃透視検査	1
大腸カメラ	4
大腸内視鏡検査:80歳以上不可	1
追加検査の負荷心電図は70歳未満の方のみとなります。	1
糖負荷	1
内視鏡検査における鎮静剤使用	1
脳ドック:79歳上限	1
負荷心電図	3
特になし。(1)で年齢の制限はないが、意思疎通が出来、透視台の上で動けることを条件としている。	1
特になし。受診時の体調、状態により判断	1
特になし	41

C 料金・請求に関する事項について

1. 人間ドックの標準料金と契約(実際の)料金について

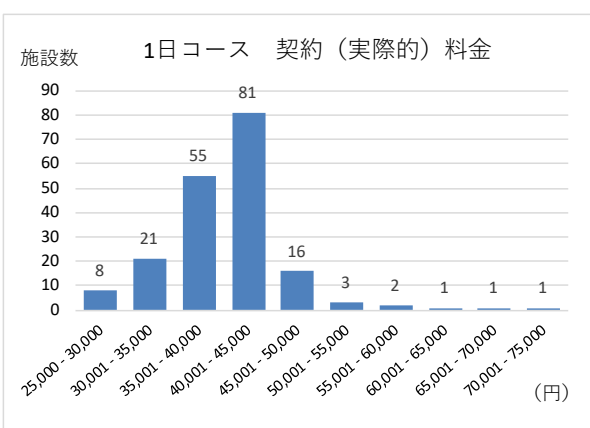
1日コース 標準料金

金額	施設数	割合 (%)
- 20,000	1	0.4
20,001 - 25,000	1	0.4
25,001 - 30,000	4	1.6
30,001 - 35,000	24	9.6
35,001 - 40,000	87	34.8
40,001 - 45,000	82	32.8
45,001 - 50,000	37	14.8
50,001 - 55,000	10	4.0
55,001 - 60,000	2	0.8
60,001 - 65,000	1	0.4
65,001 -	1	0.4
合計	250	100.0



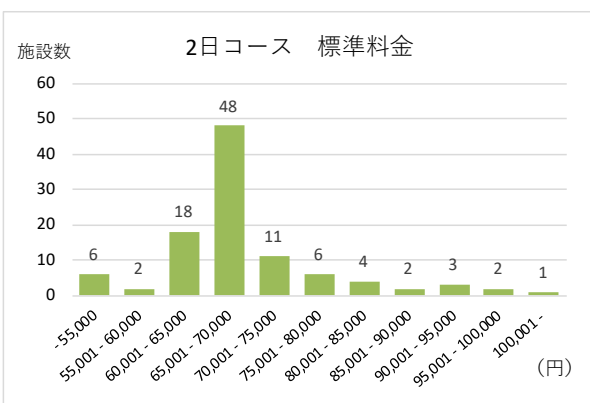
1日コース 契約(実際の)料金

金額	施設数	割合 (%)
25,000 - 30,000	8	4.2
30,001 - 35,000	21	11.1
35,001 - 40,000	55	29.1
40,001 - 45,000	81	42.9
45,001 - 50,000	16	8.5
50,001 - 55,000	3	1.6
55,001 - 60,000	2	1.1
60,001 - 65,000	1	0.5
65,001 - 70,000	1	0.5
70,001 - 75,000	1	0.5
合計	189	100.0



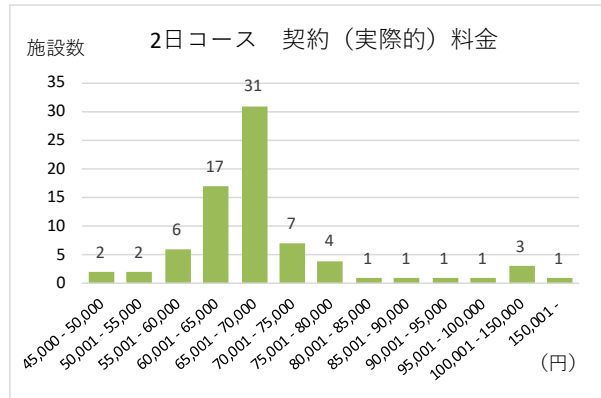
2日コース 標準料金

金額	施設数	割合 (%)
- 55,000	6	5.8
55,001 - 60,000	2	1.9
60,001 - 65,000	18	17.5
65,001 - 70,000	48	46.6
70,001 - 75,000	11	10.7
75,001 - 80,000	6	5.8
80,001 - 85,000	4	3.9
85,001 - 90,000	2	1.9
90,001 - 95,000	3	2.9
95,001 - 100,000	2	1.9
100,001 -	1	1.0
合計	103	100.0



2日コース 契約(実際の)料金

金額	施設数	割合 (%)
45,000 - 50,000	2	2.6
50,001 - 55,000	2	2.6
55,001 - 60,000	6	7.8
60,001 - 65,000	17	22.1
65,001 - 70,000	31	40.3
70,001 - 75,000	7	9.1
75,001 - 80,000	4	5.2
80,001 - 85,000	1	1.3
85,001 - 90,000	1	1.3
90,001 - 95,000	1	1.3
95,001 - 100,000	1	1.3
100,001 - 150,000	3	3.9
150,001 -	1	1.3
合計	77	100.0



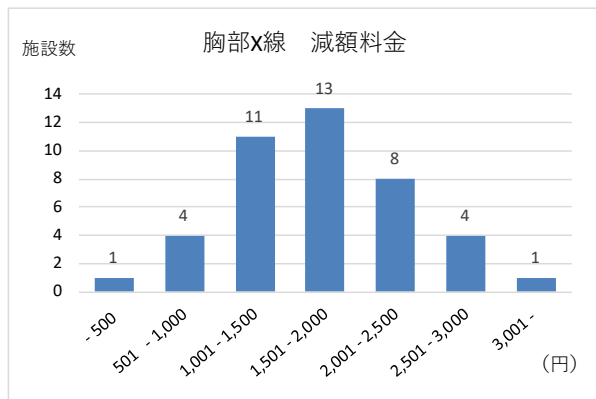
2. 胸部X線、上部消化管X線、腹部超音波検査を実施できなかった場合の減額の実施状況と金額

減額の実施状況

項目	減額しない		減額する		空欄		合計	
	施設数	割合 (%)	施設数	割合 (%)	施設数	割合 (%)	施設数	割合 (%)
胸部X線	256	75.1	51	15.0	34	10.0	341	100.0
上部消化管X線	196	57.5	111	32.6	34	10.0	341	100.0
腹部超音波	256	75.1	49	14.4	36	10.6	341	100.0

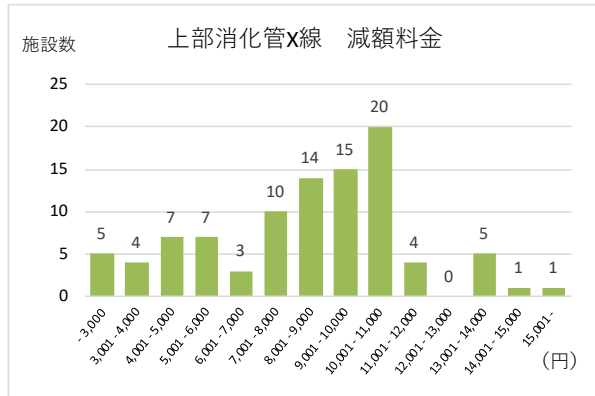
胸部X線 減額料金

金額	施設数	割合 (%)
- 500	1	2.4
501 - 1,000	4	9.5
1,001 - 1,500	11	26.2
1,501 - 2,000	13	31.0
2,001 - 2,500	8	19.0
2,501 - 3,000	4	9.5
3,001 -	1	2.4
合計	42	100.0



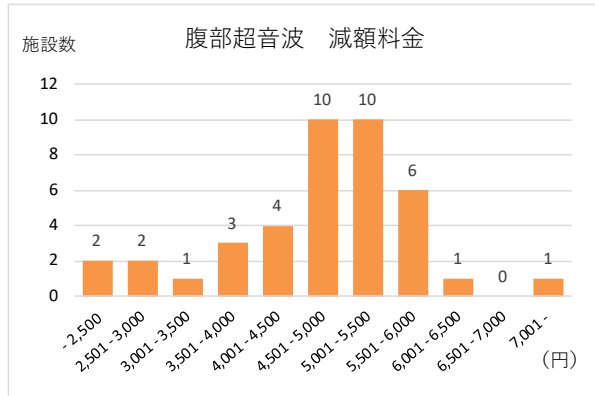
上部消化管X線 減額料金

金額	施設数	割合 (%)
～ 3,000	5	5.2
3,001～ 4,000	4	4.2
4,001～ 5,000	7	7.3
5,001～ 6,000	7	7.3
6,001～ 7,000	3	3.1
7,001～ 8,000	10	10.4
8,001～ 9,000	14	14.6
9,001～ 10,000	15	15.6
10,001～ 11,000	20	20.8
11,001～ 12,000	4	4.2
12,001～ 13,000	0	0.0
13,001～ 14,000	5	5.2
14,001～ 15,000	1	1.0
15,001～	1	1.0
合計	96	100.0



腹部超音波 減額料金

金額	施設数	割合 (%)
～ 2,500	2	5.0
2,501～ 3,000	2	5.0
3,001～ 3,500	1	2.5
3,501～ 4,000	3	7.5
4,001～ 4,500	4	10.0
4,501～ 5,000	10	25.0
5,001～ 5,500	10	25.0
5,501～ 6,000	6	15.0
6,001～ 6,500	1	2.5
6,501～ 7,000	0	0.0
7,001～	1	2.5
合計	40	100.0



3. 血液型(ABO・Rh)、HBs抗原、尿沈渣検査を実施できなかった場合、請求料金の減額の実施と金額

項目	減額しない		減額する		コース料金に含めていない		空欄		合計	
	施設数	割合 (%)	施設数	割合 (%)	施設数	割合 (%)	施設数	割合 (%)	施設数	割合 (%)
ABO・Rh	227	66.6	6	1.8	69	20.2	39	11.4	341	100.0
HBs抗原	267	78.3	11	3.2	25	7.3	38	11.1	341	100.0
尿沈渣	279	81.8	3	0.9	20	5.9	39	11.4	341	100.0

ABO・Rh 減額料金 内訳

金額	施設数
550	1
770	1
2,950	1
合計	3

HBs抗原 減額料金 内訳

金額	施設数
290	1
400	1
550	1
1,100	1
2,000	1
合計	5

尿沈渣 減額料金 内訳

金額	施設数
320	1
330	1
合計	2

4. 直前キャンセルの場合のキャンセル料について

回答	施設数	割合(%)
とっていない	318	93.3
直前のみとっている	7	2.1
空欄	16	4.7
合計	341	100.0

5. 上部消化管内視鏡検査(人間ドックオプション項目)について

1. 実施に際して、十分な説明をし本人からの文書同意を取得しているか

回答	施設数	割合(%)
取得している	299	87.7
取得していない	10	2.9
空欄	32	9.4
合計	341	100.0

2. 経口内視鏡の場合、セデーションは何割くらい利用しているか

回答	施設数	割合(%)
利用している	131	38.4
利用していない	169	49.6
空欄	41	12.0
合計	341	100.0

利用している場合の割合(%) ※有効回答のみ集計

施設数	利用割合(%)平均
104	45.3

※5-3～5については、5-2で「利用している」と回答のあった131施設を母数とする。

3. セデーションの料金はいくらか

回答	施設数	割合(%)
有料	60	45.8
無料	70	53.4
空欄	1	0.8
合計	131	100.0

有料の場合の料金(円) ※有効回答のみ集計

施設数	料金(円)平均
62	3,990

4. セデーションを行う際の血圧・酸素分圧等のモニタリングの実施状況

回答	施設数	割合(%)
実施している	119	90.8
実施していない	9	6.9
空欄	3	2.3
合計	131	100.0

5. セデーションに用いる薬剤(複数回答可)

回答	施設数	割合(%)	空欄	割合(%)	施設数合計	割合(%)
ドロニカム	61	46.6	70	53.4	131	100.0
サイレース	13	9.9	118	90.1	131	100.0
セルシン	25	19.1	106	80.9	131	100.0
その他	43	32.8	88	67.2	131	100.0

セデーションに用いる薬剤 その他 自由記載内訳

回答	施設数
ジアゼパム	2
ディプリバン	1
ドルミカム	6
ドルミカム、ペチジン塩酸塩	1
ドルミカム、ミダゾラム	2
ブスコパン	1
プロボフォール	4
ペチジン	2
ペチジン、ナロキソン	1
ペチジン塩酸塩注射液	1
ホリゾン	2
ミダゾラム	16
ミダゾラム、プロボフォール	1
ラダゾウム	1

6. 内視鏡実施時に生検を行う場合の料金請求について

回答	施設数	割合(%)
健康保険適用	266	78.0
人間ドック(健康診断)費用	5	1.5
自費(本人負担)	13	3.8
その他	12	3.5
空欄	45	13.2
合計	341	100.0

料金請求について その他 自由記載内訳

回答	施設数
会社へ請求	1
契約内容に準ずる。1-3全てあり。	1
人間ドックとしては生検は行わない	1
生検は行っていない	3
生検を実施しない→外来へ紹介	1
実施していない	5

6. オプション項目・追加検査項目の料金の決め方について(複数回答可)

回答	施設数	割合(%)	空欄	割合(%)	施設数 合計	割合(%)
保険点数とほぼ同じ	202	59.2	139	40.8	341	100
保険点数より高くしている	59	17.3	282	82.7	341	100
保険点数より低くしている	46	13.5	295	86.5	341	100
保険点数とは無関係に定めている	24	7.0	317	93.0	341	100
他施設を参考にして定めている	128	37.5	213	62.5	341	100
その他	8	2.3	333	97.7	341	100

料金請求について その他 自由記載内訳

回答	施設数
(保険点数+事務手数料)×消費税	1
胃内視鏡は保険点数その他詳細は不明	1
外注の検査料金	1
保険点数と人件費、コストなどあわせて検討	1
保険点数を参考に定めている	2

7. オプション検査項目について

ア)実施区分

項目	現在実施している		数年以内に導入予定あり		導入予定なし		空欄	
	施設数	割合(%)	施設数	割合(%)	施設数	割合(%)	施設数	割合(%)
MRI・MRA	225	66.0	8	2.3	69	20.2	39	11.4
頸動脈超音波	228	66.9	8	2.3	67	19.6	38	11.1
認知機能検査	73	21.4	13	3.8	197	57.8	58	17.0
視野検査(FDT)	30	8.8	3	0.9	240	70.4	68	19.9
OCT(3次元眼底検査)	15	4.4	10	2.9	251	73.6	65	19.1
胸部CT	155	45.5	6	1.8	126	37.0	54	15.8
胸部CT(低線量)	135	39.6	15	4.4	124	36.4	67	19.6
喀痰細胞診	223	65.4	5	1.5	69	20.2	44	12.9
睡眠時無呼吸簡易検査	87	25.5	6	1.8	184	54.0	64	18.8
終夜睡眠ポリグラフ(PSG)検査	8	2.3	2	0.6	263	77.1	68	19.9
トレッドミル・エルゴメータ	32	9.4	2	0.6	240	70.4	67	19.6
心臓超音波検査	96	28.2	10	2.9	175	51.3	60	17.6
心臓CT	23	6.7	10	2.9	241	70.7	67	19.6
心臓MRA	5	1.5	8	2.3	259	76.0	69	20.2
BNP、NT-proBNP	152	44.6	15	4.4	117	34.3	57	16.7
24時間ホルター心電図	23	6.7	7	2.1	243	71.3	68	19.9
baPWV/ABI	145	42.5	10	2.9	115	33.7	71	20.8
CAVI	87	25.5	7	2.1	177	51.9	70	20.5
FMD	5	1.5	4	1.2	256	75.1	76	22.3
24時間血圧計	3	0.9	5	1.5	262	76.8	71	20.8
上部消化管内視鏡(経口)	284	83.3	2	0.6	18	5.3	37	10.9
上部消化管内視鏡(経鼻)	225	66.0	11	3.2	64	18.8	41	12.0
ヘリコバクター・ピロリ関連	261	76.5	4	1.2	40	11.7	36	10.6
ABC検査	199	58.4	7	2.1	87	25.5	48	14.1
ペプシノーゲン検査	183	53.7	5	1.5	103	30.2	50	14.7
全大腸内視鏡検査	95	27.9	5	1.5	183	53.7	58	17.0
S状結腸内視鏡検査	37	10.9	2	0.6	232	68.0	70	20.5
大腸CT	31	9.1	7	2.1	237	69.5	66	19.4
カプセル内視鏡	2	0.6	1	0.3	269	78.9	69	20.2
腹部CT(内臓脂肪量測定目的以外)	93	27.3	7	2.1	182	53.4	59	17.3
腹部MRI	13	3.8	8	2.3	252	73.9	68	19.9
ファイブロスキャン検査	1	0.3	3	0.9	267	78.3	70	20.5
Fib4 Index	3	0.9	7	2.1	257	75.4	74	21.7
膵臓MRCP	16	4.7	8	2.3	247	72.4	70	20.5
リパーゼ	48	14.1	6	1.8	222	65.1	65	19.1
アマラーゼ	184	54.0	3	0.9	93	27.3	61	17.9
膵型アマラーゼ	28	8.2	9	2.6	234	68.6	70	20.5
インスリン抵抗性、HOMA-IR	36	10.6	4	1.2	231	67.7	70	20.5
骨盤部MRI	23	6.7	8	2.3	243	71.3	67	19.6
注腸検査	12	3.5	0	0.0	263	77.1	66	19.4
下腹部超音波(前立腺・膀胱)	73	21.4	5	1.5	198	58.1	65	19.1
CT(内臓脂肪面積)	155	45.5	7	2.1	125	36.7	54	15.8
内臓脂肪インピーダンス法	27	7.9	2	0.6	235	68.9	77	22.6
体脂肪率	178	52.2	2	0.6	104	30.5	57	16.7
頸椎MRI	12	3.5	7	2.1	248	72.7	74	21.7
腰椎MRI	10	2.9	6	1.8	251	73.6	74	21.7
骨密度(DXAまたはQCT)	200	58.7	8	2.3	88	25.8	45	13.2
骨密度(超音波)	88	25.8	4	1.2	186	54.5	63	18.5
ロコモ関係検査	20	5.9	10	2.9	240	70.4	71	20.8



PET、PET-CT	47	13.8	3	0.9	224	65.7	67	19.6
マンモグラフィ	280	82.1	1	0.3	25	7.3	35	10.3
超音波	244	71.6	10	2.9	46	13.5	41	12.0
乳腺MRI	2	0.6	4	1.2	266	78.0	69	20.2
3Dマンモグラフィ	16	4.7	7	2.1	250	73.3	68	19.9
医師による視触診	139	40.8	1	0.3	138	40.5	63	18.5
経膈超音波	165	48.4	5	1.5	118	34.6	53	15.5
子宮頸部細胞診	273	80.1	3	0.9	29	8.5	36	10.6
子宮体部細胞診	75	22.0	3	0.9	202	59.2	61	17.9
医師による子宮内診	214	62.8	3	0.9	66	19.4	58	17.0
HPV	138	40.5	8	2.3	136	39.9	59	17.3
PSA検査	312	91.5	2	0.6	0	0.0	27	7.9
甲状腺超音波検査	132	38.7	7	2.1	145	42.5	57	16.7
甲状腺機能(TSH、FT4、FT3)	221	64.8	3	0.9	67	19.6	50	14.7
CEA	288	84.5	2	0.6	17	5.0	34	10.0
AFP	250	73.3	2	0.6	45	13.2	44	12.9
CA19-9	275	80.6	2	0.6	26	7.6	38	11.1
CA125	253	74.2	2	0.6	45	13.2	41	12.0
抗p53抗体	27	7.9	9	2.6	230	67.4	75	22.0
CYFRA	121	35.5	7	2.1	148	43.4	65	19.1
SCC	121	35.5	5	1.5	157	46.0	58	17.0
尿アルブミン	58	17.0	11	3.2	199	58.4	73	21.4
尿細胞診	32	9.4	7	2.1	229	67.2	73	21.4
男性更年期	3	0.9	5	1.5	261	76.5	72	21.1
女性更年期	14	4.1	6	1.8	252	73.9	69	20.2
アレルギー検査	84	24.6	12	3.5	189	55.4	56	16.4
AIDS検査	33	9.7	2	0.6	239	70.1	67	19.6
基礎代謝検査	2	0.6	3	0.9	266	78.0	70	20.5
予防歯科検査	19	5.6	3	0.9	248	72.7	71	20.8
遺伝子検査	15	4.4	16	4.7	239	70.1	71	20.8

7. オプション検査項目について

イ) 検査件数 ※有効回答のみ集計

項目	件数	検査件数平均
MRI・MRA	152	535.0
頸動脈超音波	146	661.2
認知機能検査	49	183.1
視野検査(FDT)	28	2675.9
OCT(3次元眼底検査)	15	1321.3
胸部CT	92	524.4
胸部CT(低線量)	96	759.9
喀痰細胞診	140	302.9
睡眠時無呼吸簡易検査	68	42.8
終夜睡眠ポリグラフ(PSG)検査	13	5.8
トレッドミル・エルゴメータ	26	392.0
心臓超音波検査	65	137.0
心臓CT	20	69.8
心臓MRA	9	35.2
BNP、NT-proBNP	99	748.9
24時間ホルター心電図	19	9.1
baPWV/ABI	92	519.3
CAVI	47	862.8
FMD	9	20.6
24時間血圧計	9	0.2
上部消化管内視鏡(経口)	129	2468.3
上部消化管内視鏡(経鼻)	99	1668.4
ヘリコバクタ・ピロリ関連	147	770.8
ABC検査	116	269.6
ペプシノーゲン検査	99	503.5
全大腸内視鏡検査	63	283.2
S状結腸内視鏡検査	26	656.2
大腸CT	29	85.0
カプセル内視鏡	9	0.7
腹部CT(内臓脂肪量測定目的以外)	56	164.5
腹部MRI	14	88.9
ファイブロスキャン検査	7	0.0
Fib4 Index	8	980.0
膵臓MRCP	15	44.9
リパーゼ	32	543.6
アミラーゼ	94	4911.1
膵型アミラーゼ	19	7960.2
インスリン抵抗性、HOMA-IR	36	1208.7
骨盤部MRI	19	46.2
注腸検査	15	3.9
下腹部超音波(前立腺・膀胱)	38	2847.6
CT(内臓脂肪面積)	99	471.6
内臓脂肪インピーダンス法	21	1423.9
体脂肪率	85	6862.8
頸椎MRI	13	28.2
腰椎MRI	12	18.9
骨密度(DXAまたはQCT)	132	576.6
骨密度(超音波)	56	748.5
ロコモ関係検査	16	2405.9
PET、PET-CT	37	232.4

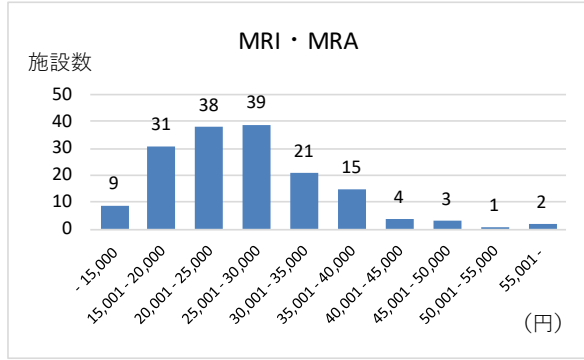
マンモグラフィ	187	2288.2
超音波	161	1842.6
乳腺MRI	8	4.1
3Dマンモグラフィー	16	186.4
医師による視触診	74	1100.6
経膈超音波	100	1471.3
子宮頸部細胞診	161	2784.5
子宮体部細胞診	51	373.4
医師による子宮内診	107	2978.9
HPV	95	209.8
PSA検査	192	1800.6
甲状腺超音波検査	79	534.9
甲状腺機能(TSH、FT4、FT3)	131	589.3
CEA	153	1513.9
AFP	128	909.4
CA19-9	143	1220.2
CA125	139	543.0
抗p53抗体	24	203.8
CYFRA	63	382.2
SCC	63	190.7
尿アルブミン	29	1401.6
尿細胞診	20	1490.6
男性更年期	8	15.4
女性更年期	16	93.9
アレルギー検査	55	200.8
AIDS検査	25	13.7
基礎代謝検査	6	0.0
予防歯科検査	19	520.2
遺伝子検査	16	10.1

7. オプション検査項目について

ウ) 検査料金 ※有効回答のみ集計

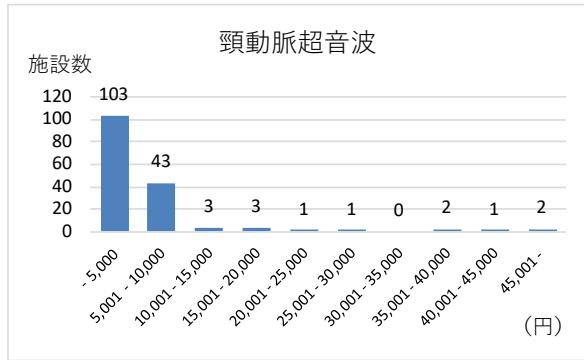
1. MRI・MRA

金額	施設数	割合(%)
- 15,000	9	5.5
15,001 - 20,000	31	19.0
20,001 - 25,000	38	23.3
25,001 - 30,000	39	23.9
30,001 - 35,000	21	12.9
35,001 - 40,000	15	9.2
40,001 - 45,000	4	2.5
45,001 - 50,000	3	1.8
50,001 - 55,000	1	0.6
55,001 -	2	1.2
合計	163	100.0



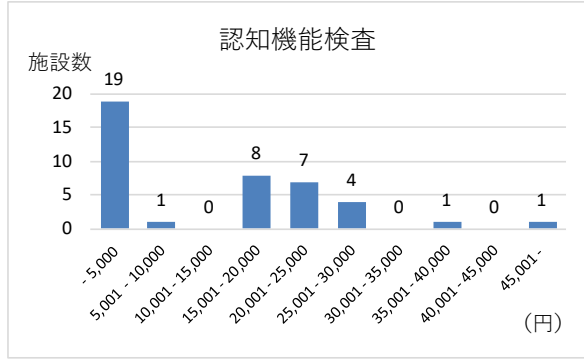
2. 頸動脈超音波

金額	施設数	割合(%)
- 5,000	103	64.8
5,001 - 10,000	43	27.0
10,001 - 15,000	3	1.9
15,001 - 20,000	3	1.9
20,001 - 25,000	1	0.6
25,001 - 30,000	1	0.6
30,001 - 35,000	0	0.0
35,001 - 40,000	2	1.3
40,001 - 45,000	1	0.6
45,001 -	2	1.3
合計	159	100.0



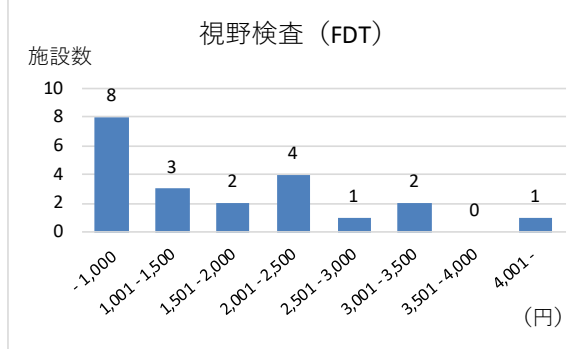
3. 認知機能検査

金額	施設数	割合(%)
- 5,000	19	46.3
5,001 - 10,000	1	2.4
10,001 - 15,000	0	0.0
15,001 - 20,000	8	19.5
20,001 - 25,000	7	17.1
25,001 - 30,000	4	9.8
30,001 - 35,000	0	0.0
35,001 - 40,000	1	2.4
40,001 - 45,000	0	0.0
45,001 -	1	2.4
合計	41	100.0



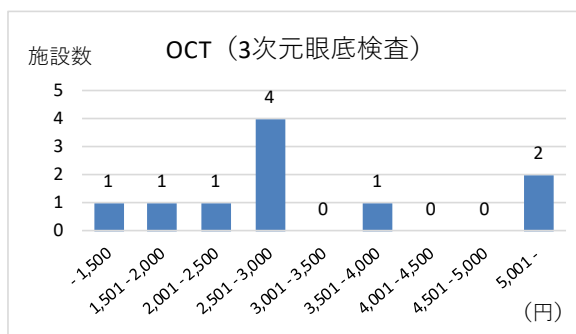
4. 視野検査(FDT)

金額	施設数	割合(%)
- 1,000	8	38.1
1,001 - 1,500	3	14.3
1,501 - 2,000	2	9.5
2,001 - 2,500	4	19.0
2,501 - 3,000	1	4.8
3,001 - 3,500	2	9.5
3,501 - 4,000	0	0.0
4,001 -	1	4.8
合計	21	100.0



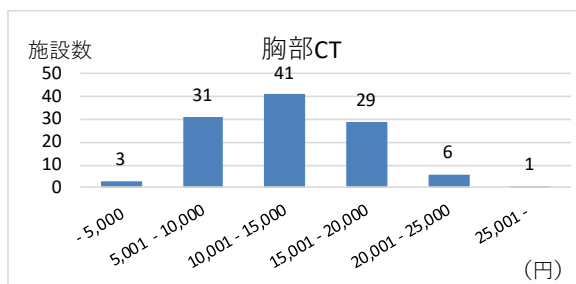
### 5. OCT(3次元眼底検査)

金額	施設数	割合(%)
- 1,500	1	10.0
1,501 - 2,000	1	10.0
2,001 - 2,500	1	10.0
2,501 - 3,000	4	40.0
3,001 - 3,500	0	0.0
3,501 - 4,000	1	10.0
4,001 - 4,500	0	0.0
4,501 - 5,000	0	0.0
5,001 -	2	20.0
合計	10	100.0



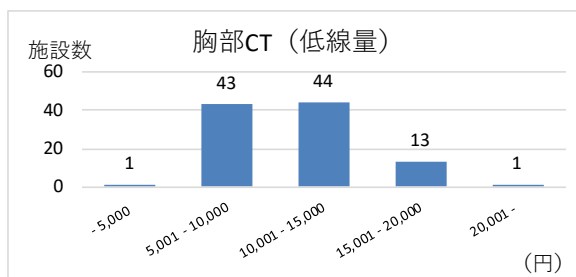
### 6. 胸部CT

金額	施設数	割合(%)
- 5,000	3	2.7
5,001 - 10,000	31	27.9
10,001 - 15,000	41	36.9
15,001 - 20,000	29	26.1
20,001 - 25,000	6	5.4
25,001 -	1	0.9
合計	111	100.0



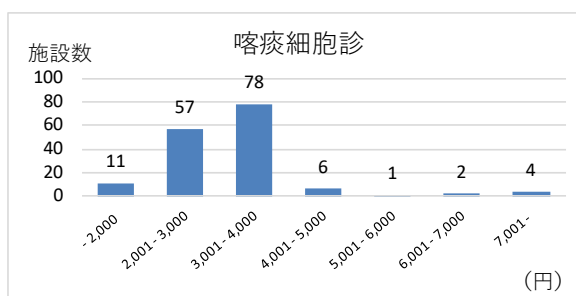
### 7. 胸部CT(低線量)

金額	施設数	割合(%)
- 5,000	1	1.0
5,001 - 10,000	43	42.2
10,001 - 15,000	44	43.1
15,001 - 20,000	13	12.7
20,001 -	1	1.0
合計	102	100.0



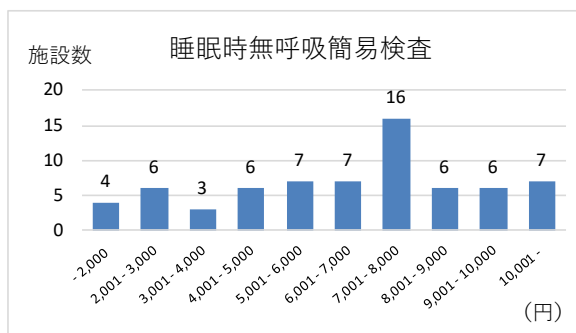
### 8. 喀痰細胞診

金額	施設数	割合(%)
- 2,000	11	6.9
2,001 - 3,000	57	35.8
3,001 - 4,000	78	49.1
4,001 - 5,000	6	3.8
5,001 - 6,000	1	0.6
6,001 - 7,000	2	1.3
7,001 -	4	2.5
合計	159	100.0



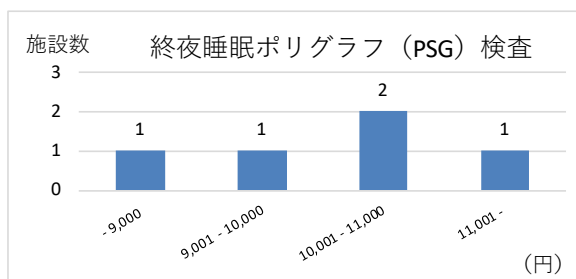
### 9. 睡眠時無呼吸簡易検査

金額	施設数	割合(%)
- 2,000	4	5.9
2,001 - 3,000	6	8.8
3,001 - 4,000	3	4.4
4,001 - 5,000	6	8.8
5,001 - 6,000	7	10.3
6,001 - 7,000	7	10.3
7,001 - 8,000	16	23.5
8,001 - 9,000	6	8.8
9,001 - 10,000	6	8.8
10,001 -	7	10.3
合計	68	100.0



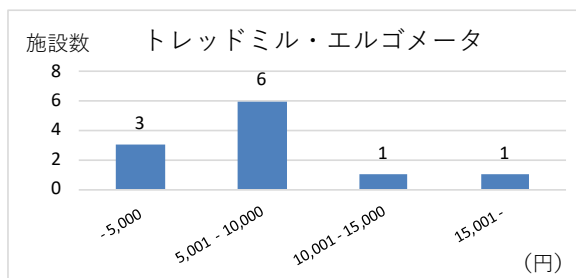
10. 終夜睡眠ポリグラフ(PSG)検査

金額	施設数	割合(%)
- 9,000	1	20.0
9,001 - 10,000	1	20.0
10,001 - 11,000	2	40.0
11,001 -	1	20.0
合計	5	100.0



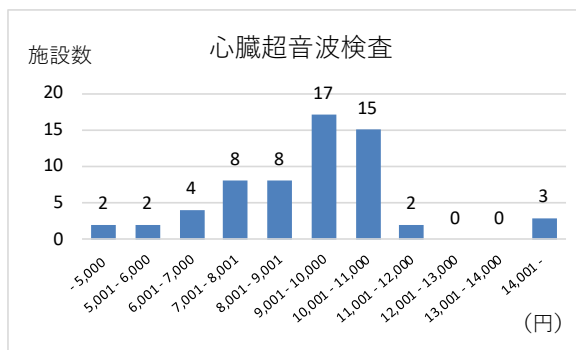
11. トレッドミル・エルゴメータ

金額	施設数	割合(%)
- 5,000	3	27.3
5,001 - 10,000	6	54.5
10,001 - 15,000	1	9.1
15,001 -	1	9.1
合計	11	100.0



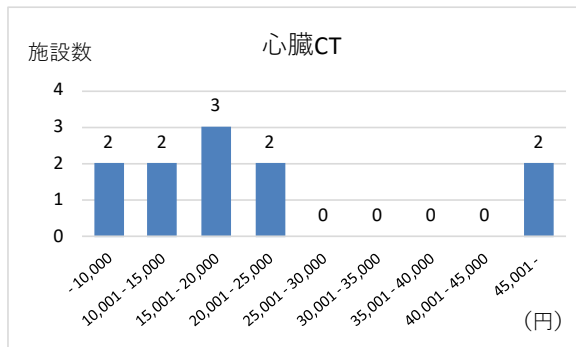
12. 心臓超音波検査

金額	施設数	割合(%)
- 5,000	2	3.3
5,001 - 6,000	2	3.3
6,001 - 7,000	4	6.6
7,001 - 8,001	8	13.1
8,001 - 9,001	8	13.1
9,001 - 10,000	17	27.9
10,001 - 11,000	15	24.6
11,001 - 12,000	2	3.3
12,001 - 13,000	0	0.0
13,001 - 14,000	0	0.0
14,001 -	3	4.9
合計	61	100.0



13. 心臓CT

金額	施設数	割合(%)
- 10,000	2	18.2
10,001 - 15,000	2	18.2
15,001 - 20,000	3	27.3
20,001 - 25,000	2	18.2
25,001 - 30,000	0	0.0
30,001 - 35,000	0	0.0
35,001 - 40,000	0	0.0
40,001 - 45,000	0	0.0
45,001 -	2	18.2
合計	11	100.0

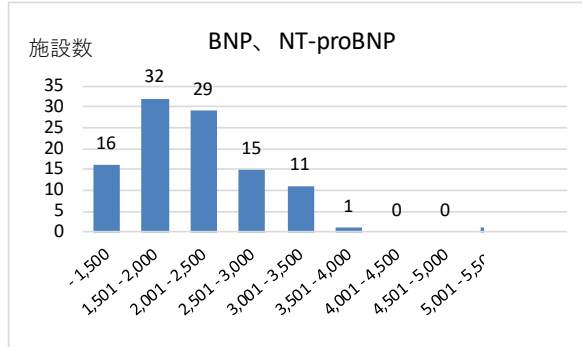


14. 心臓MRA  
有効回答なし

心臓MRAはグラフなし

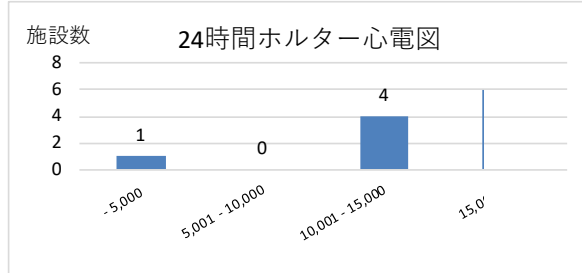
15. BNP、NT-proBNP

金額	施設数	割合(%)
- 1,500	16	15.1
1,501 - 2,000	32	30.2
2,001 - 2,500	29	27.4
2,501 - 3,000	15	14.2
3,001 - 3,500	11	10.4
3,501 - 4,000	1	0.9
4,001 - 4,500	0	0.0
4,501 - 5,000	0	0.0
5,001 - 5,500	1	0.9
5,501 -	1	0.9
合計	106	100.0



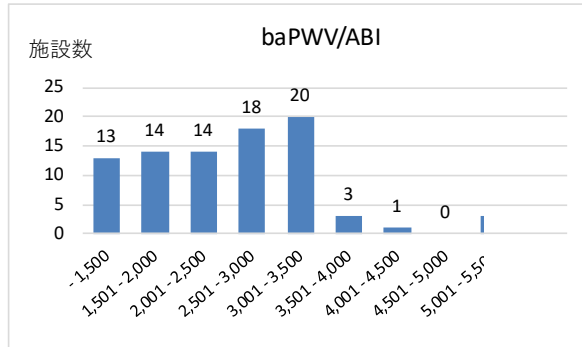
16. 24時間ホルター心電図

金額	施設数	割合(%)
- 5,000	1	9.1
5,001 - 10,000	0	0.0
10,001 - 15,000	4	36.4
15,001 -	6	54.5
合計	11	100.0



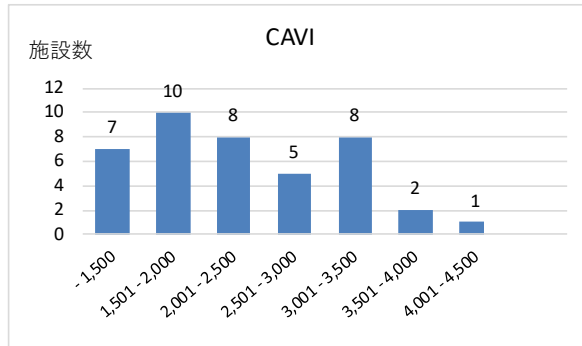
17. baPWV/ABI

金額	施設数	割合(%)
- 1,500	13	14.6
1,501 - 2,000	14	15.7
2,001 - 2,500	14	15.7
2,501 - 3,000	18	20.2
3,001 - 3,500	20	22.5
3,501 - 4,000	3	3.4
4,001 - 4,500	1	1.1
4,501 - 5,000	0	0.0
5,001 - 5,500	3	3.4
5,501 -	3	3.4
合計	89	100.0



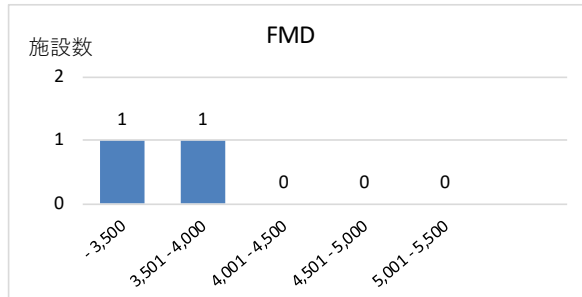
18. CAVI

金額	施設数	割合(%)
- 1,500	7	7.9
1,501 - 2,000	10	11.2
2,001 - 2,500	8	9.0
2,501 - 3,000	5	5.6
3,001 - 3,500	8	9.0
3,501 - 4,000	2	2.2
4,001 - 4,500	1	1.1
4,501 -	2	2.2
合計	43	48.3



19. FMD

金額	施設数	割合(%)
- 3,500	1	33.3
3,501 - 4,000	1	33.3
4,001 - 4,500	0	0.0
4,501 - 5,000	0	0.0
5,001 - 5,500	0	0.0
5,501 -	1	33.3
合計	3	100.0



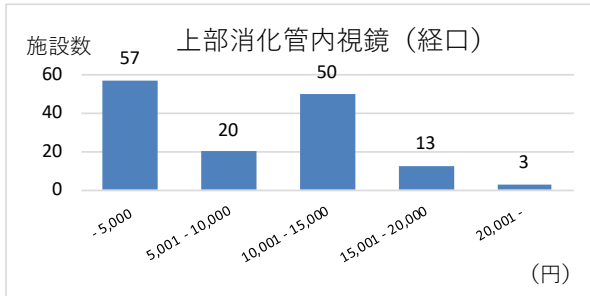
20. 24時間血圧計

金額	施設数
2,290	1

24時間血圧計はグラフなし

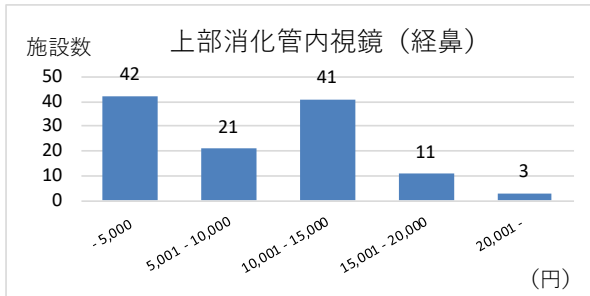
21. 上部消化管内視鏡(経口)

金額	施設数	割合(%)
- 5,000	57	39.9
5,001 - 10,000	20	14.0
10,001 - 15,000	50	35.0
15,001 - 20,000	13	9.1
20,001 -	3	2.1
合計	143	100.0



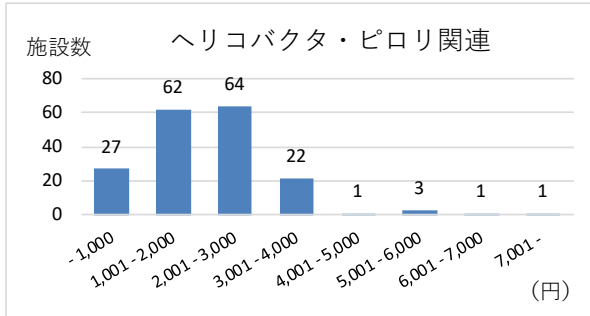
22. 上部消化管内視鏡(経鼻)

金額	施設数	割合(%)
- 5,000	42	35.6
5,001 - 10,000	21	17.8
10,001 - 15,000	41	34.7
15,001 - 20,000	11	9.3
20,001 -	3	2.5
合計	118	100.0



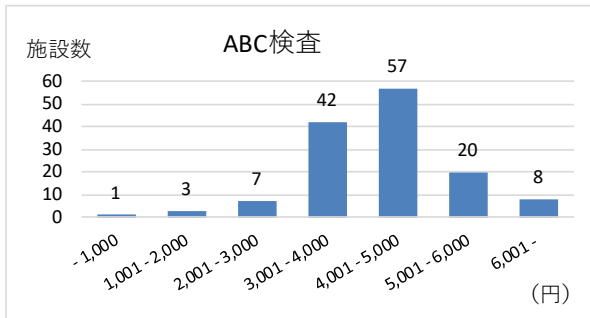
23. ヘリコバクタ・ピロリ関連

金額	施設数	割合(%)
- 1,000	27	14.9
1,001 - 2,000	62	34.3
2,001 - 3,000	64	35.4
3,001 - 4,000	22	12.2
4,001 - 5,000	1	0.6
5,001 - 6,000	3	1.7
6,001 - 7,000	1	0.6
7,001 -	1	0.6
合計	181	100.0



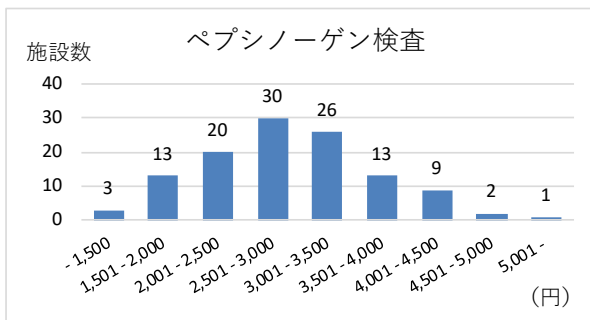
24. ABC検査

金額	施設数	割合(%)
- 1,000	1	0.7
1,001 - 2,000	3	2.2
2,001 - 3,000	7	5.1
3,001 - 4,000	42	30.4
4,001 - 5,000	57	41.3
5,001 - 6,000	20	14.5
6,001 -	8	5.8
合計	138	100.0



25. ペプシノーゲン検査

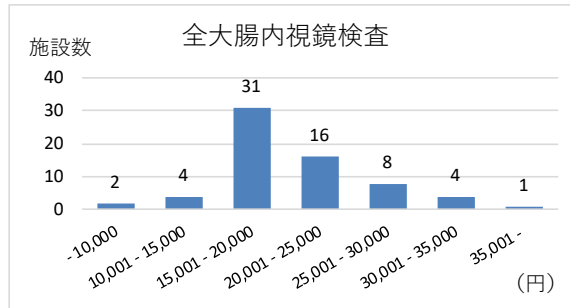
金額	施設数	割合(%)
- 1,500	3	2.6
1,501 - 2,000	13	11.1
2,001 - 2,500	20	17.1
2,501 - 3,000	30	25.6
3,001 - 3,500	26	22.2
3,501 - 4,000	13	11.1
4,001 - 4,500	9	7.7
4,501 - 5,000	2	1.7
5,001 -	1	0.9
合計	117	100.0





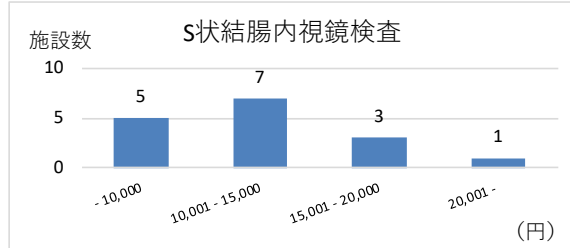
26. 全大腸内視鏡検査

金額	施設数	割合(%)
- 10,000	2	3.0
10,001 - 15,000	4	6.1
15,001 - 20,000	31	47.0
20,001 - 25,000	16	24.2
25,001 - 30,000	8	12.1
30,001 - 35,000	4	6.1
35,001 -	1	1.5
合計	66	100.0



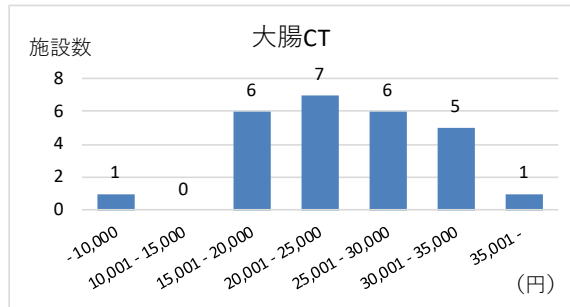
27. S状結腸内視鏡検査

金額	施設数	割合(%)
- 10,000	5	31.3
10,001 - 15,000	7	43.8
15,001 - 20,000	3	18.8
20,001 -	1	6.3
合計	16	100.0



28. 大腸CT

金額	施設数	割合(%)
- 10,000	1	3.8
10,001 - 15,000	0	0.0
15,001 - 20,000	6	23.1
20,001 - 25,000	7	26.9
25,001 - 30,000	6	23.1
30,001 - 35,000	5	19.2
35,001 -	1	3.8
合計	26	100.0



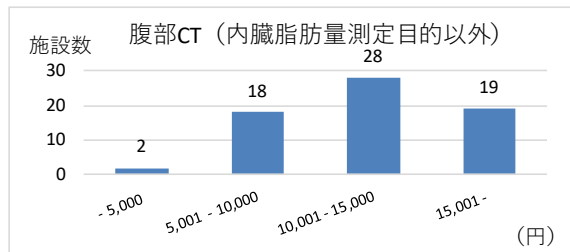
29. カプセル内視鏡

金額	施設数
121,000	1
132,000	1
合計	2

カプセル内視鏡はグラフなし

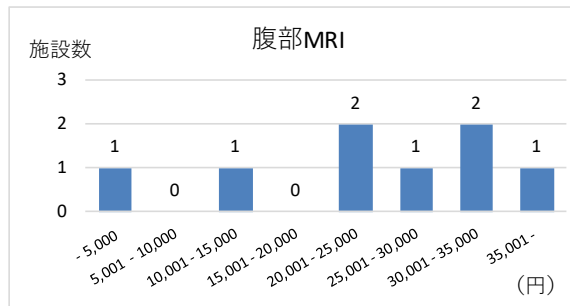
30. 腹部CT(内臓脂肪量測定目的以外)

金額	施設数	割合(%)
- 5,000	2	3.0
5,001 - 10,000	18	26.9
10,001 - 15,000	28	41.8
15,001 -	19	28.4
合計	67	100.0



31. 腹部MRI

金額	施設数	割合(%)
- 5,000	1	12.5
5,001 - 10,000	0	0.0
10,001 - 15,000	1	12.5
15,001 - 20,000	0	0.0
20,001 - 25,000	2	25.0
25,001 - 30,000	1	12.5
30,001 - 35,000	2	25.0
35,001 -	1	12.5
合計	8	100.0



32. ファイブロスキャン検査

金額	施設数
3,300	1

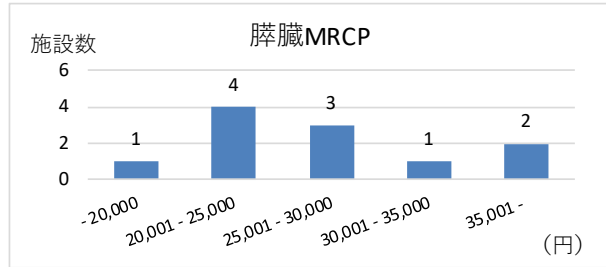
ファイブロスキャン検査はグラフなし

33. Fib4 Index  
有効回答なし

Fib4 Indexはグラフなし

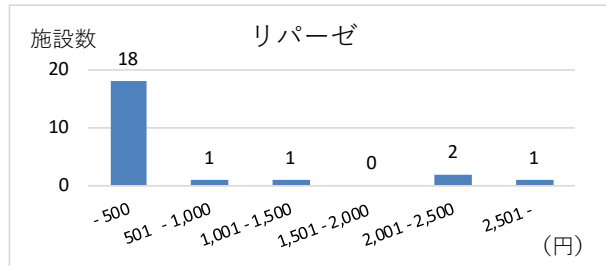
34. 膵臓MRCP

金額	施設数	割合(%)
- 20,000	1	9.1
20,001 - 25,000	4	36.4
25,001 - 30,000	3	27.3
30,001 - 35,000	1	9.1
35,001 -	2	18.2
合計	11	100.0



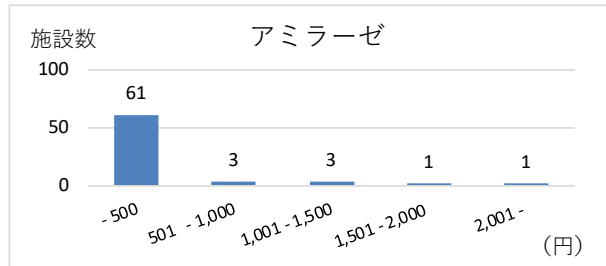
35. リパーゼ

金額	施設数	割合(%)
- 500	18	78.3
501 - 1,000	1	4.3
1,001 - 1,500	1	4.3
1,501 - 2,000	0	0.0
2,001 - 2,500	2	8.7
2,501 -	1	4.3
合計	23	100.0



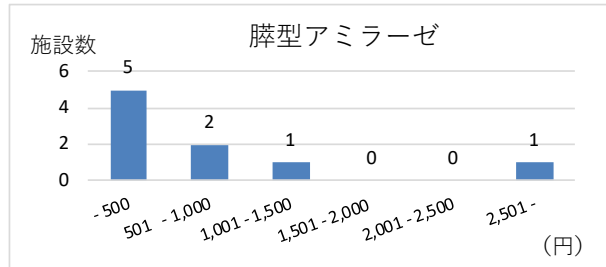
36. アミラーゼ

金額	施設数	割合(%)
- 500	61	88.4
501 - 1,000	3	4.3
1,001 - 1,500	3	4.3
1,501 - 2,000	1	1.4
2,001 -	1	1.4
合計	69	100.0



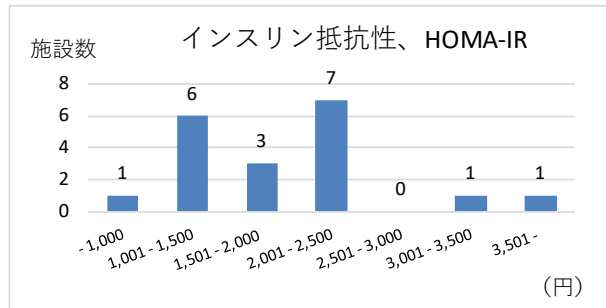
37. 膵型アミラーゼ

金額	施設数	割合(%)
- 500	5	55.6
501 - 1,000	2	22.2
1,001 - 1,500	1	11.1
1,501 - 2,000	0	0.0
2,001 - 2,500	0	0.0
2,501 -	1	11.1
合計	9	100.0



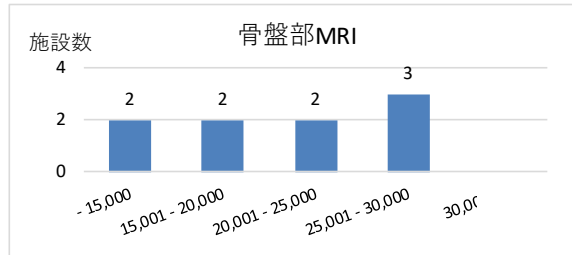
38. インスリン抵抗性、HOMA-IR

金額	施設数	割合(%)
- 1,000	1	5.3
1,001 - 1,500	6	31.6
1,501 - 2,000	3	15.8
2,001 - 2,500	7	36.8
2,501 - 3,000	0	0.0
3,001 - 3,500	1	5.3
3,501 -	1	5.3
合計	19	100.0



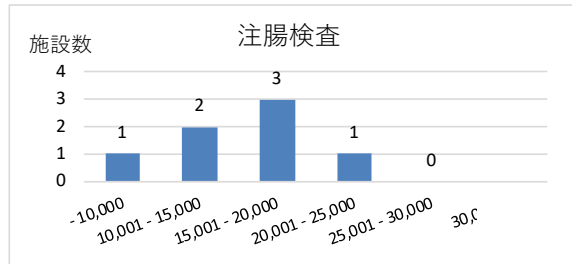
### 39. 骨盤部MRI

金額	施設数	割合(%)
- 15,000	2	16.7
15,001 - 20,000	2	16.7
20,001 - 25,000	2	16.7
25,001 - 30,000	3	25.0
30,001 -	3	25.0
合計	12	100.0



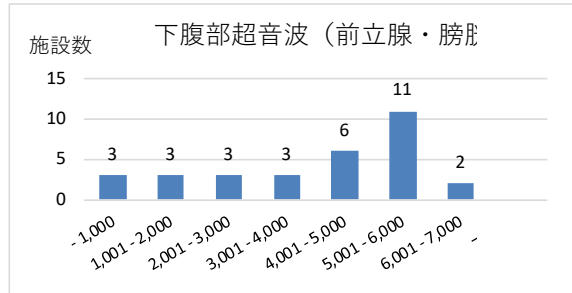
### 40. 注腸検査

金額	施設数	割合(%)
- 10,000	1	12.5
10,001 - 15,000	2	25.0
15,001 - 20,000	3	37.5
20,001 - 25,000	1	12.5
25,001 - 30,000	0	0.0
30,001 -	1	12.5
合計	8	100.0



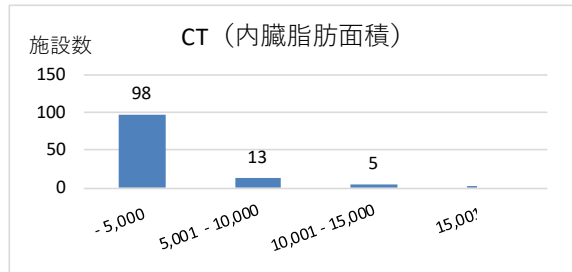
### 41. 下腹部超音波(前立腺・膀胱)

金額	施設数	割合(%)
- 1,000	3	9.4
1,001 - 2,000	3	9.4
2,001 - 3,000	3	9.4
3,001 - 4,000	3	9.4
4,001 - 5,000	6	18.8
5,001 - 6,000	11	34.4
6,001 - 7,000	2	6.3
7,001 -	1	3.1
合計	32	100.0



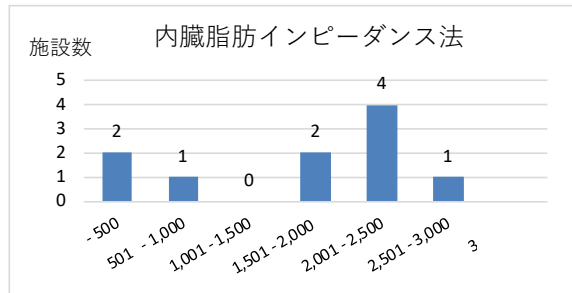
### 42. CT(内臓脂肪面積)

金額	施設数	割合(%)
- 5,000	98	83.1
5,001 - 10,000	13	11.0
10,001 - 15,000	5	4.2
15,001 -	2	1.7
合計	118	100.0



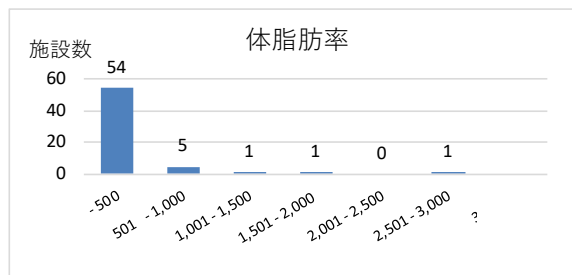
### 43. 内臓脂肪インピーダンス法

金額	施設数	割合(%)
- 500	2	18.2
501 - 1,000	1	9.1
1,001 - 1,500	0	0.0
1,501 - 2,000	2	18.2
2,001 - 2,500	4	36.4
2,501 - 3,000	1	9.1
3,001 -	1	9.1
合計	11	100.0



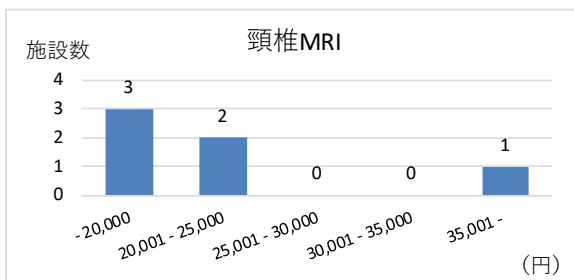
### 44. 体脂肪率

金額	施設数	割合(%)
- 500	54	85.7
501 - 1,000	5	7.9
1,001 - 1,500	1	1.6
1,501 - 2,000	1	1.6
2,001 - 2,500	0	0.0
2,501 - 3,000	1	1.6
3,001 -	1	1.6
合計	63	100.0



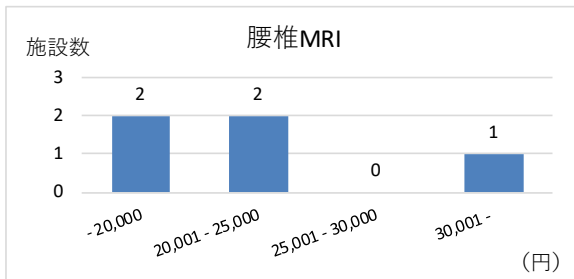
45. 頸椎MRI

金額	施設数	割合(%)
- 20,000	3	50.0
20,001 - 25,000	2	33.3
25,001 - 30,000	0	0.0
30,001 - 35,000	0	0.0
35,001 -	1	16.7
合計	6	100.0



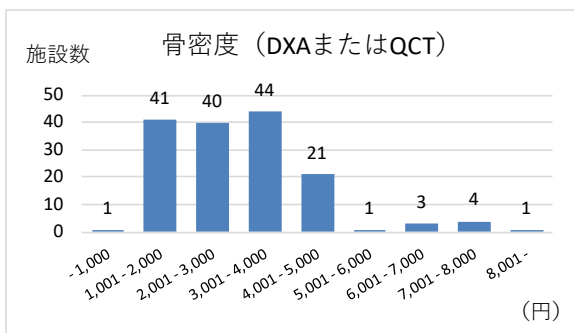
46. 腰椎MRI

金額	施設数	割合(%)
- 20,000	2	40.0
20,001 - 25,000	2	40.0
25,001 - 30,000	0	0.0
30,001 -	1	20.0
合計	5	100.0



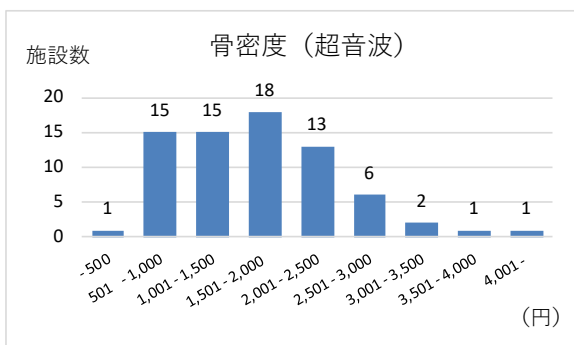
47. 骨密度(DXAまたはQCT)

金額	施設数	割合(%)
- 1,000	1	0.6
1,001 - 2,000	41	26.3
2,001 - 3,000	40	25.6
3,001 - 4,000	44	28.2
4,001 - 5,000	21	13.5
5,001 - 6,000	1	0.6
6,001 - 7,000	3	1.9
7,001 - 8,000	4	2.6
8,001 -	1	0.6
合計	156	100.0



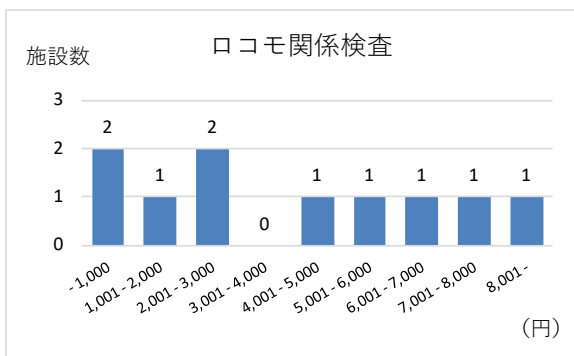
48. 骨密度(超音波)

金額	施設数	割合(%)
- 500	1	1.4
501 - 1,000	15	20.8
1,001 - 1,500	15	20.8
1,501 - 2,000	18	25.0
2,001 - 2,500	13	18.1
2,501 - 3,000	6	8.3
3,001 - 3,500	2	2.8
3,501 - 4,000	1	1.4
4,001 -	1	1.4
合計	72	100.0



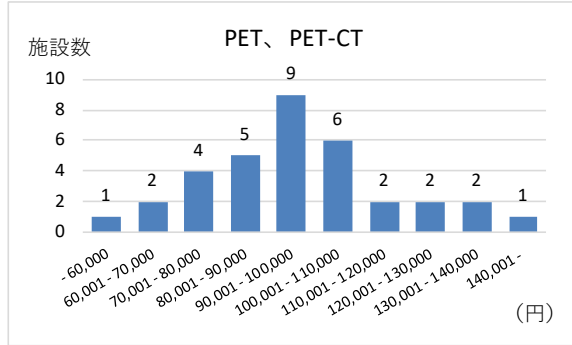
49. ロコモ関係検査

金額	施設数	割合(%)
- 1,000	2	20.0
1,001 - 2,000	1	10.0
2,001 - 3,000	2	20.0
3,001 - 4,000	0	0.0
4,001 - 5,000	1	10.0
5,001 - 6,000	1	10.0
6,001 - 7,000	1	10.0
7,001 - 8,000	1	10.0
8,001 -	1	10.0
合計	10	100.0



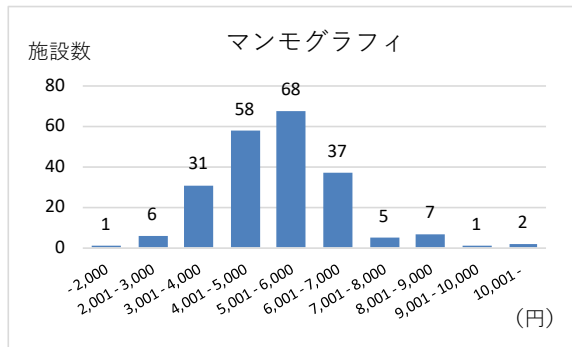
50. PET、PET-CT

金額	施設数	割合(%)
- 60,000	1	2.9
60,001 - 70,000	2	5.9
70,001 - 80,000	4	11.8
80,001 - 90,000	5	14.7
90,001 - 100,000	9	26.5
100,001 - 110,000	6	17.6
110,001 - 120,000	2	5.9
120,001 - 130,000	2	5.9
130,001 - 140,000	2	5.9
140,001 -	1	2.9
合計	34	100.0



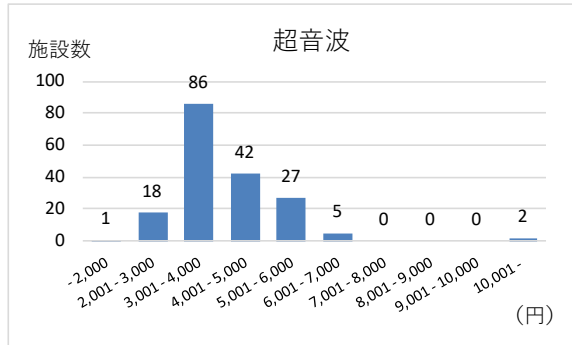
51. マンモグラフィ

金額	施設数	割合(%)
- 2,000	1	0.5
2,001 - 3,000	6	2.8
3,001 - 4,000	31	14.4
4,001 - 5,000	58	26.9
5,001 - 6,000	68	31.5
6,001 - 7,000	37	17.1
7,001 - 8,000	5	2.3
8,001 - 9,000	7	3.2
9,001 - 10,000	1	0.5
10,001 -	2	0.9
合計	216	100.0



52. 超音波

金額	施設数	割合(%)
- 2,000	1	0.6
2,001 - 3,000	18	9.9
3,001 - 4,000	86	47.5
4,001 - 5,000	42	23.2
5,001 - 6,000	27	14.9
6,001 - 7,000	5	2.8
7,001 - 8,000	0	0.0
8,001 - 9,000	0	0.0
9,001 - 10,000	0	0.0
10,001 -	2	1.1
合計	181	100.0



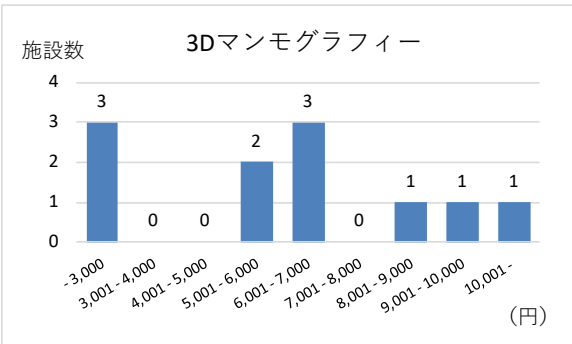
53. 乳腺MRI

金額	施設数
3,300	1
33,000	1
合計	2

乳腺MRIはグラフなし

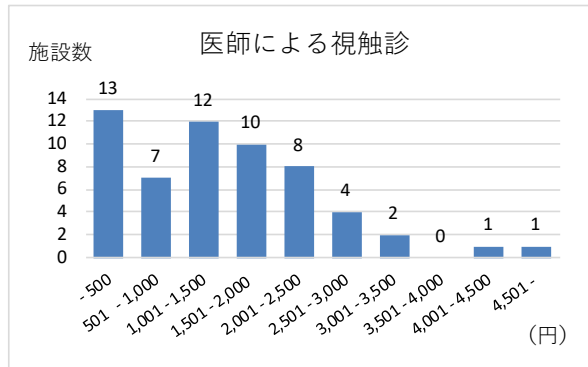
54. 3Dマンモグラフィー

金額	施設数	割合(%)
- 3,000	3	27.3
3,001 - 4,000	0	0.0
4,001 - 5,000	0	0.0
5,001 - 6,000	2	18.2
6,001 - 7,000	3	27.3
7,001 - 8,000	0	0.0
8,001 - 9,000	1	9.1
9,001 - 10,000	1	9.1
10,001 -	1	9.1
合計	11	100.0



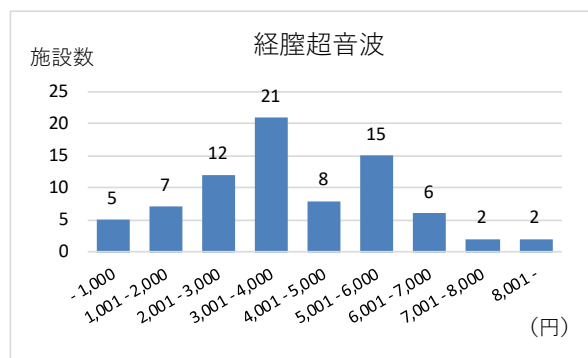
55. 医師による視触診

金額	施設数	割合(%)
- 500	13	22.4
501 - 1,000	7	12.1
1,001 - 1,500	12	20.7
1,501 - 2,000	10	17.2
2,001 - 2,500	8	13.8
2,501 - 3,000	4	6.9
3,001 - 3,500	2	3.4
3,501 - 4,000	0	0.0
4,001 - 4,500	1	1.7
4,501 -	1	1.7
合計	58	100.0



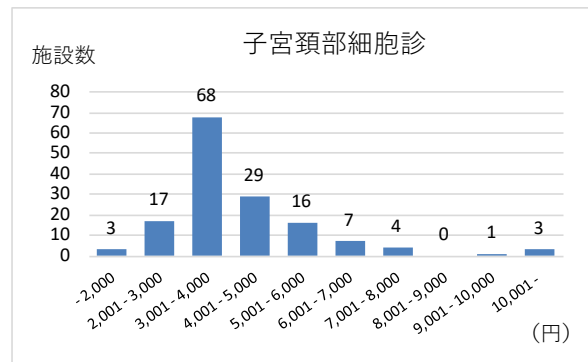
56. 経膈超音波

金額	施設数	割合(%)
- 1,000	5	6.4
1,001 - 2,000	7	9.0
2,001 - 3,000	12	15.4
3,001 - 4,000	21	26.9
4,001 - 5,000	8	10.3
5,001 - 6,000	15	19.2
6,001 - 7,000	6	7.7
7,001 - 8,000	2	2.6
8,001 -	2	2.6
合計	78	100.0



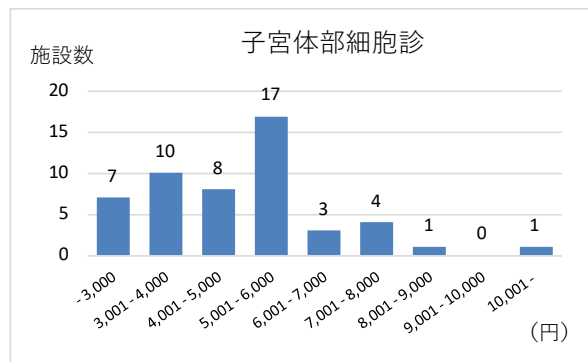
57. 子宮頸部細胞診

金額	施設数	割合(%)
- 2,000	3	2.0
2,001 - 3,000	17	11.5
3,001 - 4,000	68	45.9
4,001 - 5,000	29	19.6
5,001 - 6,000	16	10.8
6,001 - 7,000	7	4.7
7,001 - 8,000	4	2.7
8,001 - 9,000	0	0.0
9,001 - 10,000	1	0.7
10,001 -	3	2.0
合計	148	100.0



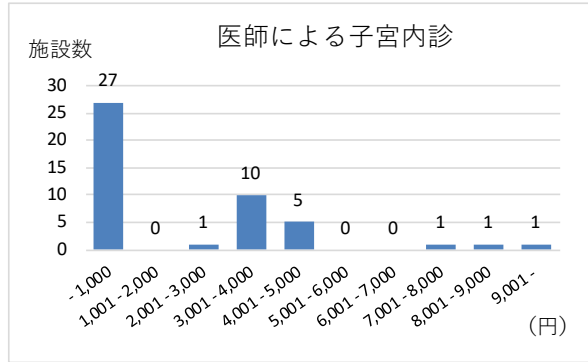
58. 子宮体部細胞診

金額	施設数	割合(%)
- 3,000	7	13.7
3,001 - 4,000	10	19.6
4,001 - 5,000	8	15.7
5,001 - 6,000	17	33.3
6,001 - 7,000	3	5.9
7,001 - 8,000	4	7.8
8,001 - 9,000	1	2.0
9,001 - 10,000	0	0.0
10,001 -	1	2.0
合計	51	100.0



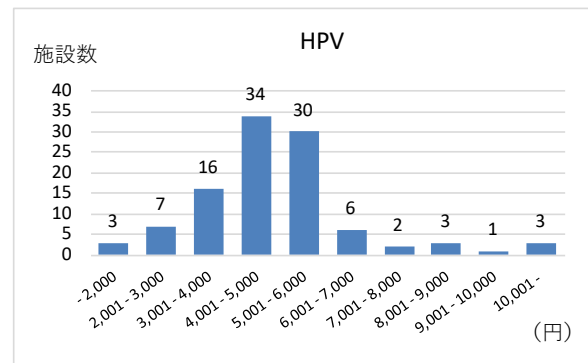
59. 医師による子宮内診

金額	施設数	割合(%)
- 1,000	27	58.7
1,001 - 2,000	0	0.0
2,001 - 3,000	1	2.2
3,001 - 4,000	10	21.7
4,001 - 5,000	5	10.9
5,001 - 6,000	0	0.0
6,001 - 7,000	0	0.0
7,001 - 8,000	1	2.2
8,001 - 9,000	1	2.2
9,001 -	1	2.2
合計	46	100.0



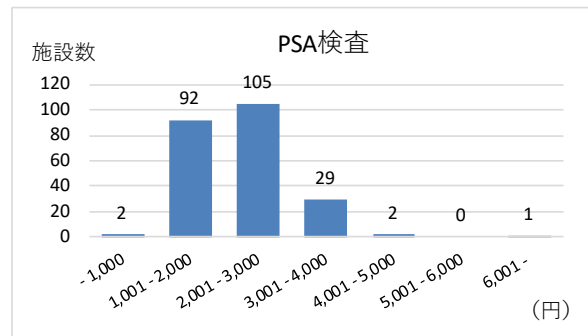
60. HPV

金額	施設数	割合(%)
- 2,000	3	2.9
2,001 - 3,000	7	6.7
3,001 - 4,000	16	15.2
4,001 - 5,000	34	32.4
5,001 - 6,000	30	28.6
6,001 - 7,000	6	5.7
7,001 - 8,000	2	1.9
8,001 - 9,000	3	2.9
9,001 - 10,000	1	1.0
10,001 -	3	2.9
合計	105	100.0



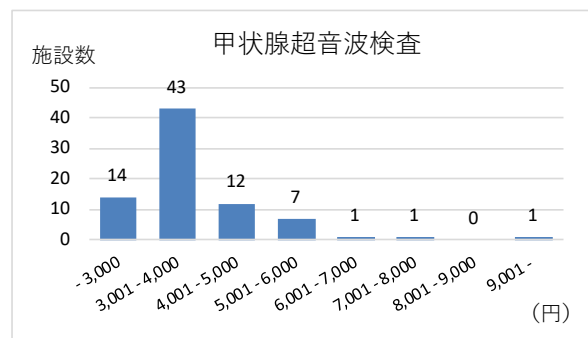
61. PSA検査

金額	施設数	割合(%)
- 1,000	2	0.9
1,001 - 2,000	92	39.8
2,001 - 3,000	105	45.5
3,001 - 4,000	29	12.6
4,001 - 5,000	2	0.9
5,001 - 6,000	0	0.0
6,001 -	1	0.4
合計	231	100.0



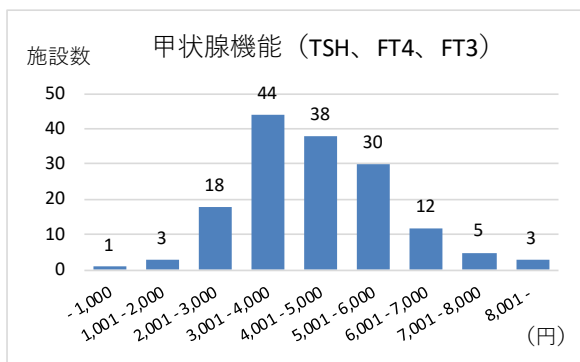
62. 甲状腺超音波検査

金額	施設数	割合(%)
- 3,000	14	17.7
3,001 - 4,000	43	54.4
4,001 - 5,000	12	15.2
5,001 - 6,000	7	8.9
6,001 - 7,000	1	1.3
7,001 - 8,000	1	1.3
8,001 - 9,000	0	0.0
9,001 -	1	1.3
合計	79	100.0



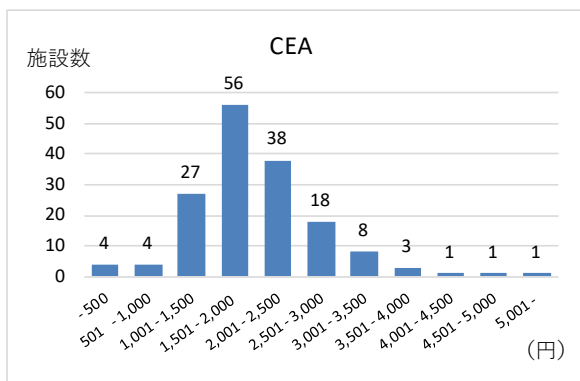
63. 甲状腺機能(TSH、FT4、FT3)

金額	施設数	割合(%)
- 1,000	1	0.6
1,001 - 2,000	3	1.9
2,001 - 3,000	18	11.7
3,001 - 4,000	44	28.6
4,001 - 5,000	38	24.7
5,001 - 6,000	30	19.5
6,001 - 7,000	12	7.8
7,001 - 8,000	5	3.2
8,001 -	3	1.9
合計	154	100.0



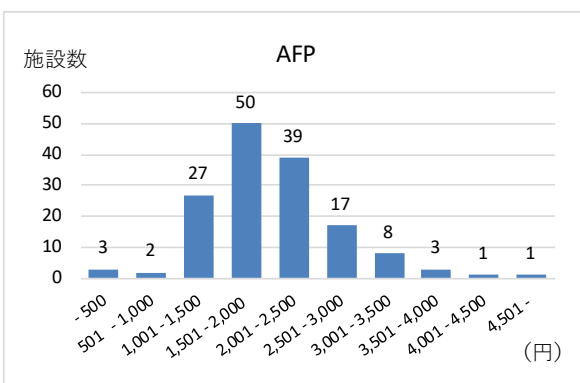
64. CEA

金額	施設数	割合(%)
- 500	4	2.5
501 - 1,000	4	2.5
1,001 - 1,500	27	16.8
1,501 - 2,000	56	34.8
2,001 - 2,500	38	23.6
2,501 - 3,000	18	11.2
3,001 - 3,500	8	5.0
3,501 - 4,000	3	1.9
4,001 - 4,500	1	0.6
4,501 - 5,000	1	0.6
5,001 -	1	0.6
合計	161	100.0



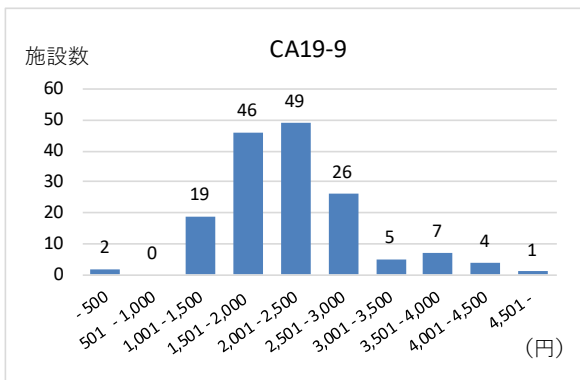
65. AFP

金額	施設数	割合(%)
- 500	3	2.0
501 - 1,000	2	1.3
1,001 - 1,500	27	17.9
1,501 - 2,000	50	33.1
2,001 - 2,500	39	25.8
2,501 - 3,000	17	11.3
3,001 - 3,500	8	5.3
3,501 - 4,000	3	2.0
4,001 - 4,500	1	0.7
4,501 -	1	0.7
合計	151	100.0



66. CA19-9

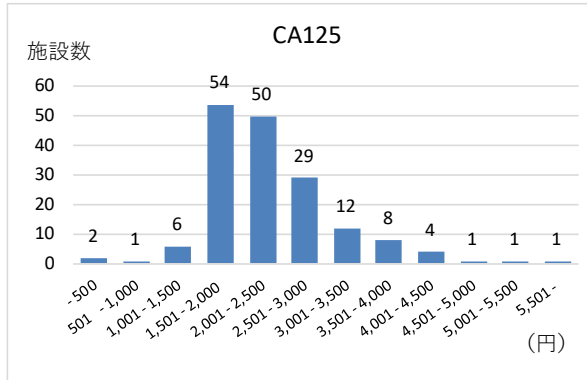
金額	施設数	割合(%)
- 500	2	1.3
501 - 1,000	0	0.0
1,001 - 1,500	19	11.9
1,501 - 2,000	46	28.9
2,001 - 2,500	49	30.8
2,501 - 3,000	26	16.4
3,001 - 3,500	5	3.1
3,501 - 4,000	7	4.4
4,001 - 4,500	4	2.5
4,501 -	1	0.6
合計	159	100.0





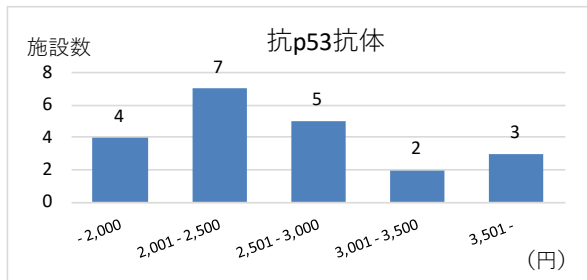
67. CA125

金額	施設数	割合(%)
- 500	2	1.2
501 - 1,000	1	0.6
1,001 - 1,500	6	3.6
1,501 - 2,000	54	32.0
2,001 - 2,500	50	29.6
2,501 - 3,000	29	17.2
3,001 - 3,500	12	7.1
3,501 - 4,000	8	4.7
4,001 - 4,500	4	2.4
4,501 - 5,000	1	0.6
5,001 - 5,500	1	0.6
5,501 -	1	0.6
合計	169	100.0



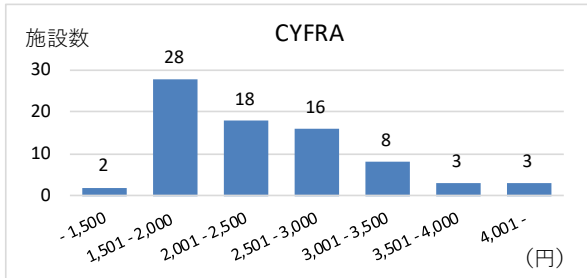
68. 抗p53抗体

金額	施設数	割合(%)
- 2,000	4	19.0
2,001 - 2,500	7	33.3
2,501 - 3,000	5	23.8
3,001 - 3,500	2	9.5
3,501 -	3	14.3
合計	21	100.0



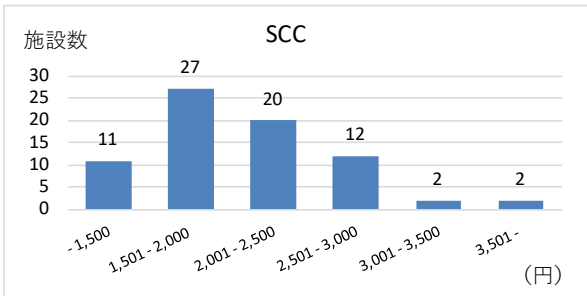
69. CYFRA

金額	施設数	割合(%)
- 1,500	2	2.6
1,501 - 2,000	28	35.9
2,001 - 2,500	18	23.1
2,501 - 3,000	16	20.5
3,001 - 3,500	8	10.3
3,501 - 4,000	3	3.8
4,001 -	3	3.8
合計	78	100.0



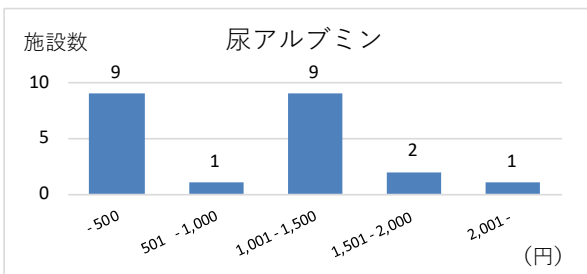
70. SCC

金額	施設数	割合(%)
- 1,500	11	14.9
1,501 - 2,000	27	36.5
2,001 - 2,500	20	27.0
2,501 - 3,000	12	16.2
3,001 - 3,500	2	2.7
3,501 -	2	2.7
合計	74	100.0



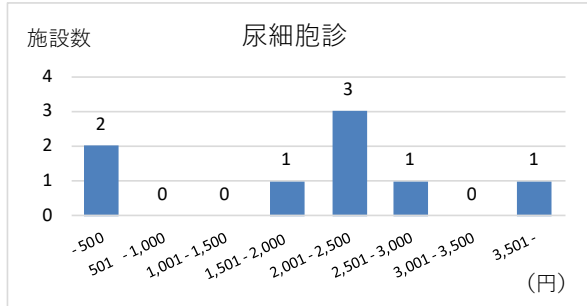
71. 尿アルブミン

金額	施設数	割合(%)
- 500	9	40.9
501 - 1,000	1	4.5
1,001 - 1,500	9	40.9
1,501 - 2,000	2	9.1
2,001 -	1	4.5
合計	22	100.0



72. 尿細胞診

金額	施設数	割合(%)
- 500	2	25.0
501 - 1,000	0	0.0
1,001 - 1,500	0	0.0
1,501 - 2,000	1	12.5
2,001 - 2,500	3	37.5
2,501 - 3,000	1	12.5
3,001 - 3,500	0	0.0
3,501 -	1	12.5
合計	8	100.0



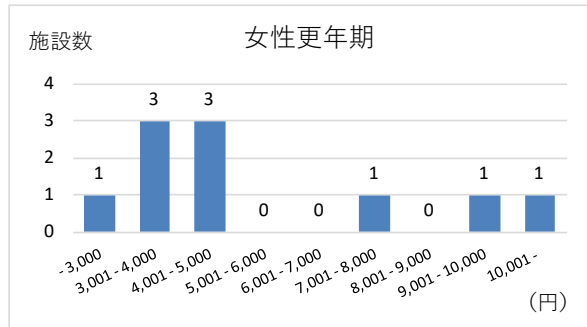
73. 男性更年期

金額	施設数
4,300	1
5,000	1
7,000	1
合計	3

男性更年期はグラフなし

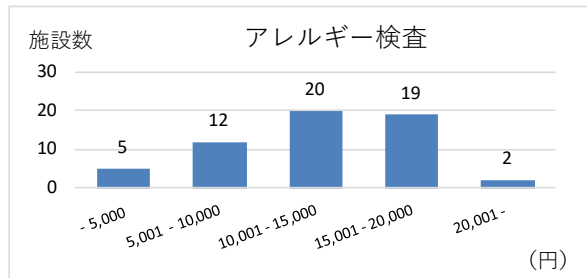
74. 女性更年期

金額	施設数	割合(%)
- 3,000	1	10.0
3,001 - 4,000	3	30.0
4,001 - 5,000	3	30.0
5,001 - 6,000	0	0.0
6,001 - 7,000	0	0.0
7,001 - 8,000	1	10.0
8,001 - 9,000	0	0.0
9,001 - 10,000	1	10.0
10,001 -	1	10.0
合計	10	100.0



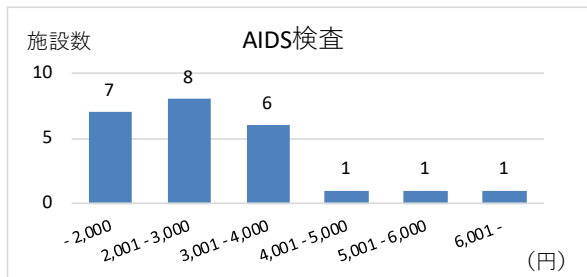
75. アレルギー検査

金額	施設数	割合(%)
- 5,000	5	8.6
5,001 - 10,000	12	20.7
10,001 - 15,000	20	34.5
15,001 - 20,000	19	32.8
20,001 -	2	3.4
合計	58	100.0



76. AIDS検査

金額	施設数	割合(%)
- 2,000	7	29.2
2,001 - 3,000	8	33.3
3,001 - 4,000	6	25.0
4,001 - 5,000	1	4.2
5,001 - 6,000	1	4.2
6,001 -	1	4.2
合計	24	100.0



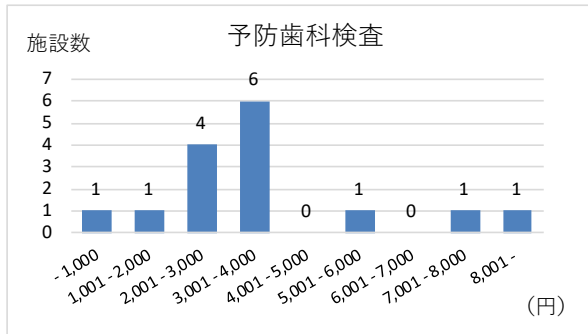
77. 基礎代謝検査

金額	施設数
1,100	1

基礎代謝検査はグラフなし

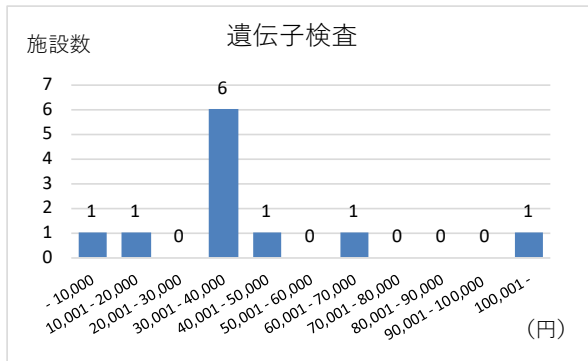
78. 予防歯科検査

金額	施設数	割合(%)
- 1,000	1	6.7
1,001 - 2,000	1	6.7
2,001 - 3,000	4	26.7
3,001 - 4,000	6	40.0
4,001 - 5,000	0	0.0
5,001 - 6,000	1	6.7
6,001 - 7,000	0	0.0
7,001 - 8,000	1	6.7
8,001 -	1	6.7
合計	15	100.0



79. 遺伝子検査

金額	施設数	割合(%)
- 10,000	1	9.1
10,001 - 20,000	1	9.1
20,001 - 30,000	0	0.0
30,001 - 40,000	6	54.5
40,001 - 50,000	1	9.1
50,001 - 60,000	0	0.0
60,001 - 70,000	1	9.1
70,001 - 80,000	0	0.0
80,001 - 90,000	0	0.0
90,001 - 100,000	0	0.0
100,001 -	1	9.1
合計	11	100.0



7. オプション検査項目について

エ) コースに含む

項目	人間ドックコースに 含めて実施		人間ドックコース外の オプションとして実施		空欄	
	施設数	割合(%)	施設数	割合(%)	施設数	割合(%)
MRI・MRA	15	4.4	192	56.3	134	39.3
頸動脈超音波	22	6.5	178	52.2	141	41.3
認知機能検査	8	2.3	61	17.9	272	79.8
視野検査(FDT)	6	1.8	23	6.7	312	91.5
OCT(3次元眼底検査)	4	1.2	12	3.5	325	95.3
胸部CT	12	3.5	120	35.2	209	61.3
胸部CT(低線量)	13	3.8	100	29.3	228	66.9
喀痰細胞診	23	6.7	165	48.4	153	44.9
睡眠時無呼吸簡易検査	4	1.2	76	22.3	261	76.5
終夜睡眠ポリグラフ(PSG)検査	0	0.0	8	2.3	333	97.7
トレッドミル・エルゴメータ	11	3.2	17	5.0	313	91.8
心臓超音波検査	12	3.5	73	21.4	256	75.1
心臓CT	2	0.6	20	5.9	319	93.5
心臓MRA	1	0.3	5	1.5	335	98.2
BNP、NT-proBNP	18	5.3	119	34.9	204	59.8
24時間ホルター心電図	2	0.6	17	5.0	322	94.4
baPWV/ABI	22	6.5	103	30.2	216	63.3
CAVI	10	2.9	62	18.2	269	78.9
FMD	0	0.0	5	1.5	336	98.5
24時間血圧計	0	0.0	3	0.9	338	99.1
上部消化管内視鏡(経口)	132	38.7	112	32.8	97	28.4
上部消化管内視鏡(経鼻)	99	29.0	97	28.4	145	42.5
ヘリコバクタ・ピロリ関連	27	7.9	200	58.7	114	33.4
ABC検査	13	3.8	155	45.5	173	50.7
ペプシノーゲン検査	19	5.6	136	39.9	186	54.5
全大腸内視鏡検査	14	4.1	68	19.9	259	76.0
S状結腸内視鏡検査	10	2.9	25	7.3	306	89.7
大腸CT	3	0.9	27	7.9	311	91.2
カプセル内視鏡	0	0.0	3	0.9	338	99.1
腹部CT(内臓脂肪量測定目的以外)	8	2.3	71	20.8	262	76.8
腹部MRI	2	0.6	13	3.8	326	95.6
ファイブロスキャン検査	0	0.0	1	0.3	340	99.7
Fib4 Index	4	1.2	1	0.3	336	98.5
膵臓MRCP	1	0.3	15	4.4	325	95.3
リパーゼ	9	2.6	29	8.5	303	88.9
アミラーゼ	125	36.7	37	10.9	179	52.5
膵型アミラーゼ	12	3.5	15	4.4	314	92.1
インスリン抵抗性、HOMA-IR	13	3.8	19	5.6	309	90.6
骨盤部MRI	4	1.2	19	5.6	318	93.3
注腸検査	2	0.6	12	3.5	327	95.9
下腹部超音波(前立腺・膀胱)	38	11.1	28	8.2	275	80.6
CT(内臓脂肪面積)	15	4.4	124	36.4	202	59.2
内臓脂肪インピーダンス法	8	2.3	16	4.7	317	93.0
体脂肪率	123	36.1	37	10.9	181	53.1
頸椎MRI	1	0.3	13	3.8	327	95.9
腰椎MRI	1	0.3	11	3.2	329	96.5
骨密度(DXAまたはQCT)	28	8.2	149	43.7	164	48.1
骨密度(超音波)	12	3.5	65	19.1	264	77.4

ロコモ関係検査	5	1.5	14	4.1	322	94.4
PET、PET-CT	6	1.8	40	11.7	295	86.5
マンモグラフィ	30	8.8	219	64.2	92	27.0
超音波	28	8.2	190	55.7	123	36.1
乳腺MRI	1	0.3	4	1.2	336	98.5
3Dマンモグラフィ	3	0.9	14	4.1	324	95.0
医師による視触診	25	7.3	90	26.4	226	66.3
経膈超音波	20	5.9	126	37.0	195	57.2
子宮頸部細胞診	40	11.7	198	58.1	103	30.2
子宮体部細胞診	8	2.3	65	19.1	268	78.6
医師による子宮内診	36	10.6	136	39.9	169	49.6
HPV	9	2.6	115	33.7	217	63.6
PSA検査	63	18.5	199	58.4	79	23.2
甲状腺超音波検査	21	6.2	95	27.9	225	66.0
甲状腺機能(TSH、FT4、FT3)	27	7.9	160	46.9	154	45.2
CEA	62	18.2	184	54.0	95	27.9
AFP	36	10.6	178	52.2	127	37.2
CA19-9	42	12.3	190	55.7	109	32.0
CA125	32	9.4	183	53.7	126	37.0
抗p53抗体	3	0.9	25	7.3	313	91.8
CYFRA	11	3.2	94	27.6	236	69.2
SCC	5	1.5	99	29.0	237	69.5
尿アルブミン	16	4.7	34	10.0	291	85.3
尿細胞診	15	4.4	13	3.8	313	91.8
男性更年期	0	0.0	5	1.5	336	98.5
女性更年期	1	0.3	14	4.1	326	95.6
アレルギー検査	3	0.9	76	22.3	262	76.8
AIDS検査	3	0.9	28	8.2	310	90.9
基礎代謝検査	0	0.0	4	1.2	337	98.8
予防歯科検査	2	0.6	16	4.7	323	94.7
遺伝子検査	2	0.6	13	3.8	326	95.6

7. オプション検査項目について

オ)実施日

項目	通常の稼働日で実施している		実施日が指定されている		空欄	
	施設数	割合(%)	施設数	割合(%)	施設数	割合(%)
MRI・MRA	153	44.9	55	16.1	133	39.0
頸動脈超音波	165	48.4	37	10.9	139	40.8
認知機能検査	58	17.0	14	4.1	269	78.9
視野検査(FDT)	28	8.2	1	0.3	312	91.5
OCT(3次元眼底検査)	15	4.4	2	0.6	324	95.0
胸部CT	120	35.2	14	4.1	207	60.7
胸部CT(低線量)	108	31.7	9	2.6	224	65.7
喀痰細胞診	185	54.3	6	1.8	150	44.0
睡眠時無呼吸簡易検査	68	19.9	11	3.2	262	76.8
終夜睡眠ポリグラフ(PSG)検査	7	2.1	2	0.6	332	97.4
トレッドミル・エルゴメータ	17	5.0	8	2.3	316	92.7
心臓超音波検査	56	16.4	23	6.7	262	76.8
心臓CT	13	3.8	8	2.3	320	93.8
心臓MRA	4	1.2	2	0.6	335	98.2
BNP、NT-proBNP	135	39.6	3	0.9	203	59.5
24時間ホルター心電図	13	3.8	6	1.8	322	94.4
baPWV/ABI	113	33.1	12	3.5	216	63.3
CAVI	64	18.8	9	2.6	268	78.6
FMD	5	1.5	0	0.0	336	98.5
24時間血圧計	3	0.9	0	0.0	338	99.1
上部消化管内視鏡(経口)	200	58.7	40	11.7	101	29.6
上部消化管内視鏡(経鼻)	158	46.3	34	10.0	149	43.7
ヘリコバクタ・ピロリ関連	217	63.6	6	1.8	118	34.6
ABC検査	166	48.7	2	0.6	173	50.7
ペプシノーゲン検査	152	44.6	3	0.9	186	54.5
全大腸内視鏡検査	40	11.7	41	12.0	260	76.2
S状結腸内視鏡検査	12	3.5	18	5.3	311	91.2
大腸CT	14	4.1	16	4.7	311	91.2
カプセル内視鏡	3	0.9	0	0.0	338	99.1
腹部CT(内臓脂肪量測定目的以外)	66	19.4	11	3.2	264	77.4
腹部MRI	12	3.5	2	0.6	327	95.9
ファイブロスキャン検査	2	0.6	0	0.0	339	99.4
Fib4 Index	4	1.2	0	0.0	337	98.8
膵臓MRCP	6	1.8	7	2.1	328	96.2
リパーゼ	36	10.6	1	0.3	304	89.1
アミラーゼ	153	44.9	3	0.9	185	54.3
膵型アミラーゼ	26	7.6	1	0.3	314	92.1
インスリン抵抗性、HOMA-IR	31	9.1	0	0.0	310	90.9
骨盤部MRI	17	5.0	4	1.2	320	93.8
注腸検査	12	3.5	1	0.3	328	96.2
下腹部超音波(前立腺・膀胱)	61	17.9	2	0.6	278	81.5
CT(内臓脂肪面積)	127	37.2	8	2.3	206	60.4
内臓脂肪インピーダンス法	23	6.7	0	0.0	318	93.3
体脂肪率	154	45.2	3	0.9	184	54.0
頸椎MRI	12	3.5	1	0.3	328	96.2
腰椎MRI	10	2.9	1	0.3	330	96.8
骨密度(DXAまたはQCT)	165	48.4	11	3.2	165	48.4
骨密度(超音波)	75	22.0	4	1.2	262	76.8

ロコモ関係検査	17	5.0	2	0.6	322	94.4
PET、PET-CT	30	8.8	12	3.5	299	87.7
マンモグラフィ	211	61.9	40	11.7	90	26.4
超音波	182	53.4	39	11.4	120	35.2
乳腺MRI	3	0.9	0	0.0	338	99.1
3Dマンモグラフィ	15	4.4	0	0.0	326	95.6
医師による視触診	96	28.2	20	5.9	225	66.0
経膈超音波	110	32.3	36	10.6	195	57.2
子宮頸部細胞診	172	50.4	67	19.6	102	29.9
子宮体部細胞診	60	17.6	11	3.2	270	79.2
医師による子宮内診	132	38.7	51	15.0	158	46.3
HPV	92	27.0	33	9.7	216	63.3
PSA検査	258	75.7	9	2.6	74	21.7
甲状腺超音波検査	101	29.6	6	1.8	234	68.6
甲状腺機能(TSH、FT4、FT3)	187	54.8	4	1.2	150	44.0
CEA	242	71.0	3	0.9	96	28.2
AFP	208	61.0	1	0.3	132	38.7
CA19-9	226	66.3	3	0.9	112	32.8
CA125	210	61.6	3	0.9	128	37.5
抗p53抗体	30	8.8	0	0.0	311	91.2
CYFRA	101	29.6	1	0.3	239	70.1
SCC	102	29.9	0	0.0	239	70.1
尿アルブミン	45	13.2	1	0.3	295	86.5
尿細胞診	26	7.6	0	0.0	315	92.4
男性更年期	4	1.2	0	0.0	337	98.8
女性更年期	14	4.1	0	0.0	327	95.9
アレルギー検査	78	22.9	1	0.3	262	76.8
AIDS検査	30	8.8	0	0.0	311	91.2
基礎代謝検査	4	1.2	0	0.0	337	98.8
予防歯科検査	12	3.5	5	1.5	324	95.0
遺伝子検査	13	3.8	1	0.3	327	95.9

## 自由記載欄 内訳

回答	施設数
(ウ)検査料金で、コースに含む検査は1項目ずつの金額を出すのは困難です。	1
(上記金額は全て税込)	1
(税別です)	1
・オプションの件数は、人間ドックと生活習慣病予防健診の合計です。(システム上、切り離し不可) ・乳房視触診件数は、システム上、検索不可です。	1
・ヘリコバクタピロリとペプシノーゲンセットで実施 ・マンモグラフィ、乳腺超音波実施の場合は、乳視診は料金無料	1
・甲状腺検査:超音波を受ける場合、TSHがセットとなっている為、セット金額です ・遺伝子検査:APOE検査	1
・腫瘍マーカーは男女のセット項目あり ・上部胃内視鏡は提携施設にて実施	1
・腫瘍マーカー男性セット(CEA・CA19-9、SCC、AFP、PSA) ¥11000 B・A ・腫瘍マーカー女性セット(CEA・CA19-9、SCC、AFP、CA125) ¥11000 B・A	1
※1 ABI-CAVIセットになります。 ※2 マンモグラフィ、乳房超音波のいずれかとセットになります。 ※3 経膈超音波・子宮頸部細胞診・子宮内診はセットになります。	1
※婦人科はセットで実施(内診、細胞診、超音波)、視触診は原則実施なし	1
☆はセット	1
エ)A・Bコースにより含む その他コースはオプション※頸動脈エコー+CAVI=セット(4400)	1
エ)AB両方〇はコースに入っているものもある	1
オ)についてはア)のAorBに該当項目のみに対して回答しています	1
胃カメラの経口、経鼻の内訳は出ません。	1
検査件数については1日ドックと協会けんぽの合算	1
・検査件数はオプション検査として実施した件数 ・子宮頸部細胞診と内診はセット ・アレルギー検査はスギ花粉とハウスダスト2項目合計	1
検査料金を記載していない箇所については、個々に検査料金を設定していない	1
検査は分かる数だけ記入してあります	1
甲状腺機能(FT3)はご希望があれば実施可1884円	1
骨密度検査は女性のみ実施(コースに含む)	1
腫瘍マーカーは項目ごとの集計なし	1
男女共通で7334円セット、腫瘍マーカーは男性AFP、CEA、CA19-9、PSA、女性AFP、CEA、CA19-9、CA15-3	1
動脈硬化検査(オプション)282件1100円	1
特になし	1
尿アルブミンは2020年度から実施したため2019年度は件数なし。	1
尿アルブミンは2021年度より中止の予定	1
脳 MRI・MRA+頸動脈超音波 ア)A イ)1094 ウ)23000 エ)B オ)A	1
別コースとして循環器専門医による心臓ドック、脳神経外科専門医による脳ドック実施	1
別紙	1
便中トランスフェリン:ア)A イ)1122 ウ)500 エ)B オ)A	1



D 精度管理・判定に関する事項について

1. 人間ドック学会の判定基準の使用状況

回答	施設数	割合(%)
使用している	224	65.7
一部使用している	85	24.9
独自のものを使用している	21	6.2
空欄	11	3.2
合計	341	100.0

2. 委託元と判定が異なることについての受診者からの問合せ

回答	施設数	割合(%)
ときどきある	22	6.5
まれにある	107	31.4
ない	190	55.7
空欄	22	6.5
合計	341	100.0

3. 職域に対応した判定情報の提供

回答	施設数	割合(%)
提供できる	225	66.0
提供できない	95	27.9
空欄	21	6.2
合計	341	100.0

4. 画像所見の二重読影

回答	施設数	割合(%)
実施している	306	89.7
実施していない	23	6.7
空欄	12	3.5
合計	341	100.0

5. 画像に異常所見があった場合の前回との比較読影

回答	施設数	割合(%)
実施している	323	94.7
実施していない	6	1.8
空欄	12	3.5
合計	341	100.0

6. 精密検査の結果から判定を変更することがあるか

回答	施設数	割合(%)
よく行う	38	11.1
ときどき行う	205	60.1
変更しない	66	19.4
空欄	32	9.4
合計	341	100.0

7. 画像の読影は関連学会専門医が行っているか

回答	施設数	割合(%)
専門医が実施している	206	60.4
必ずしも専門医ではない	121	35.5
空欄	14	4.1
合計	341	100.0

8. 画像の読影が完了するまでの日数

回答	施設数	割合(%)
検査当日(細胞診、病理組織検査除く)に実施	53	15.5
検査後日	273	80.1
空欄	15	4.4
合計	341	100.0

画像の読影が完了するまでの日数 検査後日 内訳

回答	施設数	累積施設数
1日後	11	11
2日後	25	36
3日後	35	71
4日後	9	80
5日後	18	98
7日後	81	179
8日後	1	180
10日後	21	201
14日後	19	220
20日後	3	223
21日後	3	226
空欄	47	
合計	273	

画像読影日数の有効回答での累積%

回答	施設数	割合(%)	累積%
検査当日	53	19.0	19.0
1日後	11	3.9	22.9
2日後	25	9.0	31.9
3日後	35	12.5	44.4
4日後	9	3.2	47.7
5日後	18	6.5	54.1
7日後	81	29.0	83.2
8日後	1	0.4	83.5
10日後	21	7.5	91.0
14日後	19	6.8	97.8
20日後	3	1.1	98.9
21日後	3	1.1	100.0
合計	279	100.0	

9. 精度管理体制について(複数回答可)

回答	施設数	割合(%)	空欄	割合(%)	施設数合計	割合(%)
精度管理体制(精度管理基準を含む)を整備している	148	43.4	193	56.6	341	100.0
内部精度管理を行っている	178	52.2	163	47.8	341	100.0
外部精度管理を行っている	220	64.5	121	35.5	341	100.0

10. がん検診の精度管理について

①職域におけるがん検診マニュアル(厚労省)を参考にしているか

回答	施設数	割合(%)
参考にしている	248	72.7
参考にしていない	47	13.8
知らない	27	7.9
空欄	19	5.6
合計	341	100.0

②各がん検診項目の要精検率の把握状況

回答	施設数	割合(%)
把握している	227	66.6
把握していない	92	27.0
空欄	22	6.5
合計	341	100.0

③がん検診プロセス指標の要精検率許容値と比較しているか

回答	施設数	割合(%)
はい	155	45.5
いいえ	160	46.9
空欄	26	7.6
合計	341	100.0

④要精検者に紹介状を発行しているか

回答	施設数	割合(%)
発行している	269	78.9
発行していない	56	16.4
空欄	16	4.7
合計	341	100.0

⑤精密検査後の結果の把握状況

回答	施設数	割合(%)
問合せして把握している	63	18.5
返信のみで把握している	219	64.2
把握していない	30	8.8
空欄	29	8.5
合計	341	100.0

⑥がん発見率について把握しているか

回答	施設数	割合(%)
把握している	213	62.5
把握していない	111	32.6
空欄	17	5.0
合計	341	100.0

11. がん検診のプロセス指標の要精検率許容値を参考にしているか

回答	施設数	割合(%)
はい	153	44.9
いいえ	163	47.8
空欄	25	7.3
合計	341	100.0

12. 要精検率を算出し検討しているか

回答	施設数	割合(%)
はい	190	55.7
いいえ	129	37.8
空欄	22	6.5
合計	341	100.0

13. 年間の有所見率について

①心電図検査、胸部X線検査、上部消化管X線検査の年間の有所見率を把握しているか

回答	施設数	割合(%)
把握している	191	56.0
把握していない	130	38.1
空欄	20	5.9
合計	341	100.0

②各検査の要再検査、要精密検査、要治療の割合(%) ※有効回答のみ集計

項目	施設数	各割合(%) の平均
心電図検査	要再検査	4.2
	要精密検査	3.0
	要治療	1.1
胸部X線	要再検査	2.3
	要精密検査	2.8
	要治療	0.8
上部消化管X線	要再検査	6.7
	要精密検査	5.8
	要治療	0.9

E 結果報告・データ管理に関する事項について

1. 人間ドック当日の結果説明

回答	施設数	割合(%)
できる	241	70.7
できない	84	24.6
空欄	16	4.7
合計	341	100.0

2. 受け取り側の要請に応じて切り分けて結果報告書を作成できるか

回答	施設数	割合(%)
できる	155	45.5
できない	171	50.1
空欄	15	4.4
合計	341	100.0

3. 受け取り側の要請に応じて切り分けて電子データの作成・提供ができるか

回答	施設数	割合(%)
できる	156	45.7
できない	168	49.3
空欄	17	5.0
合計	341	100.0

4. 再検、精検などの指示で優先されるべきものはどれか

回答	施設数	割合(%)
人間ドック判定	110	32.3
産業医判定	61	17.9
どちらともいえない	146	42.8
空欄	24	7.0
合計	341	100.0

5. 産業医が就労判定を行う際に参考となる病歴情報等を提供できるか

回答	施設数	割合(%)
できる	203	59.5
できない	107	31.4
空欄	31	9.1
合計	341	100.0

6. 受診日から結果報告までにかかる日数と有効回答での累積%

回答	施設数	累積施設数
検査当日	2	
1日後	2	4
2日後	2	6
3日後	1	7
5日後	2	9
6日後	1	10
7日後	9	19
10日後	20	39
12日後	3	42
14日後	141	183
15日後	10	193
18日後	2	195
20日後	24	219
21日後	39	258
24日後	1	259
25日後	3	262
28日後	8	270
30日後	14	284
空欄	57	
合計	341	

回答	施設数	割合(%)	累積%
検査当日	2	0.7	0.7
1日後	2	0.7	1.4
2日後	2	0.7	2.1
3日後	1	0.4	2.5
5日後	2	0.7	3.2
6日後	1	0.4	3.5
7日後	9	3.2	6.7
10日後	20	7.0	13.7
12日後	3	1.1	14.8
14日後	141	49.6	64.4
15日後	10	3.5	68.0
18日後	2	0.7	68.7
20日後	24	8.5	77.1
21日後	39	13.7	90.8
24日後	1	0.4	91.2
25日後	3	1.1	92.3
28日後	8	2.8	95.1
30日後	14	4.9	100.0
合計	284	100.0	

7. 英語表記の結果報告書

回答	施設数	割合(%)
用意している	35	10.3
用意していない	293	85.9
空欄	13	3.8
合計	341	100.0

F 事後の保健指導と受診勧奨について

1. 保健指導対象の選定基準の有無(特定保健指導含む)

回答	施設数	割合(%)
あり	261	76.5
なし	58	17.0
空欄	22	6.5
合計	341	100.0

2. 人間ドック当日の保健指導の実施

回答	施設数	割合(%)
できる	207	60.7
できない	118	34.6
空欄	16	4.7
合計	341	100.0

3. 人間ドック結果返却後の保健指導の実施

回答	施設数	割合(%)
実施している	158	46.3
実施していない	164	48.1
空欄	19	5.6
合計	341	100.0

4. 保健指導の実施内容の記録保存

回答	施設数	割合(%)
保存している	258	75.7
実施後は破棄している	7	2.1
その他	12	3.5
空欄	64	18.8
合計	341	100.0

その他 自由記載内訳

回答	施設数
外来受診につなげたケースはカルテに記載している	1
特保のみ	1
実施していない	5
空欄	5

5. 特定保健指導の実施状況

回答	施設数	割合(%)
実施している	245	71.8
今後実施する予定	24	7.0
今後も実施する予定はない	52	15.2
空欄	20	5.9
合計	341	100.0

6. 特定保健指導を実施している場合の年間の実施者数(人) ※有効回答のみ集計

項目	施設数	実施者数 平均
人間ドック実施対象者	171	2,160
動機付け支援	208	142
積極的支援	204	131

7. 特定保健指導を実施している場合の料金(円) ※有効回答のみ集計

項目	施設数	料金(円) 平均
動機付け支援	198	9,727
積極的支援	196	25,696

8. 禁煙指導の実施状況

回答	施設数	割合(%)
専門的に行っている	43	12.6
簡単に行っている	193	56.6
行っていない	81	23.8
空欄	24	7.0
合計	341	100.0

9. 要精密検査・要治療判定者への結果報告後の受診勧奨の実施状況

回答	施設数	割合(%)
全員にしている	168	49.3
一部の方のみしている	113	33.1
特に伝えていない	37	10.9
空欄	23	6.7
合計	341	100.0

10. 委託元(健保組合など)への要精密検査・要治療判定者の通知

回答	施設数	割合(%)
伝えている	102	29.9
一部のみ伝えている	124	36.4
特に伝えていない	87	25.5
空欄	28	8.2
合計	341	100.0

11. 要再検査の方で、自施設で再受診した方の割合(%) ※有効回答のみ集計

施設数	再受診者割合 (%)の平均
185	24.5

G その他

1. 予防接種の実施状況(複数回答可)

回答	施設数	割合(%)	空欄	割合(%)	施設数 合計	割合(%)
風疹	136	39.9	205	60.1	341	100.0
麻疹	103	30.2	238	69.8	341	100.0
インフルエンザ	215	63.0	126	37.0	341	100.0
肺炎球菌	121	35.5	220	64.5	341	100.0
水痘(成人帯状疱疹予防)	74	21.7	267	78.3	341	100.0
HPV(子宮頸がん予防)	35	10.3	306	89.7	341	100.0

2. 従事者の健康管理体制

回答	施設数	割合(%)
職域健診の定期健康診断項目のみ	181	53.1
人間ドックレベル	126	37.0
空欄	34	10.0
合計	341	100.0

3. 人間ドックでの受診制限(外国人)を設けているか

回答	施設数	割合(%)
外国人は不可	35	10.3
通訳付きのみ可	223	65.4
英語が話せる場合は可	21	6.2
空欄	62	18.2
合計	341	100.0

4. 人間ドックでの受診制限(障がい者)を設けているか(複数回答可)

回答	施設数	割合(%)	空欄	割合(%)	施設数 合計	割合(%)
視覚障がい	41	12.0	300	88.0	341	100.0
聴力障がい	35	10.3	306	89.7	341	100.0
車いす使用者	48	14.1	293	85.9	341	100.0

5. 性同一性障がい者用の更衣室の設置

回答	施設数	割合(%)
設置している	30	8.8
設置していない	292	85.6
空欄	19	5.6
合計	341	100.0

6. 性同一性障がい者用のトイレの設置

回答	施設数	割合(%)
設置している	25	7.3
設置していない	298	87.4
空欄	18	5.3
合計	341	100.0

7. 人間ドックでの受診制限(感染対策)の有無

回答	施設数	割合(%)
制限している	190	55.7
制限していない	126	37.0
空欄	25	7.3
合計	341	100.0



制限している 疾患名 自由記載内訳

回答	施設数
COVID-19感染症(新型コロナウイルス)、及びその疑い(発熱のみなどを含む)	50
COVID-19感染症(新型コロナウイルス)、インフルエンザ等	18
COVID-19、インフルエンザ、流行性角結膜炎等	5
COVID-19疑い、発熱および有症状の感冒(インフルエンザ、ノロなど)、結核、流行性結膜炎	1
コロナ、インフルエンザ、ノロetc	1
コロナ、インフルエンザ、感染症	2
コロナ、流行性角結膜炎、37.5度以上の熱	1
コロナウイルス、インフルエンザ、発熱(37.2℃)	1
コロナ感染症を疑う症状の方 事前送付書類で周知	1
コロナ対策で体調不良のある方や感染拡大地域へ行かれた方は一週間実施不可とする。	1
新型コロナウイルス感染対策、その他感染対策	9
インフル. etcの感染症	1
インフルエンザ、結核、風しん、麻しん、発疹、37.5℃以上の発熱、流行性角結膜炎など	4
風邪症状、呼吸困難、下痢、嘔気、嘔吐、他	2
一週間以内の発熱・嘔吐・下痢	1
感染、発熱性疾患(流行性結膜炎を含む)	1
感染症系	6
感染徴候、有症状者	1
眼病等(結膜炎等)	3
空気エアロゾル感染するもの	1
結核、インフルエンザ、感染性胃腸炎、疥癬、流行性角結膜炎、水痘、麻疹、風疹、流行性耳	1
受診日より2週間以内の発熱、風邪症状等	1
症状チェック(発熱等)	1
37.5℃以上の発熱等	5
37.5℃以上者、外国より帰国2W以内者	1
発熱、発熱性疾患	12
発熱、Covid-19ガイドラインに準ずる	1
発熱、せき等の風邪症状、その他感染症	4
発熱、咳、発疹、嘔吐、下痢、目が赤い、目やに、味覚異常、嗅覚異常、のどの痛み	1
発熱、呼吸器、インフルエンザ	1
発熱、带状疱疹	1
発熱、陽性者との接触歴、体調不良など	1
発熱・体調不良・下痢・嘔吐・咳・頭痛	7
発熱37.0°以上	1
発熱者、咳が出る方、コロナにかかった方、海外渡航歴のある方	1
発熱等の感染症は全て	1
法定伝染病等	4
明らかな発熱状態、胃腸症状のある場合、学校感染症の分類に準ずる	1

8. 新型コロナウイルス対策として学会のガイドラインを遵守しているか

回答	施設数	割合(%)
している	326	95.6
していない	3	0.9
ガイドラインを知らない	3	0.9
空欄	9	2.6
合計	341	100.0

9. 新型コロナウイルス対策として学会のガイドライン以外の対策 自由記載内訳

回答	施設数
「新型コロナウイルス感染症対応方針」がありますので、それに従っています。基本ガイドラインと同じですが、その他陽性者の多数発生地域への訪問にあたっての行動についてや、自分や家族に発熱等の症状がある場合について指針があります。	1
・2週間以内にコロナ流行地へ行った人のキャンセルまたは延期 ・診察時のマスク、フェイスシールド、消毒の徹底	1
・エレベーター使用は4人までに制限。 ・肺機能：受診者と検者の間にビニールカーテン設置。 ・PMIに行っていた結果説明をAMIにして施設内滞在時間の短縮を行った	1
・オンライン結果説明 ・肺機能検査中止	1
・クリアパーティションの活用 ・消化器内視鏡検査時の各種防護具の使用の徹底	1
・コロナの間診票を作成し、来館時に確認し保管している ・予約時間を設定し、受診者数を制限している ・検査時、密にならないよう誘導している	1
医師による結果説明と、呼吸機能検査を一時中止としている。	1
・検温 ・マスクの着用 ・3密防止 ・1h毎の換気 ・器材・テーブル等のアルコール消毒	1
・三密を防ぐ為、予約人数を制限している ・結果の郵送を推奨している	1
・受付の分散化 ・入場玄関口の分別 ・通常時間より早い回転で帰宅	1
・職員が新型コロナウイルスに感染した場合や濃厚接触者となった場合の体制の検討 ・特定警戒都道府県等への職員の出張の制限や出張者等への出勤の制限 ・時差出勤の推奨 ・会議や研修の制限など	1
・食事提供の中止 ・雑誌などの撤去 ・入口で体温の測定 ・入館の際手指の消毒 ・体調等の確認を実施	1
・食事提供の廃止(金券に変更) ・健康教室の中止(動画配信に変更)	1
・待合室等での密集を避けるため、受診者数を30人/日までに制限している。 ・当日結果説明の待ち時間が長くなるため休止し、予約の後日結果説明のみとしている。	1
・昼食をテイクアウトへ変更 ・保健指導を電話へ変更※いずれも滞在時間の圧縮を図る為	1
・入館前スクリーニング ・検査日から2週間前の会食を控えていただくお願い	1
・肺機能検査の中止 ・胃カメラ前処置、喉頭麻酔方法の変更(キシロカインスプレーからアイスキシロカインビスカスに)	1
・肺機能検査の中止 ・感染源となりうる雑誌等の撤去	1
1月から検温(職員、受診者)	1
CO2モニタリング	1
アイグラス、N95マスク着用	1
オゾンによる空気清浄、換気etc	1
ガイドラインをもとに感染症拡大防止のための確認書を独自で作成、受診の2週間以上前に送付しリスクの高い項目に1項目でも該当する場合は、受診日の変更を行っている。	1
ジアイノー導入	1
ドアノブ等への抗菌コート	1

ドックの検査項目の最初に胸部CT又はXPを行ない肺炎像チェックを行なっている。肺炎像がある場合ドックを中止としている。	1
マスク装着下、内視鏡検査	1
案内状を送る時に、「受診前の体調確認について」の用紙を同封しており、受診日当日の体温・熱・咳症状の有無を記入して頂いたものを持参して頂いている	1
医療スタッフが共有、滞在する事務所スペースにおいても、午前・午後2回の検温と次亜塩素酸ナトリウムによる室内清掃。さらに、定期的な換気、マスクの常時着用義務付け等を実施している。	1
一部検査の中止	1
院内の感染管理室内にcovid対応の対策本部を設置している	1
院内の対策WGの方針に従い、行動歴等の確認をしている	1
院内感染対策委員会よりの指示に従い行っている	1
感染拡大地域への移動、海外渡航については2週間以内に該当した場合は受付を中止、延期としている	1
感染拡大地域への行き来が、2週間以内にあれば、健診日を延期、肺機能検査を中止。	1
感染対策のため、就業基準(例:県外への移動、移動者の告知など)が設置された	1
空気清浄機の設置台数を増やしている。	1
検温、消毒の励行、入場制限	1
呼吸機能の希望制	1
抗ウイルスガードシール	1
抗体検査を職員へ実施	1
酸素飽和度検査	1
施設に入る前に専用の問診票によるチェック、体温測定を行い、咳など症状があれば中止とする	1
室内の二酸化炭素量を測定	1
手指消毒、マスク着用、体温測定、更衣室の増設(ソーシャルディスタンス)、健診者数の制限、時間分け	1
首都圏等多発地域への2週間以内の往来歴ある場合は健診不可	1
受診1週間前からの検温記録	1
受診2週間前より体温測定や体調等を確認できる質問を記入してきてもらっている	1
受診2日前に受診予定者の唾液PCRを行っている	1
受診後の食事の提供中止及び新聞・雑誌等の閲覧中止	1
受診時間(受付時間)の完全予約制と時間枠での人数制限	1
受診時間の分散及び人数制限。受診2週間以内の体調管理必要に応じ中止。職員のマスク及びフェイスシールド等ガイドライン全て	1
受診者1人1人に対応する度に手指消毒や人が触れた箇所の消毒が出来るよう、職員1人1人が携帯用の消毒ボトルを身につけている。	1
受診者1人に対応する度に、その都度手指消毒するために、また人の手が触れた箇所の消毒を頻繁にするために、職員1人1人が消毒用アルコールを携帯している	1
受付の時間帯を、より細かくし行っている	1
受付時間の分散、更衣室内の人数制限	1
受付時点でフェイスシールドマスク、グローブ着用	1
消化器内視鏡学会のCOVID-19問診票の実施(胃カメラ受診者例)	1
職員のコロナ抗体測定	1
職員の感染症予防のため、独自のマニュアル、チェックリストを作成し対応。	1
職員の健康管理: 熊本県のリスクレベル基準に合わせた公私の活動について。研修会の参加等の制限。	1
職員の行動指針策定、周知(5人以上の集会禁止、食事会禁止、国内移動制限など)	1
食事場所の整備	1
新型コロナウイルス感染拡大防止のため、2020年2月頃から健診を休止しています	1
新型コロナウイルスを疑う症状がある場合、胸部レントゲン撮影後、ドック受診の有無を決定する	1
電話予約の際に行動歴や症状を確認している。	1
当日、問診内容により、受診制限をしている。	1
独自の問診項目を使用し受診制限をかけている。3蜜を回避するために、受診時間枠を設け入場制限をかけている。	1
内視鏡検査の際に必ず事前のPCR検査(無料)を実施する。	1
不定期であるが、感染対策委員より市中の感染状況に応じた、職員に向けた行動基準の配信がある。	1
別紙	1
毎週、対策委員会設置して配りよしています	1
新型コロナウイルス関連	1
特になし	16

2021年度 一日ドック基本検査項目表（健保連人間ドック健診項目表）

区分	項目	備 考
身体計測	身 長	
	体 重	
	肥 満 度	
	B M I	
	腹 囲	
生 理	血 圧 測 定	原則2回測定値と平均値
	心 電 図	
	心 拍 数	
	眼 底 視	両眼検り
	眼 圧	
	視 力	
	聴 力	簡易聴力
X線・超音波	呼 吸 検 能	1秒率、%肺活量、%1秒量（対標準1秒量）
	胸 部 X 線	2方向
	上 部 消 化 管 X 線	食道・胃・十二指腸、4ツ切等8枚以上 *1
	腹 部 超 音 波	検査対象臓器は肝臓（脾臓を含む）・胆のう・膵臓・腎臓・腹部大動脈とする。但し、膵臓検出できない時はその旨記載すること。
必 須 項 目	総 蛋 白	
	ア ル ブ ミ ン	
	ク レ ア チ ン	
	e G F R	
	尿 酸	
	総 コ レ ス テ ロ ール	
	H D L コ レ ス テ ロ ール	
	L D L コ レ ス テ ロ ール	
	Non-H D L コ レ ス テ ロ ール	
	中 性 脂 肪	
	総 ビ リ ル ビ ン	
	A S T ( G O T )	
	A L T ( G P T )	
	γ-G T ( γ-G T P )	
	A L P	
血 糖 ( 空 腹 時 )		
血 液 学	H b A 1 c	
	赤 血 球	
	白 血 球	
	血 色 素	
	ヘ マ ト ク リ ッ ト	
	M C V	
	M C H C	
血 小 板 数		
血 清 学	C R P	定量法
	血液型 ( A B O R h )	本人の申し出により省略可
	H B s 抗 原	本人の申し出により省略可

必須項目	尿	尿 一 般 ・ 沈 渣	蛋白・尿糖・潜血など 沈渣は、蛋白、潜血反応が陰性であれば省略可
	便	潜 血	免疫法で実施(2日法)
	問 診 ・ 診 察	医 療 面 検	医療者が抱うこと(原則、医師・保健師・看護師とする) 問診票(質問票)は、特定保健対象者には特定保健質問票 22項目を含むこと。
		医 師 診 察	胸部診察、頸部・腹部診察など。 *2
判 定 ・ 指 導	結 果 説 明	医師が抱うこと。 受診勧奨、結果報告書、特定保健診断対象者には情報提供 *2	
	保 険 指 導	医療者が抱うこと(実施者は「特定保健診断・特定保健指導の 円滑な実施に向けた手引き(第3版)」に準ずること。医師の 結果説明の関での実施も可とする) 受診勧奨、結果報告書、特定保健診断対象者には情報提供 *2	
オプ シ ョ ン 項 目	上 部 消 化 管 内 視 鏡		*3
	乳 房 診 察 + マ ン モ グ ラ フ ィ		乳房診察は医師の判断により省略することも可。
	乳 房 診 察 + 乳 腺 超音波		
	婦 人 科 診 察 + 子 宮 頸 部 細 胞 診		検体採取は医師が実施すること。
	F S A H C V 抗 体		*4
*1 X線検査を基本とする。本人及び保険者から内視鏡検査の申し出があった場合は、オプション項目に掲げる金額を加算し実施する。			
*2 診察・説明・指導は、施設の実状を踏まえた効率的な運用を認める。なお、原則として医師による診察と結果説明は別々に行うこと。			
*3 内視鏡検査を行う際は、別途、十分な説明のもとに本人から文書同意を取得すること。原則、検体採取・検体票は使用しない。			
*4 厚生省の肝炎総合対策に基づき、未実施の場合は実施を推奨する。			

<補足>

梅毒検査は、本契約における基本検査項目およびオプション検査項目には含まれないが、受診者本人の申し出により実施することは妨げない。

#### ■人間ドック健診施設機能評価認定施設

申請条件として、当検査項目を満たす受診者が一定数必要です。ご確認をお願い申し上げます。

出典

<https://www.ningen-dock.jp/wp/wp-content/uploads/2013/09/4f1b5f408fc440b0e1c19ae625c557d5.pdf>